

平成21年度

名古屋市美術館年報

2 0 0 9

目次

| | |
|-----------------------------|----|
| 序 | 1 |
| 沿革 | 2 |
| 展覧会事業 | 3 |
| 1 常設展 | 3 |
| (1)名品コレクション展 | 4 |
| (2)常設企画展 | 13 |
| 2 特別展 | 17 |
| 教育普及事業 | 39 |
| 1 教育プログラム | 40 |
| 1. 一般成人対象の事業 | 40 |
| (1)講演会、解説会 | 40 |
| (2)美術講座 コレクション解析学 2009-2010 | 40 |
| (3)コンサート | 41 |
| (4)上映会 | 42 |
| 2. 子ども対象の事業 | 42 |
| (1)学校休業日の体験活動の推進 | 42 |
| (2)夏休みこどもの美術館 | 44 |
| (3)その他 | 46 |
| 3. 学校対象事業 | 47 |
| (1)ボランティアによる | |
| 学校等団体向けガイドトークの実績 | 47 |
| (2)アートカード貸出実績 | 48 |
| (3)出前アート体験 | 49 |
| (4)第5回 教師のための美術館利用研修会 | 51 |
| (5)名古屋市造形研究会への協力 | 51 |
| 2 ボランティア | 52 |
| (1)ボランティア登録者 | 52 |
| (2)定例会 | 52 |
| (3)ガイド活動 | 53 |
| (4)サポート活動 | 53 |
| (5)案内活動研修 | 54 |
| (6)その他 | 54 |
| (7)第6期ボランティア養成講座 | 54 |
| 3 協力会 | 56 |
| 4 図書室 | 56 |
| 5 出版 | 57 |
| 資料 | 58 |
| 1 収集 | 58 |
| (1)平成21年度購入 | 59 |
| (2)平成21年度受贈 | 60 |
| (3)平成21年度特別資料 | 62 |
| (4)資料収集状況一覧 | 63 |
| 2 保存・修復 | 64 |
| 3 調査・研究 | 64 |
| 4 貸出 | 65 |
| 入館者一覧 | 67 |
| 組織・予算 | 68 |
| 1 組織図 | 68 |
| 2 美術館協議会 | 68 |
| (1)名古屋市美術館協議会委員 | 68 |
| (2)名古屋市美術館協議会開催状況 | 68 |
| 3 職員 | 68 |
| 4 運営予算 | 68 |

序 PREFACE

名古屋市美術館の平成 21 年度の活動をまとめた年報を発行いたします。

平成 20 年に開館 20 周年という区切りの年を迎え、その翌年にあたる 21 年度は、美術館にとってまた新たな歴史への第一歩を踏み出す年となりました。その新たな歴史を飾るように、6 月 27 日には、開館以来 1 千万人目という、大きな節目にあたるお客様をお迎えすることができました。21 年目に入って早々に、1 千万人目のお客様をお迎えすることができたという事実は、名古屋市美術館がいかに大勢の方々にご支持をいただいたかという何よりの証拠かと思えます。この幅広いご支持を糧として、今後も皆様方に愛されるような活動を続けていきたいと考えております。何とぞこれまで以上に大きなご支援をいただけますようお願いいたします。

さて、当館の活動の大きな柱であります、収集、展示、普及の 3 つの活動につきまして、平成 21 年度もこれまで通り着実な成果を上げることができました。

先ず、収集につきましては、一昨年度に常設企画展として生誕 100 年を記念する展覧会を開催した地元の女流画家田中君枝の作品をはじめ、ボロフスキー、藤本由紀夫、青木野枝などの現代作家の作品を収集し、また寄贈につきましても地元作家の伊藤敏博、大森運夫をはじめ、15 点の作品を新たにご寄贈いただきました。

展示活動の内、特別展につきましては「だまし絵展」、「放課後のはらっぱ」、「日本の表現主義」、「絵画と写真の交差」、「コレクションを極める」の 5 本を開催しました。最初に開催した「だまし絵展」は、通常の美術展とは少し視点を変えた内容がご好評をいただき、予想を遙かに超える大勢のお客様をお迎えしました。特に、お子様連れのご家族での来場者が目につきました。「放課後のはらっぱ」は翌年度に開催予定の「あいちトリエンナーレ」のプレ企画として開催されたもので、師弟関係に焦点を当てた内容のユニークさが注目を集めました。「日本の表現主義」と「絵画と写真の交差」は、いずれもテーマを絞り込んだ内容が専門家の方々にも高い評価をいただき、見応えのある展示になりました。最後に開催した「コレクションを極める」は、当館の収蔵品によるテーマ展ですが、通常とは趣きの異なる作品解説が分かりやすいとご好評をいただきました。常設展につきましては従来通り、小テーマを設けるなどして、作品の持つ新たな魅力のご紹介に努めました。

作品と来館者の方々をつなぐ教育普及活動は、近年ますますその重要性を高めていますが、当館での活動の充実ぶりについてはこの年報をご覧くださいただけでも充分にご理解いただけるものと思えます。今後とも、これまでの活動方法にこだわることなく、作品の持つ魅力をいかにして多くの方々に分かりやすくお伝えするか、という原点に常に立ち返り、一層の努力をしていきたいと思えます。

相変わらず厳しい経済情勢が続き、日本という国そのものが深い模索の中にあるこのような時代にこそ、美術の持つ力が私たちを癒し支えてくれるものと考えます。どうぞ、これまでにも増して美術館への暖かいご支援とご鞭撻をお願いいたします。

2010 年 12 月

名古屋市美術館

沿革 HISTORY

- 昭和 52 年 12 月 「名古屋市基本構想」策定、同構想において美術館建設をめざす
- 昭和 56 年 1 月 市長、年頭記者会見において、美術館の具体化検討を発表
- 12 月 市会、美術館建設のための調査費を議決
- 昭和 57 年 2 月 美術館調査委員会（委員長 豊岡益人愛知県立芸術大学学長）設置、
美術館のあり方について諮問
- 4 月 「名古屋市市民文化振興のための基金に関する条例」制定
- 昭和 58 年 1 月 美術館調査委員会「名古屋市美術館（仮称）の基本構想について」答申
- 7 月 美術館建設委員会（委員長 伊藤延男東京国立文化財研究所所長）設置
- 8 月 美術館基本設計委託（黒川紀章建築・都市設計事務所）
- 10 月 美術館資料収集審査委員会設置、資料の収集を開始
- 昭和 59 年 3 月 建築基本設計完了
- 9 月 美術館実施設計委託（黒川紀章建築・都市設計事務所）
- 昭和 60 年 1 月 建築実施設計完了
- 2 月 名古屋市文化顧問（安達健二 東京国立近代美術館長）委嘱
- 7 月 美術館建設工事着手
- 昭和 61 年 11 月 「名古屋市美術館（仮称）収集作品展」を市博物館で開催
- 昭和 62 年 4 月 美術館開設準備顧問（谷隆夫 元名古屋市助役）委嘱
- 7 月 美術館本体工事完成
- 10 月 外構工事完成
- 昭和 63 年 3 月 「名古屋市美術館条例」制定
- 4 月 美術館顧問（河北倫明氏）委嘱
- 4 月 開館（館長 谷隆夫）
- 平成元年 9 月 博物館登録
- 平成 5 年 9 月 南側エレベーターの設置
- 平成 7 年 6 月 美術館長（剣持一郎 元名古屋市教育長）委嘱
美術館顧問（谷隆夫 元館長）委嘱
- 平成 10 年 10 月 美術館参与（馬場駿吉 元名古屋市立大学教授）委嘱
- 平成 11 年 6 月 美術館長（小林龍郎 元名古屋市総務局長）委嘱
- 平成 14 年 6 月 美術館長（宮澤明倫 元名古屋市教育長）委嘱
- 平成 18 年 6 月 美術館長（渡辺豊彦 元名古屋市選挙管理委員会事務局長）委嘱
美術館参与（石黒鏘二 名古屋造形芸術大学名誉教授）委嘱
- 平成 21 年 5 月 美術館長（松永恒裕 前名古屋市総務局長）委嘱

平成 21 年度の常設展（名品コレクション展）は、総計 3 回の展示を各 2 名の学芸員がチームとなって、それぞれが独自のテーマを設定して、名古屋市美術館のコレクションを多角的に紹介することを目的として開催しました。

名品コレクション展Ⅰにおいては、総合的なテーマとして「旅」を設定しました。エコール・ド・パリでは、「パスキンとシャガール旅の情景」と題して、生涯、旅を続けた画家パスキンが世界各地で描いた風景や人々の生活のスケッチや版画とともに、ゴーゴリ的小説『死せる魂』の主人公チーチコフが金儲けのためにロシア国内を遍歴する姿を描いたシャガールの版画を、メキシコ・ルネサンスでは、「旅人の肖像」のタイトルそのままのイスキエルドの《旅人の肖像》や《巡礼者たち》などを展示しました。現代の美術では、前期が「旅—人生」というテーマで、ブランクーシの《うぶごえ》やイサム・ノグチの《死すべきもの》を、後期は「空間の旅、時間の旅」というテーマで、河原温の《Today》シリーズや河口龍夫の《関係—時のフロッタージュ》などを、郷土の美術では、前期は「旅—海を渡って」というテーマで、亡命ユダヤ人の姿を撮った写真や海を渡る蝶を描いた三岸好太郎の筆彩素描集《蝶と貝殻》などを、後期は「画家たちの旅—ヨーロッパとアジア」というテーマで、ヨーロッパ留学した画家たちの滞欧作やアジア旅行のスケッチなどを紹介しました。

名品コレクション展Ⅱにおいては、コーナー毎に個別のテーマを設定しました。エコール・ド・パリでは、「街を描く」と題して、ユトリロの《ノルヴェン通り》《ラパン・アジュール》や荻須高德の《洗濯場（オーベルヴィリエ）》《サン・ドニ河岸》、三岸節子の《雷がくる》、宮田重雄の《滞欧スケッチ》など、パリをはじめとしたフランスの風景を描いた作品を集めました。メキシコ・ルネサンスでは、代表作《メキシコ風景》をはじめとして「オロスコの芸術」を紹介しました。現代の美術では、前期は「現代の美術の表現性」というテーマで、村井正誠、桑山忠明、村上友晴、アバカノヴィッチ、フランタなど、世界の本質を抽象して得られる感情や観念を表現した作品を、後期は「現代の美術と写真」というテーマで、赤瀬川原平、荒川修作、森村泰昌、ゴールズワージー、ベッヒャーなど、絵画と写真の交錯する作品を展示しました。郷土の美術では、前期は「中村正義とゆかりの作家」と題して、戦後の日本画の革新に取り組んだ作家たちの作品を、後期は描画材と表現の関係に注目して、「ペン画の世

界」というテーマで、池田龍雄、中村宏などの作品を紹介しました。

名品コレクション展Ⅲでは、再び総合的なテーマとして「視線」を設定しました。エコール・ド・パリでは、「ポートレイトの視線」というテーマで、シャガールの《二重肖像》やキスリングの《ルネ・キスリング夫人の肖像》などに描かれたモデルの視線の行方に注目しました。メキシコ・ルネサンスでは、「交錯する視線」と題して、アメリカの写真家ストランドとメキシコに生まれた写真家ブラボーが見たメキシコの現実を紹介しました。現代の美術では、中村宏、大島哲以、サビエ、北脇昇といった画家たちが描写対象に注ぐ「まなざしの温度」をテーマにしました。郷土の美術では、「風景への視線」というテーマで、1900 年代以降の自然主義文学の影響と自我の目覚めのなかで発見された「風景」に注がれた画家（山本鼎）や写真家たち（日高長太郎、大橋松太郎など）の視線を反映した作品を展示しました。

常設企画展としては、前半期には、特別展「視覚の魔術—だまし絵」に関連した「コレクションのなかの『だまし絵』?!」や夏休みこどもの美術館に関連した「コレクションのなかの子どもたち」といった特集展示を行いました。

夏には、あいちトリエンナーレ 2010 プレイベントとして特別展「放課後のはらっぱ 櫃田伸也とその教え子たち」を開催しました。

冬には、名古屋において戦後の日本画の革新運動に取り組んだ画家・堀尾実の初の本格的な回顧展「生誕 100 年記念 堀尾実」を開催しました。戦後、第 1 回創造美術展に入選した日本画による抽象絵画《作品 B》をはじめとして、竹田大助、水谷勇夫などともに前衛美術グループ・匹亞会を結成した頃の代表作《冬の構図》、さらに晩年の実験的なフォト・コラージュ作品まで、忘れられた前衛画家の芸術の軌跡を紹介しました。

(1)名品コレクション展

Selected Works from the Collection of
Nagoya City Art Museum

名品コレクション展 I

会期:2009年4月11日(土)-8月16日(日)

会場:常設展示室 1・2

出品作品

*: 寄託作品

作品展示期間 i: 4月11日(土)-6月14日(日) ii: 6月16日(火)-8月16日(日)

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ | 展示期間 |
|------------------|------------|--------------------|--------|-----------|---|------|
| コレクション解析学 | | | | | | |
| 1 | マリー・ローランサン | サーカスにて | 1913年頃 | 油彩・キャンヴァス | 116.5x89.0cm | i |
| 2 | ナムジュン・バイク | ロボット家族 (お父さん、お母さん) | 1986年 | テレビ、ビデオ | 226.1x139.1x52.1cm、 203.1x153.7x53.3cm | ii |

エコール・ド・パリ: パスキンとシャガール—旅の情景

| | | | | | | |
|----|-----------|--------------------------------------|--------------------|----------------------------|--------------------------|----|
| 1 | マルク・シャガール | 《死せる魂》1 チーチコフの到着 | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 28.0x38.0 (22.0x28.6) cm | i |
| 2 | マルク・シャガール | 《死せる魂》2 旅籠屋 | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 28.0x38.0 (22.1x28.6) cm | i |
| 3 | マルク・シャガール | 《死せる魂》7 道中 | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 28.0x38.0 (22.0x28.6) cm | ii |
| 4 | マルク・シャガール | 《死せる魂》9 扉口でのマニーロフと チーチコフ | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 38.0x28.0 (28.6x22.1) cm | ii |
| 5 | マルク・シャガール | 《死せる魂》20 旅籠屋の家 | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 38.0x28.0 (28.0x23.0) cm | ii |
| 6 | マルク・シャガール | 《死せる魂》22 ノズドリョーフ | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 38.0x28.0 (28.7x23.1) cm | ii |
| 7 | マルク・シャガール | 《死せる魂》26 馬たちにえさを与える 御者 | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 28.0x38.0 (21.2x27.8) cm | i |
| 8 | マルク・シャガール | 《死せる魂》32 サバケーヴィチ | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 38.0x28.0 (27.7x21.0) cm | i |
| 9 | マルク・シャガール | 《死せる魂》33 サバケーヴィチ夫人 | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 38.0x28.0 (27.7x21.0) cm | i |
| 10 | マルク・シャガール | 《死せる魂》36 食卓のサバケーヴィチ | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 28.0x38.0 (21.4x28.0) cm | ii |
| 11 | マルク・シャガール | 《死せる魂》40 農民に出会う | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 38.0x28.0 (27.8x21.5) cm | i |
| 12 | マルク・シャガール | 《死せる魂》44 ブリュエシキンの部屋 | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 38.0x28.0 (27.6x21.4) cm | ii |
| 13 | マルク・シャガール | 《死せる魂》60 穀物波止場 | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 28.0x38.0 (21.1x27.6) cm | ii |
| 14 | マルク・シャガール | 《死せる魂》67 警察署長宅での晩餐 | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 38.0x28.0 (27.6x21.6) cm | i |
| 15 | マルク・シャガール | 《死せる魂》77 感じの良い婦人と何ご とにつけても感じの良い婦人 | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 38.0x28.0 (28.7x21.0) cm | i |
| 16 | マルク・シャガール | 《死せる魂》79 酒宴はつかみあいに終 わる | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 28.0x38.0 (23.5x27.7) cm | ii |
| 17 | マルク・シャガール | 《死せる魂》80 裸で逃げ出す | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 28.0x38.0 (20.8x27.6) cm | ii |
| 18 | マルク・シャガール | 《死せる魂》87 門番はチーチコフを通 さない | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 38.0x28.0 (27.6x23.5) cm | ii |
| 19 | マルク・シャガール | 《死せる魂》89 検事の葬列 | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 28.0x38.0 (21.0x27.8) cm | i |
| 20 | マルク・シャガール | 《死せる魂》96 夕暮れのトロイカ | 1923-25 (1948)年 | エッチング、ドライポイント、 アクアチント・紙 | 28.0x38.0 (20.6x27.3) cm | i |
| 21 | ジュール・パスキン | トルコ商人の家にて | 1907年 | エッチング・紙 | 8.9x12.9cm | i |
| 22 | ジュール・パスキン | モンマルトルの女たち | 1912年 | 木版・紙 | 7.9x9.4cm | i |
| 23 | ジュール・パスキン | モンマルトルの酒場 | 1912年 | ドライポイント・紙 | 8.3x11.0cm | i |
| 24 | ジュール・パスキン | 南洋にて | 1916年 | エッチング・紙 | 5.9x12.4cm | i |
| 25 | ジュール・パスキン | ニューヨーク風景 | 1916年 | エッチング・紙 | 11.9x15.3cm | i |
| 26 | ジュール・パスキン | アメリカの女たち | 1917年 | エッチング・紙 | 14.0x18.0cm | ii |
| 27 | ジュール・パスキン | アメリカの少女 | 1917年 | ソフトグランドエッチング・紙 | 8.4x8.4cm | ii |
| 28 | ジュール・パスキン | キューバ人 | 1917年 | ドライポイント・紙 | 18.0x20.0cm | ii |
| 29 | ジュール・パスキン | フロリダにて | 1917年 | エッチング・紙 | 5.3x7.7cm | ii |
| 30 | ジュール・パスキン | チュニスの市場 | 1921年 | ドライポイント・紙 | 17.8x13.2cm | ii |
| 31 | ジュール・パスキン | 放蕩息子と娘たち | 1926年 | ドライポイント・紙 | 33.5x47.9cm | i |
| 32 | ジュール・パスキン | 再び放蕩息子 | 1927年 | ソフトグランドエッチング・紙 | 25.2x30.0cm | ii |

| | | | | | | |
|----|--------------|----------------------|-----------|------------------|---------------|------|
| 33 | ジュール・パスキン | マダガスカルの貴族（クレオルの貴族） | 1927年 | ドライポイント、アクアチント・紙 | 13. 1x13. 2cm | ii |
| 34 | ジュール・パスキン | フロリダの黒人たち | 1928年 | ソフトグラウンドエッチング・紙 | 20. 0x25. 3cm | i |
| 35 | ジュール・パスキン | マルタ島の波止場 | 1928年 | エッチング、ドライポイント・紙 | 41. 7x36. 2cm | ii |
| 36 | ジュール・パスキン | セントラルパーク | 1929年 | ソフトグラウンドエッチング・紙 | 12. 2x15. 2cm | i |
| 37 | ハイム・スーチン | 鳥のいる静物 | 1918-19年頃 | 油彩・キャンヴァス | 60. 0x81. 5cm | i ii |
| 38 | モーリス・ユトリロ | マルカデ通り | 1909年 | 油彩・キャンヴァス | 60. 3x81. 3cm | i ii |
| 39 | アメデオ・モディリアーニ | 立てる裸婦（カリアティードのための習作） | 1911-12年頃 | 油彩、水彩・紙、板 | 83. 0x47. 8cm | i ii |
| 40 | アメデオ・モディリアーニ | おさげ髪の少女 | 1918年頃 | 油彩・キャンヴァス | 60. 1x45. 4cm | i ii |
| 41 | キスリング | ルネ・キスリング夫人の肖像 | 1920年 | 油彩・キャンヴァス | 73. 7x54. 6cm | i ii |
| 42 | キース・ヴァン＝ドンゲン | コルセットの女 | 1908年 | 油彩・キャンヴァス | 65. 0x50. 0cm | i ii |
| 43 | マリー・ローランサン | アポリネールの娘 | 1924年頃 | 油彩・キャンヴァス | 73. 1x54. 0cm | i ii |

メキシコ・ルネサンス：旅人の肖像

| | | | | | | |
|----|-----------------------|----------------------------|--------|------------------------------|-----------------|------|
| 1 | マリア・イスキエルド | 旅人の肖像（アンリ・ド・シャティヨン の肖像） | 1940年頃 | 油彩・キャンヴァス | 160. 0x190. 0cm | i ii |
| 2 | マリア・イスキエルド | 巡礼者たち | 1945年 | 油彩・キャンヴァス | 60. 0x75. 0cm | i ii |
| 3 | フリーダ・カーロ | 死の仮面を被った少女 | 1938年 | 油彩・ブリキ | 14. 9x11. 0cm | i ii |
| 4 | ディエゴ・リベラ | スペイン風景（トレド） | 1913年 | 油彩・キャンヴァス | 89. 0x110. 0cm | i ii |
| 5 | ディエゴ・リベラ | ホコの葬列 | 制作年不詳 | 油彩・キャンヴァス | 59. 7x69. 0cm | i ii |
| 6 | ディエゴ・リベラ | プロレタリアの団結 | 1933年 | フレスコ・石膏（3層）、ワイヤ ラス（金網）、合板 | 161. 9x201. 3cm | i ii |
| 7 | ホセ・クレメンテ・オロスコ | メキシコ風景 | 1932年 | 油彩・キャンヴァス | 76. 1x93. 9cm | i ii |
| 8 | ホセ・クレメンテ・オロスコ | 地下鉄／労働者（失業者） | 1929年 | 油彩・キャンヴァス | 46. 5x53. 8cm | i ii |
| 9 | ダヴィッド・アルファロ・シケ イロス | カウテモックの肖像 | 1947年 | ピロキシリン・メゾナイト | 75. 5x62. 0cm | i ii |
| 10 | ダヴィッド・アルファロ・シケ イロス | 奴隷 | 1961年 | アクリル・板 | 86. 4x64. 8cm | i ii |
| 11 | ルフィーノ・タマヨ | 乗り遅れた乗客 | 1946年 | 油彩・キャンヴァス | 97. 2x84. 0cm | i ii |
| 12 | 北川民次 | トラルパム霊園のお祭り | 1930年 | 油彩・キャンヴァス | 99. 5x89. 8cm | i ii |

現代の美術（前期）：旅—人生

| | | | | | | |
|-----|--|-----------------------|-------------|-------------------------------|------------------------|---|
| 1 | コンスタンティン・ブランクー シ | うぶごえ | 1917(1984)年 | ブロンズ | 17. 0x26. 0x18. 0cm | i |
| 2 | アンゼルム・キーファー | シベリアの王女 | 1988年 | ミクストメディア | 280. 0x501. 0x6. 5cm | i |
| 3 | フランク・ステラ | 説教 | 1990年 | アルミニウム、ミクストメディ ア | 345. 5x365. 8x139. 7cm | i |
| 4 | イサム・ノグチ | 死すべきもの | 1959-62年 | ブロンズ | 190. 0x51. 0x48. 0cm | i |
| 5 | 河川龍夫 | 関係—時のフロッタージュ | 1996-97年 | 和紙、蜜蝋、天然黄土、ステレ ンボード（50点） | 各46. 3x36. 3x4. 2cm | i |
| 6 | 河川龍夫 | ダークボックス 2008 | 2008年 | 鉄 | 37. 0x60. 0x35. 0cm | i |
| *7 | 加納光於／大岡信 | アララットの船あるいは空の蜜 No. 11 | 1971-72年 | 木、金属、ガラス 他 | 68. 0x44. 2x22. 8cm | i |
| 8 | 河原温 | 百万年—未来 | 1982年 | ゼロックスコピー、ルーズリー フバインダー（10巻） | 各30. 5x22. 8x7. 6cm | i |
| 9 | 河原温 | 「I got up」シリーズ | 1976年 | スタンプ、絵葉書（20通） | 各9. 0x14. 0cm | i |
| 10 | 久野真 | 鋼鉄による作品（#512）長い手紙 | 1988年 | 板、ステンレススティール | 100. 0x655. 0cm | i |
| 11 | 若林奮 | エヴェレスト・ホテルVI | 1991年 | アクリル、麻、石膏、鉄、硫 黄、木 | 95. 0x74. 5x71. 0cm | i |
| 12 | 若林奮 | エヴェレスト・ホテルVII | 1991年 | アクリル、麻、石膏、鉄、硫 黄、木 | 95. 0x74. 5x71. 0cm | i |
| *13 | 瀧口修造／中西夏之／岡崎和郎 ／荒川修作／武満徹／多田美波 ／赤瀬川原平／加納光於／野中 ユリ | 漂流物 標本箱 | 1974年 | ミクストメディア | 35. 0x27. 5x4. 0cm | i |

現代の美術（後期）：空間の旅、時間の旅

| | | | | | | |
|----|------|-------------------|----------|-------------------------------|---------------------|----|
| 1 | 河原 温 | APR. 5, 1987 | 1987年 | リキテックス・キャンヴァス | 25. 5x33. 0cm | ii |
| 2 | 河原 温 | APR. 6, 1987 | 1987年 | リキテックス・キャンヴァス | 25. 5x33. 0cm | ii |
| 3 | 河原 温 | APR. 7, 1987 | 1987年 | リキテックス・キャンヴァス | 25. 5x33. 0cm | ii |
| 4 | 河原 温 | APR. 8, 1987 | 1987年 | リキテックス・キャンヴァス | 25. 5x33. 0cm | ii |
| 5 | 河原 温 | APR. 9, 1987 | 1987年 | リキテックス・キャンヴァス | 25. 5x33. 0cm | ii |
| 6 | 河原 温 | APR. 10, 1987 | 1987年 | リキテックス・キャンヴァス | 25. 5x33. 0cm | ii |
| 7 | 河原 温 | APR. 11, 1987 | 1987年 | リキテックス・キャンヴァス | 25. 5x33. 0cm | ii |
| 8 | 河原 温 | 百万年—未来 | 1982年 | ゼロックスコピー、ルーズリー フバインダー（10巻） | 30. 5x22. 8x7. 6cm | ii |
| 9 | 河川龍夫 | 関係—時のフロッタージュ | 1996-97年 | 和紙、蜜蝋、天然黄土、ステレ ンボード（8点） | 各46. 3x36. 3x4. 2cm | ii |
| 10 | 中村 宏 | 車窓編TYPE10—A, B, C | 1981年 | 油彩・キャンヴァス（3点1組） | 各91. 0x117. 0cm | ii |

| | | | | | | |
|----|----------------|----------------------------------|--------------|------------------------|---------------------|----|
| 11 | 高松次郎 | 「イメージの空間：名古屋駅の人々」のための構想ドローイング 4 | 1989年 | 鉛筆・紙 (18枚1組) | 54.7x79.2cm | ii |
| 12 | 高松次郎 | 「イメージの空間：名古屋駅の人々」のための構想ドローイング 7 | 1989年 | 鉛筆・紙 (18枚1組) | 54.7x79.2cm | ii |
| 13 | 高松次郎 | 「イメージの空間：名古屋駅の人々」のための構想ドローイング 17 | 1989年 | 鉛筆・紙 (18枚1組) | 54.7x79.2cm | ii |
| 14 | 高松次郎 | 「イメージの空間：名古屋駅の人々」のための構想ドローイング 18 | 1989年 | 鉛筆・紙 (18枚1組) | 54.7x79.2cm | ii |
| 15 | エドワード・アーリントン | サチュルヌス | 1988年 | インク、乳剤・紙、キャンヴァス | 183.0x244.0cm | ii |
| 16 | エドワード・ルッシュェ | 20世紀 | 1988年 | 油彩・キャンヴァス | 150.0x368.0cm | ii |
| 17 | デイヴィッド・ホックニー | 6つのグリム童話のための挿絵 18 家 | 1969 (1970)年 | エッチング・紙 | 44.5x32.0cm | ii |
| 18 | デイヴィッド・ホックニー | 6つのグリム童話のための挿絵 19 鐘楼 | 1969 (1970)年 | エッチング、アクアチント・紙 | 26.5x16.5cm | ii |
| 19 | デイヴィッド・ホックニー | 6つのグリム童話のための挿絵 20 幽霊を装う寺男 | 1969 (1970)年 | エッチング、アクアチント・紙 | 23.0x26.8cm | ii |
| 20 | デイヴィッド・ホックニー | 6つのグリム童話のための挿絵 21 石のように立つ幽霊を装う寺男 | 1969 (1970)年 | エッチング、アクアチント・紙 | 44.5x32.3cm | ii |
| 21 | デイヴィッド・ホックニー | 6つのグリム童話のための挿絵 22 火の中の死体 | 1969 (1970)年 | エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙 | 25.8x24.5cm | ii |
| 22 | デイヴィッド・ホックニー | 6つのグリム童話のための挿絵 23 とりつかれた城 | 1969 (1970)年 | エッチング、アクアチント・紙 | 34.2x20.5cm | ii |
| 23 | デイヴィッド・ホックニー | 6つのグリム童話のための挿絵 24 大工の作業台、ナイフと火 | 1969 (1970)年 | エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙 | 15.3x17.2cm | ii |
| 24 | デイヴィッド・ホックニー | 6つのグリム童話のための挿絵 25 跳びかかる黒猫 | 1969 (1970)年 | エッチング、アクアチント・紙 | 23.5x27.0cm | ii |
| 25 | デイヴィッド・ホックニー | 6つのグリム童話のための挿絵 26 旋盤と炎 | 1969 (1970)年 | エッチング、アクアチント、ドライポイント・紙 | 15.1x16.4cm | ii |
| 26 | デイヴィッド・ホックニー | 6つのグリム童話のための挿絵 27 城の内部 | 1969 (1970)年 | エッチング、アクアチント・紙 | 25.5x26.3cm | ii |
| 27 | デイヴィッド・ホックニー | 6つのグリム童話のための挿絵 28 冷たい水が王子を襲う | 1969 (1970)年 | エッチング、アクアチント・紙 | 38.5x27.0cm | ii |
| 28 | アンディー・ゴールズワージー | 楓の紅葉による鎖／大内山村／1987年11月21日 | 1987年 | カラー写真 | 129.3x73.4cm | ii |
| 29 | アンディー・ゴールズワージー | 白く擦った石／紀伊長島町／1987年11月29日 | 1987年 | カラー写真 | 50.6x50.6cm | ii |
| 30 | バリー・フラナガン | 三日月と釣鐘の上を跳ぶ野ウサギ | 1983年 | ブロンズ | 121.9x94.0x61.0cm | ii |
| 31 | アンゼラム・キーファー | シベリアの王女 | 1988年 | ミクストメディア | 280.0x501.0x6.5cm | ii |
| 32 | フランク・ステラ | 説教 | 1990年 | アルミニウム、ミクストメディア | 345.5x365.8x139.7cm | ii |

郷土の美術（前期）：旅—海を渡って

| | | | | | | |
|----|------|-------------------|-------------|--------------------------------|-------------|---|
| 1 | 北川民次 | 海丸シリーズ(甲板) | 1939年 | グワッシュ・紙 | 36.8x44.9cm | i |
| 2 | 北川民次 | 海丸シリーズ(通風筒) | 1939年 | グワッシュ・紙 | 36.3x51.6cm | i |
| 3 | 北川民次 | 海丸シリーズ(舷側) | 1939年 | グワッシュ・紙 | 49.2x33.2cm | i |
| 4 | 椎原治 | 流氓ユダヤー仲間 | 1941年 | ゼラチンシルバープリント、フェロタイプ仕上げ | 30.9x43.7cm | i |
| 5 | 椎原治 | 流氓ユダヤーヘブライの書 | 1941年 | ゼラチンシルバープリント、フェロタイプ仕上げ | 31.8x41.4cm | i |
| 6 | 椎原治 | 流氓ユダヤー仮睡 | 1941年 | ゼラチンシルバープリント、フェロタイプ仕上げ | 35.7x43.2cm | i |
| 7 | 椎原治 | 流氓ユダヤー窓 | 1941年 | ゼラチンシルバープリント、フェロタイプ仕上げ | 30.3x25.0cm | i |
| 8 | 田淵銀芳 | 流氓ユダヤー題不詳(ヘブライの書) | 1941(2005)年 | ゼラチンシルバープリント、オリジナルネガからのニュープリント | 20.2x30.3cm | i |
| 9 | 田淵銀芳 | 流氓ユダヤー題不詳(三人の子供) | 1941(2005)年 | ゼラチンシルバープリント、オリジナルネガからのニュープリント | 20.2x30.3cm | i |
| 10 | 田淵銀芳 | 流氓ユダヤー題不詳(仲間、告示板) | 1941(2005)年 | ゼラチンシルバープリント、オリジナルネガからのニュープリント | 20.2x30.3cm | i |
| 11 | 田淵銀芳 | 流氓ユダヤー題不詳(仲間、中庭) | 1941(2005)年 | ゼラチンシルバープリント、オリジナルネガからのニュープリント | 20.2x30.3cm | i |
| 12 | 田淵銀芳 | 流氓ユダヤー題不詳(中庭) | 1941(2005)年 | ゼラチンシルバープリント、オリジナルネガからのニュープリント | 20.2x30.3cm | i |
| 13 | 田淵銀芳 | 流氓ユダヤー題不詳(ベッド) | 1941(2005)年 | ゼラチンシルバープリント、オリジナルネガからのニュープリント | 20.2x30.3cm | i |
| 14 | 田淵銀芳 | 流氓ユダヤー父子 | 1941(2005)年 | ゼラチンシルバープリント、オリジナルネガからのニュープリント | 20.2x30.3cm | i |

| | | | | | | |
|----|-------|--------------|---------------|--------------------------------|---------------|---|
| 15 | 田淵銀芳 | 流氓ユダヤーチェス | 1941 (2005) 年 | ゼラチンシルバープリント、オリジナルネガからのニュープリント | 20. 2x30. 3cm | i |
| 16 | 田淵銀芳 | 流氓ユダヤー題不詳（窓） | 1941 (2005) 年 | ゼラチンシルバープリント、オリジナルネガからのニュープリント | 20. 2x30. 3cm | i |
| 17 | 田淵銀芳 | 流氓ユダヤー男 | 1941 (2005) 年 | ゼラチンシルバープリント、オリジナルネガからのニュープリント | 30. 1x20. 1cm | i |
| 18 | 三岸好太郎 | 筆彩素描集《蝶と貝殻》 | 1934年 | 印刷（凸版墨刷り）、手彩色（水彩、グワッシュ）・紙 | 30. 2x22. 8cm | i |

郷土の美術（後期）：画家たちの旅—ヨーロッパとアジア

| | | | | | | |
|----|-------|------------|--------|-----------|----------------|----|
| 1 | 鬼頭鍋三郎 | セーヌ河畔 | 1955年 | 油彩・キャンヴァス | 60. 0x72. 2cm | ii |
| 2 | 三岸節子 | プチカナル | 1973年 | 油彩・キャンヴァス | 116. 0x89. 0cm | ii |
| 3 | 三岸節子 | 雷がくる | 1979年 | 油彩・キャンヴァス | 89. 0x116. 3cm | ii |
| 4 | 佐分 真 | 南仏風景 | 1932年 | 油彩・板 | 46. 3x55. 3cm | ii |
| 5 | 矢橋六郎 | サンボール2（南仏） | 1932年 | 油彩・キャンヴァス | 61. 2x73. 2cm | ii |
| 6 | 荻須高德 | アムステルダム運河 | 1956年 | 油彩・キャンヴァス | 92. 3x65. 6cm | ii |
| 7 | 鶴田吾郎 | 哈爾濱（教会） | 1917年 | コンテ・紙 | 38. 4x50. 9cm | ii |
| 8 | 鶴田吾郎 | 西帰浦 | 1935年 | 木炭、鉛筆・紙 | 27. 1x34. 8cm | ii |
| 9 | 鶴田吾郎 | 北京 | 1937年 | コンテ・紙 | 24. 5x31. 3cm | ii |
| 10 | 鶴田吾郎 | 大同の石窟、雲崗 | 1937年頃 | コンテ・紙 | 35. 8x26. 5cm | ii |
| 11 | 鶴田吾郎 | 上海 | 1940年頃 | コンテ・紙 | 28. 2x36. 3cm | ii |
| 12 | 鶴田吾郎 | ベナレス、インド | 1962年 | コンテ・紙 | 27. 5x39. 5cm | ii |
| 13 | 杉本健吉 | 奈良博物館仏像 | 1937年頃 | コンテ・紙 | 60. 0x45. 2cm | ii |
| 14 | 杉本健吉 | 西の京 | 1940年代 | コンテ・紙 | 45. 0x56. 4cm | ii |
| 15 | 杉本健吉 | 五百羅漢堂 | 1930年代 | 油彩・紙 | 52. 5x45. 5cm | ii |
| 16 | 杉本健吉 | 阿修羅 | 1946年頃 | 油彩・紙 | 59. 0x45. 0cm | ii |
| 17 | 田淵俊夫 | 大地悠久 洛陽黄河 | 1990 | 紙本着彩 | 93. 0x103. 0cm | ii |

名品コレクション展Ⅱ

会期：2009年8月22日(土)～12月20日(日)

会場：常設展示室 1・2

©：初出品

作品展示期間 i：8月22日(土)～10月18日(日) ii：10月20日(火)～12月20日(日)

出品作品

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ | 展示期間 |
|----------------------------|------------------|---|----------------|-------------------------------------|---|------|
| コレクション解析学 | | | | | | |
| 1 | 鬼頭鍋三郎 | 手をかざす女 | 1934年 | 油彩・キャンヴァス | 191.0x129.0cm | i |
| 2 | 福田美蘭 | 陶器(スルバランによる) | 1992年 | カラー写真 | 46.2x85.7x3.3cm | ii |
| 3 | 福田美蘭 | 陶器(スルバランによる) | 1992年 | カラー写真、レンチキュラー・レンズ | 47.9x86.0x3.5cm | ii |
| エコール・ド・パリ：街を描く | | | | | | |
| 1 | 荻須高德 | 道と看板(ポールガール通り) | 1958-59年 | 油彩・キャンヴァス | 73.2x60.2cm | i ii |
| 2 | 荻須高德 | 洗濯場(オーベルヴィリエ) | 1960年頃 | 油彩・キャンヴァス | 116.3x89.2cm | i ii |
| 3 | 荻須高德 | サン・ドニ河岸 | 制作年不詳 | 油彩・キャンヴァス | 73.2x91.7cm | i ii |
| 4 | 藤田嗣治 | 自画像 | 1929年 | 油彩、鉛筆、金箔・キャンヴァス | 81.4x65.5cm | i ii |
| 5 | 三岸節子 | 雷がくる | 1979年 | 油彩・キャンヴァス | 89.0x116.3cm | i ii |
| 6 | 宮田重雄 | 《滞欧スケッチ》 カーニユ、海の近く | 1929年 | 鉛筆、水彩・紙 | 30.0x38.0cm | i ii |
| 7 | 宮田重雄 | 《滞欧スケッチ》 [ノルヴァン通り] | 1930年 | 鉛筆、水彩・紙 | 30.0x38.0cm | i ii |
| 8 | 宮田重雄 | 《滞欧スケッチ》 [パリ14区] | 1928-30年頃 | 鉛筆、水彩・紙 | 30.0x38.0cm | i ii |
| 9 | キスリング | ルネ・キスリング夫人の肖像 | 1920年 | 油彩・キャンヴァス | 73.7x54.6cm | i ii |
| 10 | キスリング | マルセル・シャンタルの肖像 | 1935年 | 油彩・キャンヴァス | 116.0x81.0cm | i ii |
| 11 | ハイム・スーテン | セレの風景 | 1922年頃 | 油彩・キャンヴァス | 79.8x87.2cm | i ii |
| 12 | アメデオ・モディリアーニ | おさげ髪の少女 | 1918年頃 | 油彩・キャンヴァス | 60.1x45.4cm | i ii |
| 13 | モーリス・ユトリロ | ノルヴァン通り | 1910年 | 油彩・厚紙 | 73.1x92.0cm | i ii |
| 14 | モーリス・ユトリロ | ラバン・アジュール | 1913年頃 | 油彩・キャンヴァス | 50.0x65.0cm | i ii |
| メキシコ・ルネサンス：オロスコの芸術 | | | | | | |
| 1 | 北川民次 | トラルパム霊園のお祭り | 1930年 | 油彩・キャンヴァス | 99.5x89.8cm | i ii |
| 2 | マリア・イスキエルド | 生きている静物 | 1947年 | 油彩・キャンヴァス | 80.3x99.7cm | i ii |
| 3 | ホセ・クレメンテ・オロスコ | 地下鉄/労働者(失業者) | 1929年 | 油彩・キャンヴァス | 46.5x53.8cm | i ii |
| 4 | ホセ・クレメンテ・オロスコ | メキシコ風景 | 1932年 | 油彩・キャンヴァス | 76.1x93.9cm | i ii |
| 5 | ホセ・クレメンテ・オロスコ | 白い神々 | 1947年 | 油彩・メゾナイト | 71.0x91.5cm | i ii |
| 6 | フリーダ・カーロ | 死の仮面を被った少女 | 1938年 | 油彩・ブリキ | 14.9x11.0cm | i ii |
| 7 | ダビッド・アルファロ・シケイロス | 婦人像 | 1934年 | 油彩・メゾナイト | 152.7x78.7cm | i ii |
| 8 | ダビッド・アルファロ・シケイロス | 母と子 | 1962年 | デュコ・メゾナイト | 80.2x61.2cm | i ii |
| 9 | フランシスコ・スニガ | 立ちつくす孤独 | 1971年 | ブロンズ | 高さ181.0cm | i ii |
| 10 | ルフィーノ・タマヨ | 夜の踊り子たち | 1948年 | 油彩・キャンヴァス | 96.7x76.4cm | i ii |
| 11 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | ホセ・クレメンテ・オロスコ | 1930-40(1987)年 | ゼラチンシルバープリント・紙 | 20.3x25.4cm | i ii |
| 12 | ディエゴ・リベラ | プロレタリアの団結 | 1933年 | フレスコ・石膏、ワイヤラス、合板 | 161.9x201.3cm | i ii |
| 現代の美術(前期)：現代の美術の表現性 | | | | | | |
| 1 | 荒川修作 | 名前のない耐えているもの No. 2 | 1958(1986) | セメント、綿 | 253.5x123.1x22.7cm | i |
| 2 | 河原温 | 《Today》シリーズより OCT. 12. 1972 | 1972 | アクリル・キャンヴァス | 45.5x61.5cm | i |
| 3 | 河原温 | 《Today》シリーズより SEPT. 8. 1982 | 1982 | アクリル・キャンヴァス | 25.5x33.0cm | i |
| 4 | 桑山忠明 | 無題 | 1978-79 | アクリル・キャンヴァス | 243.8x243.8cm | i |
| 5 | 内藤礼 | ナーメンロスノリヒト | 1995 | 色鉛筆・紙 | 42.0x30.5cm(2点) | i |
| 6 | 村井正誠 | 歩く人 | 1992 | 油彩・キャンヴァス | 228.0x182.0cm | i |
| 7 | 村上友晴 | 十字架 | 1998 | 油彩、アクリル・紙 | 43.5x32.0cm | i |
| 8 | 村上友晴 | 十字架の道 | 1998 | 油彩、アクリル・紙 | 各31.5x23.0cm(14点組) | i |
| 9 | マグダレーナ・アバカノヴィッチ | 《白い顔》より 顔 | 2004 | 墨、グアッシュ・紙 | 各42.0x30.0cm(6点組) | i |
| 10 | アンゼラム・キーファー | シベリアの王女 | 1988 | ミクストメディア | 280.0x501.0x6.5cm | i |
| 11 | フランク・ステラ | 説教 | 1990 | アルミニウム、ミクストメディア | 345.5x365.8x139.7cm | i |
| 12 | フランタ | 記憶のために—証人 | 1995 | 油彩・キャンヴァス | 200.0x670.0cm | i |
| 現代の美術(後期)：現代の美術と写真 | | | | | | |
| 1 | 赤瀬川原平 | あいまいな海9 | 1961年 | コラージュ、インク・紙 | 25.0x35.5cm | ii |
| 2 | 赤瀬川原平 | あいまいな海11(座骨内の眼球) | 1961年 | コラージュ、インク・紙 | 35.5x25.0cm | ii |
| 3 | 赤瀬川原平 | あいまいな海8 | 1963年 | コラージュ、インク、水彩・紙 | 39.8x27.3cm | ii |
| 4 | 荒川修作 | 「何」を繰り返すこと。置き換えること。大地、いや、しかしそれは多くの瞬間的なもの。変わることなく不連続な世界へ立ち返ること。この過程が問題だ。 | 1987-88年 | アクリル、鉛筆・キャンヴァス(3パネル)、ミクストメディア(8ボード) | 349.7x685.8cm(キャンヴァス) 245.0x490.0cm(ボード) | ii |

| | | | | | | |
|----|---------------|-----------------------------------|-------|-----------------------|---------------------|----|
| 5 | 三尾公三 | 冬野幻景 | 1988年 | アクリル・板 | 180.0x240.0cm | ii |
| 6 | 森村泰昌 | 兄弟（虐殺Ⅰ） | 1992年 | カラー写真、メディウム・パネ ル | 240.0x309.0cm | ii |
| 7 | 森村泰昌 | 兄弟（虐殺Ⅱ） | 1992年 | カラー写真、メディウム・パネ ル | 240.0x309.0cm | ii |
| 8 | 吉川家永 | 方式82～砂丘 | 1982年 | モノクロ写真 6点1組 | 各108.0x108.0cm | ii |
| 9 | ベッヒャー | 巻き上げ機 | 1980年 | モノクロ写真 12点1組 | 154.2x165.6cm | ii |
| 10 | アンディ・ゴールズワージー | 冷え込んだ山影で早朝に制作/和泉村 /1987年12月24日 | 1987年 | カラー写真 | 69.7x142.0cm | ii |
| 11 | アンゼラム・キーファー | シベリアの王女 | 1988年 | ミクストメディア | 280.0x 501.0x6.5cm | ii |
| 12 | ラインハルト・サビエ | ユダヤ人としての自画像 | 1993年 | カラージュ・紙、彩色プレクシ ガラス | 123.0x98.0cm | ii |
| 13 | ラインハルト・サビエ | 若いユダヤ女 | 1993年 | コンテ、グアッシュ、カラー ジュ・紙 | 118.0x91.5cm | ii |
| 14 | フランク・ステラ | 説教 | 1990年 | アルミニウム、ミクストメディ ア | 345.5x365.8x139.7cm | ii |

郷土の美術（前期）：中村正義とゆかりの作家

| | | | | | | |
|----|------|---------------------------|-------|---------|---------------|---|
| ◎1 | 岸本清子 | 《Erotical Girls》 三色すみれ | 1983年 | アクリル・合板 | 136.3x91.2cm | i |
| ◎2 | 岸本清子 | 《Erotical Girls》 チューリップ | 1983年 | アクリル・合板 | 136.4x91.3cm | i |
| ◎3 | 岸本清子 | 《Erotical Girls》 菊 | 1983年 | アクリル・合板 | 136.9x91.3cm | i |
| ◎4 | 岸本清子 | 《Erotical Girls》 片栗 | 1983年 | アクリル・合板 | 136.9x91.6cm | i |
| ◎5 | 岸本清子 | 《Erotical Girls》 クリスマスローズ | 1983年 | アクリル・合板 | 136.4x91.0cm | i |
| 6 | 中村正義 | 自画像 | 1962年 | 紙本着彩 | 161.0x129.4cm | i |
| 7 | 中村正義 | 男女 | 1963年 | 紙本着彩 | 182.0x259.5cm | i |
| 8 | 中村正義 | 男 | 1963年 | 紙本着彩 | 161.9x129.7cm | i |
| 9 | 中村正義 | 女 | 1963年 | 紙本着彩 | 161.5x127.5cm | i |
| 10 | 平川敏夫 | 樹凌 | 1967年 | 紙本着彩 | 169.6x239.5cm | i |
| 11 | 星野真吾 | 喪中の作品 | 1965年 | 紙本着彩 | 183.0x123.2cm | i |

郷土の美術（後期）：ペン画の世界

| | | | | | | |
|----|------|--------------------|--------|-------------------------|--------------|----|
| 1 | 池田龍雄 | 秩序 | 1955年 | インク、鉛筆・紙 | 37.7x28.4cm | ii |
| 2 | 池田龍雄 | 監視者（化物の系譜シリーズ） | 1956年 | インク、コンテ、水彩・紙 | 40.1x31.2cm | ii |
| 3 | 池田龍雄 | 神童（化物の系譜シリーズ） | 1956年 | インク、コンテ、水彩・紙 | 37.7x29.3cm | ii |
| 4 | 池田龍雄 | 貌（化物の系譜シリーズ） | 1956年 | インク、コンテ・紙 | 29.2x37.4cm | ii |
| 5 | 池田龍雄 | 禽獣記シリーズ その1 | 1957年 | インク、水彩・紙 | 36.3x26.4cm | ii |
| 6 | 池田龍雄 | 巨食（禽獣記シリーズ） | 1958年 | インク、コンテ、水彩・紙 | 40.8x30.5cm | ii |
| 7 | 池田龍雄 | 虫類図譜シリーズA | 1958年 | インク、水彩・紙 | 28.8x37.4cm | ii |
| 8 | 池田龍雄 | 虫類図譜シリーズB | 1959年 | インク、コンテ、水彩・紙 | 37.4x28.8cm | ii |
| 9 | 池田龍雄 | 虫類図譜シリーズE | 1959年 | インク、水彩・紙 | 37.3x29.0cm | ii |
| 10 | 井上忠明 | 円 | 1969年頃 | インク・紙 | 38.6x54.0cm | ii |
| 11 | 井上忠明 | 円 | 1969年頃 | インク・紙 | 27.0x38.0cm | ii |
| 12 | 井上忠明 | 円 | 1969年頃 | インク・紙 | 21.3x33.1cm | ii |
| 13 | 井上忠明 | 円 | 1969年頃 | インク・紙 | 21.4x24.0cm | ii |
| 14 | 近藤文雄 | ハラカラノウタ | 1960年 | インク・壁紙 | 92.0x166.0cm | ii |
| 15 | 近藤文雄 | はいさようならのコンポジション（2） | 1963年 | インク・ケント紙 | 36.0x53.0cm | ii |
| 16 | 近藤文雄 | さらしもの（1） | 1964年 | インク、墨、鉛筆、水彩・ケン ト紙 | 36.0x53.0cm | ii |
| 17 | 中村宏 | 風景 | 1969年 | インク・紙 | 36.3x27.0cm | ii |
| 18 | 中村宏 | 化物少女・表 | 1970年 | インク、墨・紙 | 38.1x26.8cm | ii |
| 19 | 中村宏 | 化物少女・裏 | 1970年 | インク、墨・紙 | 38.2x27.0cm | ii |
| 20 | 中村宏 | 少女舟 | 1970年 | インク、墨・紙 | 36.7x52.4cm | ii |
| 21 | 中村宏 | 少女舟 | 1977年 | シルクスクリーン・紙 ed. 17/20 | 36.6x52.6cm | ii |

名品コレクション展Ⅲ

会期:2010年1月9日(土)-3月28日(日)

会場:常設展示室 1・2

*: 寄託作品

作品展示期間 i: 1月9日(土)-2月14日(日) ii: 2月16日(火)-3月28日(日)

出品作品

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ | 展示期間 |
|-----------------------------|------------------|--|-------------|-----------------|---------------|------|
| コレクション解析学 | | | | | | |
| 1 | ベン・シャーン | 友達の写真屋 | 1945年 | テンペラ・板 | 50.8x76.2cm | i ii |
| エコール・ド・パリ: ポートレイトの視線 | | | | | | |
| 1 | 伊藤康 | A.E.氏の肖像 | 1929年 | 油彩・キャンヴァス | 100.8x81.0cm | i ii |
| 2 | 鬼頭鍋三郎 | エル・モニック | 1954年 | 油彩・キャンヴァス | 90.9x72.2cm | i ii |
| 3 | 藤田嗣治 | 自画像 | 1929年 | 油彩、鉛筆、金箔・キャンヴァス | 81.4x65.5cm | i ii |
| 4 | キスリング | ルネ・キスリング夫人の肖像 | 1920年 | 油彩・キャンヴァス | 73.7x54.6cm | i ii |
| 5 | マルク・シャガール | 二重肖像 | 1924年 | 油彩・キャンヴァス | 130.0x100.0cm | i ii |
| 6 | ハイム・スーチン | 農家の娘 | 1919年頃 | 油彩・キャンヴァス | 80.0x45.0cm | i ii |
| *7 | アンドレ・ドラン | 婦人像 | 制作年不詳 | 油彩・板 | 47.5x23.4cm | i ii |
| 8 | ジュール・パスキン | クララとジュヌヴィエーヴ | 1925年 | 油彩・キャンヴァス | 92.0x73.0cm | i ii |
| 9 | ジュール・パスキン | 母と娘 | 1922年 | ドライポイント・紙 | 13.7x11.9cm | i ii |
| 10 | ジュール・パスキン | 目ざめ | 1925年 | リトグラフ・紙 | 13.7x11.9cm | i ii |
| 11 | アメデオ・モディリアーニ | おさげ髪の少女 | 1918年頃 | 油彩・キャンヴァス | 60.1x45.4cm | i ii |
| 12 | ディエゴ・リベラ | アマリア・カスティリョ・レドンの肖像 | 1927年 | 鉛筆・紙 | 61.4x48.2cm | i ii |
| 13 | ディエゴ・リベラ | 自画像 | 1930年 | リトグラフ・紙 | 44.9x32.8cm | i ii |
| 14 | マリー・ローランサン | アポリネールの娘 | 1924年 | 油彩・キャンヴァス | 73.1x54.0cm | i ii |
| メキシコ・ルネサンス: 交錯する視線 | | | | | | |
| 1 | 北川民次 | トラルパム霊園のお祭り | 1930年 | 油彩・キャンヴァス | 99.5x89.8cm | i ii |
| 2 | 北川民次 | メキシコ水浴の図 | 1930年 | 油彩・キャンヴァス | 78.6x68.5cm | i ii |
| 3 | マリア・イスキエルド | 巡礼者たち | 1945年 | 油彩・キャンヴァス | 60.0x75.0cm | i ii |
| 4 | ホセ・クレメンテ・オロスコ | 地下鉄/労働者(失業者) | 1929年 | 油彩・キャンヴァス | 46.5x53.8cm | i ii |
| 5 | ホセ・クレメンテ・オロスコ | 白い神々 | 1947年頃 | 油彩・メゾナイト | 71.0x91.5cm | i ii |
| 6 | フリーダ・カーロ | 死の仮面を被った少女 | 1938年 | 油彩・ブリキ | 14.9x11.0cm | i ii |
| 7 | ダビッド・アルファロ・シケイロス | カウテモックの肖像 | 1947年 | ピロキシリン・メゾナイト | 75.5x62.0cm | i ii |
| 8 | ダビッド・アルファロ・シケイロス | 婦人像 | 1934年 | 油彩・メゾナイト | 152.7x78.7cm | i ii |
| 9 | ポール・ストランド | 《メキシカン・ポートフォリオ》より No.3 聖母、サンフェリペ、オアハカ | 1933(1967)年 | フォトグラヴール・紙 | 26.2x20.2cm | i |
| 10 | ポール・ストランド | No.5 サンタアナの男たち、ミチョアカン | 1933(1967)年 | フォトグラヴール・紙 | 16.0x12.4cm | i |
| 11 | ポール・ストランド | No.7 少年、ウルアバン | 1933(1967)年 | フォトグラヴール・紙 | 25.5x20.2cm | i |
| 12 | ポール・ストランド | No.8 キリスト、オアハカ | 1933(1967)年 | フォトグラヴール・紙 | 26.0x20.4cm | i |
| 13 | ポール・ストランド | No.11 鎌を持った男、ロス・レメディオス | 1933(1967)年 | フォトグラヴール・紙 | 16.0x12.3cm | i |
| 14 | ポール・ストランド | No.12 カルバリオ、パツァロ | 1933(1967)年 | フォトグラヴール・紙 | 25.2x19.8cm | ii |
| 15 | ポール・ストランド | No.13 キリスト、トラコチョアヤ、オアハカ | 1933(1967)年 | フォトグラヴール・紙 | 25.5x20.0cm | ii |
| 16 | ポール・ストランド | No.14 少年、イダルゴ | 1933(1967)年 | フォトグラヴール、紙 | 16.0x12.3cm | ii |
| 17 | ポール・ストランド | No.15 女と赤ん坊、イダルゴ | 1933(1967)年 | フォトグラヴール、紙 | 12.5x16.3cm | ii |
| 18 | ポール・ストランド | No.16 少女と子ども、トルカ | 1933(1967)年 | フォトグラヴール、紙 | 16.3x12.5cm | i |
| 19 | ポール・ストランド | No.17 いばらのキリスト、ウエクソトゥラ | 1933(1967)年 | フォトグラヴール、紙 | 25.7x20.1cm | ii |
| 20 | ポール・ストランド | No.18 男、テナンチンゴ | 1933(1967)年 | フォトグラヴール、紙 | 16.4x12.3cm | ii |
| 21 | ルフィーノ・タマヨ | 黒人の仮面(カーニバル) | 1939年 | テンペラ・リンネル | 44.8x60.4cm | i ii |
| 22 | ルフィーノ・タマヨ | 夜の踊り子たち | 1948年 | 油彩・キャンヴァス | 96.7x76.4cm | i ii |
| 23 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | 小便をする子供 | 1927年 | ブラチナパラジウムプリント、紙 | 25.0x20.0cm | i |
| 24 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | かぼちゃとかたつむり | 1928(1929)年 | ブラチナパラジウムプリント、紙 | 25.0x20.0cm | ii |
| 25 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | 夢想 | 1931年 | ゼラチンシルバープリント | 25.4x20.3cm | i |
| 26 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | 無口な洗濯女たち | 1932年 | ゼラチンシルバープリント | 25.4x20.3cm | ii |
| 27 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | 踊り子の娘 | 1933年 | ブラチナパラジウムプリント、紙 | 35.0x28.0cm | ii |
| 28 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | ストライキで殺された労働者 | 1934年 | ゼラチンシルバープリント | 15.4x20.3cm | ii |
| 29 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | 永遠の肖像 | 1935年 | ブラチナパラジウムプリント、紙 | 35.0x28.0cm | i |
| 30 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | 溶鉱士 | 1935年 | ブラチナパラジウムプリント、紙 | 25.4x20.3cm | i |
| 31 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | 眠れる美女 | 1938-39年 | ゼラチンシルバープリント | 20.3x25.4cm | i |
| 32 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | 死後の肖像 | 1939年 | ブラチナパラジウムプリント、紙 | 28.0x35.0cm | ii |

| | | | | | | |
|----|------------------|------------------------|-----------|------------------|---------------|------|
| 33 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | トゥルムのマヤの子供 | 1942年 | ブラチナパラジウムプリント、紙 | 28.0x35.0cm | i |
| 34 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | 聖アントニウスの誘惑 | 1970年 | ゼラチンシルバープリント | 25.4x20.3cm | ii |
| 35 | ティナ・モドッティ | アステカの赤子 | 1926-27年頃 | ゼラチンシルバープリント | 23.1x18.5cm | i |
| 36 | ティナ・モドッティ | ブルケリアー犬、マリオネット、ステージセット | 1929年 | ゼラチンシルバープリント | 18.7x20.2cm | ii |
| 37 | ディエゴ・リベラ | プロレタリアの団結 | 1933年 | プレスコ・石膏、ワイヤラス、合板 | 161.9x201.3cm | i ii |

現代の美術：まなざしの温度

| | | | | | | |
|----|-------------|-------------------------|-------|-------------------|---------------------|------|
| 1 | 大島哲以 | 終電車 | 1967年 | 紙本着彩、銀箔 | 187.0x230.0cm | i ii |
| 2 | 河原温 | カム・オン・マイ・ハウス | 1955年 | 油彩・キャンヴァス | 125.0x181.0cm | i ii |
| 3 | 河原温 | 私生児の誕生 | 1955年 | 油彩・キャンヴァス | 132.0x194.0cm | i ii |
| 4 | 北脇昇 | 春に合掌す | 1942年 | 油彩・キャンヴァス | 72.5x91.0cm | i ii |
| 5 | 嶋谷自然 | 湖心 | 1978年 | 紙本着彩 | 227.3x163.9cm | i ii |
| 6 | 中村宏 | ブーツと汽車 | 1966年 | 油彩・キャンヴァス | 130.5x162.0cm | i ii |
| 7 | 中村宏 | 乗物畫絵・表紙 | 1970年 | インク・紙 | 38.4x26.4cm | i ii |
| 8 | 中村宏 | 乗物畫絵・キャタピラ | 1970年 | インク・墨・紙 | 38.3x27.0cm | i ii |
| 9 | 中村宏 | 乗物畫絵・飛行機 | 1970年 | インク・墨・紙 | 38.2x26.6cm | i ii |
| 10 | 中村宏 | 乗物畫絵・舟 | 1970年 | インク・墨・紙 | 38.4x26.8cm | i ii |
| 11 | 中村宏 | 乗物畫絵・モノレール | 1970年 | インク・紙 | 38.4x26.7cm | i ii |
| 12 | 藤本由紀夫 | REAL (3D) | 2002年 | レンチキュラーシート、紙、木製額縁 | 76.0x58.0x3.0cm | i ii |
| 13 | 舟越桂 | 「かたい布はときどき話す」のためのドローイング | 1988年 | 木炭、鉛筆・紙 | 97.0x86.3cm | i ii |
| 14 | 福田美蘭 | 陶器（スルバランによる） | 1992年 | カラー写真 | 46.2x85.7x3.3cm | i ii |
| 15 | 福田美蘭 | 陶器（スルバランによる） | 1992年 | カラー写真、レンチキュラーレンズ | 47.9x86.0x3.5cm | i ii |
| 16 | 三木富雄 | 耳 | 1972年 | アルミニウム | 78.0x44.5x17.5cm | i ii |
| 17 | アンゼルム・キーファー | シベリアの王女 | 1988年 | ミクストメディア | 280.0x501.0x6.5cm | i ii |
| 18 | ラインハルト・サビエ | 赤い星の夜 | 1996年 | クレヨン、グワッシュ・紙 | 104.3x96.0cm | i ii |
| 19 | ラインハルト・サビエ | 狂気に追いつめられて | 1996年 | クレヨン、グワッシュ・紙 | 119.5x95.5cm | i ii |
| 20 | ラインハルト・サビエ | 少年兵 I | 2003年 | デジタルプリント・紙 | 65.0x59.0cm | i ii |
| 21 | ラインハルト・サビエ | 収容所で | 2003年 | デジタルプリント・紙 | 62.8x55.7cm | i ii |
| 22 | フランク・ステラ | 説教 | 1990年 | アルミニウム、ミクストメディア | 345.5x365.8x139.7cm | i ii |

郷土の美術（前期）：風景への視線

| | | | | | | |
|----|-------|-------|-------------------|------------------|--------------|---|
| 1 | 石川英風 | 田園風景 | 制作年不詳 | 絹本墨画淡彩 | 57.0x127.0cm | i |
| 2 | 大橋松太郎 | 川原の春 | 1917年 | ゴム印画 | 13.5x10.5cm | i |
| 3 | 大橋松太郎 | 題不詳 | 制作年不詳 | ゴム印画 | 29.8x39.8cm | i |
| 4 | 大橋松太郎 | 秋の田舎 | 1929年 | ゴム印画 | 21.7x28.5cm | i |
| 5 | 大橋松太郎 | 雨の棧橋 | 制作年不詳 | ゴム印画 | 28.1x21.8cm | i |
| 6 | 佐分真 | 風景 | 1912年頃 | 水彩・紙 | 18.6x11.0cm | i |
| 7 | 野崎華年 | 木曾三留野 | 制作年不詳 (1910年代) | 水彩・紙 | 50.5x64.5cm | i |
| 8 | 野崎華年 | 洛北紅葉 | 制作年不詳 (1910年代) | 水彩・紙 | 47.5x62.0cm | i |
| 9 | 日高長太郎 | 冬の日 | 1913年 | カーボン印画 | 23.1x27.3cm | i |
| 10 | 日高長太郎 | 寒心空 | 1915年 | ゴム印画 | 20.5x28.7cm | i |
| 11 | 日高長太郎 | あらしの前 | 1916年 | ゴム印画 | 20.8x26.7cm | i |
| 12 | 日高長太郎 | 木曾路の春 | 1920年 | ゴム印画 | 30.4x40.8cm | i |
| 13 | 日高長太郎 | 白樺 | 1925年 | ゴム印画 | 27.6x38.5cm | i |
| 14 | 日高長太郎 | 晴れたる日 | 制作年不詳 | ブロマイド | 29.6x44.5cm | i |
| 15 | 日高長太郎 | たそがれ | 制作年不詳 | ゴム印画 | 17.5x29.1cm | i |
| 16 | 日高長太郎 | 題不詳 | 制作年不詳 | ゴム印画 | 23.1x29.3cm | i |
| 17 | 日高長太郎 | 逝く冬 | 1914年 | 鶏卵紙（コンタクトプリント） | 11.6x15.8cm | i |
| 18 | 日高長太郎 | あらしの前 | 1916年 | ブロマイド(コンタクトプリント) | 10.5x14.3cm | i |
| 19 | 日高長太郎 | 木曾路の春 | 1920年 | 鶏卵紙(コンタクトプリント) | 10.7x15.3cm | i |
| 20 | 日高長太郎 | 白樺 | 1925年 | 鶏卵紙(コンタクトプリント) | 11.1x15.5cm | i |
| 21 | 日高長太郎 | 晩秋 | 制作年不詳 | ブロマイド(コンタクトプリント) | 10.0x14.7cm | i |
| 22 | 日高長太郎 | 寂寥 | 制作年不詳 | 鶏卵紙(コンタクトプリント) | 9.0x13.8cm | i |
| 23 | 日高長太郎 | 冬の郊外 | 制作年不詳 | 鶏卵紙(コンタクトプリント) | 10.4x14.1cm | i |
| 24 | 日高長太郎 | 題不詳 | 制作年不詳 | 鶏卵紙(コンタクトプリント) | 10.3x14.3cm | i |
| 25 | 益子愛太郎 | 題不詳 | 制作年不詳 | ゴム印画 | 28.1x20.6cm | i |
| 26 | 益子愛太郎 | 冬の晨 | 1920年 | ゴム印画 | 24.3x39.8cm | i |
| 27 | 山本鼎 | 千曲川 | 1903年 | 鉛筆、水彩・紙 | 18.5x10.7cm | i |
| 28 | 山本鼎 | 田舎家 | 1907年 | 水彩・紙 | 24.0x33.0cm | i |
| 29 | 横山葩生 | 高原の秋 | 1923年 | 紙本着彩 | 64.5x84.0cm | i |

郷土の美術(後期): 風景への視線

| | | | | | | |
|----|-------|---------------------------------|--------|--------------|-------------|----|
| 1 | 大澤鉦一郎 | 城のある風景 | 1920年 | 油彩・キャンバス | 60.9x45.7cm | ii |
| 2 | 榊原青葉 | 電車道 | 1922年 | コロタイプ印刷 | 18.7x14.8cm | ii |
| 3 | 高尾義朗 | 田端印象 | 1928年 | ゼラチンシルバープリント | 16.9x22.3cm | ii |
| 4 | 高田皆義 | 風景 | 1925年 | コロタイプ印刷 | 14.9x18.2cm | ii |
| 5 | 高田皆義 | 風景 | 1923年 | ブロマイド | 20.5x28.7cm | ii |
| 6 | 高田皆義 | 郊外の夕暮れ時 | 1923年 | ブロマイド | 10.6x12.6cm | ii |
| 7 | 高田皆義 | TOZINBOにて-A Melodious Landscape | 1922年 | ブロマイド | 15.4x11.1cm | ii |
| 8 | 高田皆義 | 煙突と建物と空間の構成 | 1924年 | ブロマイド | 14.9x11.1cm | ii |
| 9 | 高田皆義 | 木曾路 | 1924年 | ブロマイド | 15.3x10.5cm | ii |
| 10 | 高田皆義 | 春の風景 | 1924年 | コロタイプ印刷 | 13.8x19.9cm | ii |
| 11 | 高田皆義 | 習作 | 1923年 | ブロマイド | 15.1x10.7cm | ii |
| 12 | 伊達良雄 | 友のゐる銚子風景 | 1926年 | ゼラチンシルバープリント | 27.6x23.9cm | ii |
| 13 | 津坂淳 | 淡き陽を | 1923年 | ブロマイド | 23.1x29.3cm | ii |
| 14 | 津坂淳 | ブリッジ | 1926年 | コロタイプ印刷 | 11.6x15.8cm | ii |
| 15 | 津坂淳 | 自動車 | 1926年 | コロタイプ印刷 | 10.5x14.3cm | ii |
| 16 | 津坂淳 | 風景 | 1928年 | コロタイプ印刷 | 12.3x9.8cm | ii |
| 17 | 日高長太郎 | 木蔭 | 1921年 | ゴム印画 | 30.8x41.3cm | ii |
| 18 | 日高長太郎 | 盛夏の頃 | 1921年 | ゴム印画 | 30.5x41.2cm | ii |
| 19 | 藤井外喜雄 | 題不詳(木の間風景) | 制作年不詳 | 鉛筆・紙 | 58.5x76.5cm | ii |
| 20 | 淵上白陽 | くれあき | 1923年 | ブロマイド | 15.4x11.3cm | ii |
| 21 | 益子愛太郎 | 春の光 | 1920年 | コロタイプ印刷 | 14.6x19.4cm | ii |
| 22 | 松浦幸陽 | 若葉の光 | 1922年 | コロタイプ印刷 | 13.1x15.1cm | ii |
| 23 | 三國庄次郎 | 円い柱の習作 | 1923年 | コロタイプ印刷 | 14.5x17.9cm | ii |
| 24 | 水野正一 | 題不詳(郊外風景) | 1922年 | 油彩・キャンバス | 72.5x90.8cm | ii |
| 25 | 山田睦三郎 | 題不詳(一本の木) | 1919年頃 | 油彩・キャンバス | 53.0x41.0cm | ii |
| 26 | 横山葩生 | 太子堂 | 制作年不詳 | 絹本着彩 | 54.5x42.5cm | ii |

コレクションの中の「だまし絵」?! Visual Deception in the Collection

会期:2009年4月11日(土)-6月14日(日)

会場:常設展示室3

内容

特別展「視覚の魔術—だまし絵」の開催に併せて、名古屋市美術館のコレクションのなかから日本の美術家たちによる多様多彩な「だまし絵」(にも見えるものも含めて)を探し出して紹介した。

「だまし絵」というと、いわゆる「トロンプ・ルイユ (Trompe-l'œil)」と呼ばれる鑑賞者の視覚を欺くことを狙いとした特殊な絵画(現代美術の分野では「オブ・アート」など)を思い浮かべるが、あらためて考えてみると、一般的な絵画が、現実の世界の光景を画像として再現する(すなわち三次元の空間を二次元の平面に置き換える)ものであるとするならば、すべての絵画には多かれ少なかれ「だまし絵」的な要素が含まれていることになる。

例えば、まるで本人がいるように額に刻まれた皺までそっくりに描かれた人物画、そこに実物が置いてあるように描かれた林檎の静物画、向こうの橋まで運河沿いに続く街並を描いた風景画、イーゼルに掛かった透明ビニールや画鋸、肖像写真などを細密描写で描いた作品などは、私たちの視覚を心地よく「だまし」てくれる。また、こうした絵画の基本的な表現方法(遠近法など)を意識的に逆手に取って、画面の形態を変化させたり、三次元的なものを付加したりした作品もある。

このような「空間」に関する「だまし絵」的な要素とは別に、絵画が静止した画像であるという性質から考えると、もうひとつの要素として、「運動」に関する「だまし絵」が考えられる。簡単に言えば、「動いているものを動いているように見えるように描く」ということである。例えば、疾走する機関車や飛行機といった近代社会ならではのモチーフを使って、視覚的な残像として現れる空気の動きを克明に描き、また車窓の風景の歪みなどを論理的に描くことで、スピード感に溢れた「運動」を感じさせる作品がある。

また、視覚的な「遊戯」とも言える「だまし絵」的な要素として、有名なアルチンボルドの肖像画やダリの二重像(ダブル・イメージ)があるが、日本の文化においては、伝統的に「見立て」によって、現実の世界を観念的に変貌させる手法がある。例えば、枯山水の庭園では、白砂を海に、巨石を島に「見立て」、茶道では、市街の茶室を仙境の草庵に、瓢箪の水筒を花入れに「見立て」、落語では、扇子を煙管や箸に「見立て」るのである。このように「ものを本来のあるべき姿ではなく、別のものとして見る」発想から、日本のシュルレアリスムの絵画や写真においては、現実の日常生活のなかの光景を「超現実」の世界へと変貌させているのである。

出品作品

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ |
|-----|-------|---------------------|------------|----------------|---------------|
| 1 | 大沢鉦一郎 | 老人 | 1917年 | 油彩・キャンヴァス | 40.9x31.8cm |
| 2 | 喜多村麦子 | 暮れ行く堀川 | 1928年 | 絹本着彩 | 112.8x146.3cm |
| 3 | 喜多村麦子 | 暮れ行く堀川 | 1929年 | 絹本着彩 | 115.0x149.2cm |
| 4 | 北脇 昇 | 浄火習作 | 1938年 | 油彩・板 | 31.9x41.0cm |
| 5 | 北脇 昇 | 鳥獣曼荼羅 | 1938年 | 油彩・キャンヴァス | 45.5x33.4cm |
| 6 | 桑山忠祐 | #D141 | 1973年 | アクリル・キャンヴァス | 150.0x150.0cm |
| 7 | 後藤敬一郎 | ある極 | 1939年頃 | ゼラチンシルバープリント・紙 | 53.5x22.5cm |
| 8 | 後藤敬一郎 | 最後の審判図 | 1935-40年頃 | ゼラチンシルバープリント・紙 | 55.5x45.2cm |
| 9 | 田島二男 | 金属の造型 | 1930年 | ゼラチンシルバープリント・紙 | 28.4x25.3cm |
| 10 | 田島二男 | 四つの眼 | | ゼラチンシルバープリント・紙 | 40.3x30.9cm |
| 11 | 中村 宏 | 短縮車輪 | 1972年 | 油彩・キャンヴァス | 112.0x163.0cm |
| 12 | 中村 宏 | 車窓篇TYPE10-A (レオナルド) | 1981年 | 油彩・キャンヴァス | 91.0x117.0cm |
| 13 | 中村 宏 | 車窓篇TYPE10-B (セザンヌ) | 1981年 | 油彩・キャンヴァス | 91.0x117.0cm |
| 14 | 中村 宏 | 車窓篇TYPE10-C (デュシャン) | 1981年 | 油彩・キャンヴァス | 91.0x117.0cm |
| 15 | 中村 宏 | タプロオ機械II-A | 1992-2006年 | アクリル・木、キャンヴァス | 112.0x162.0cm |
| 16 | 星野真吾 | 甦る残像 | 1979年 | 紙本着彩 | 130.3x162.0cm |
| 17 | 三尾公三 | 男と女のスペース | 1974年 | アクリル・板 (3パネル) | 180.0x500.0cm |
| 18 | 宮脇 晴 | 卓上の林檎 | 1919年 | 油彩・板 | 180.0x500.0cm |

コレクションの中の子どもたち

Children in the Collection

会期:2009年6月16日(火)-8月16日(日)

会場:常設展示室3



会場風景

内容

「夏休み こどもの美術館」の開催に併せて、名古屋市美術館のコレクションのなかに登場する子どもたちの多様多彩な姿を、作品の制作年代順に紹介した。

最初の作品は、大正期の名古屋で活動した愛美社の画家たちが描いた少年と少女の初々しい肖像画である。少年は宮脇晴の《夜の自画像》であるが、麦わら帽子を被って、こちらを見つめる姿には、真剣に自己と向き合う純粋さが感じられる。水野正一が描いた《少女》は、幼さを残しながらも大人への階段を昇りつつある頃の生き生きと輝く瞳が印象的である。また、二科会で活躍した横井礼以は、小さな右手でしっかりと《蜜柑を持つK坊》が白い前掛をして赤い座布団に座る可愛らしい姿を慈しむように描いている。

同じ頃(1920年代)の芸術の都パリでは、パスキンが歓楽街に生きる二人の少女《クララとジュヌヴィエーヴ》を淡い色彩のなかに夢幻的に描き、海老原喜之助は傘を差した若い母親に手を引かれて歩く子どもがいる異国の港町の懐かしい《風景》を描いている。

一方、1920~30年代のメキシコでは、女性写真家モドッティが《アステカの赤子》を抱く幼い母親を優しく見守り、アメリカ出身の写真家ストランドもインディオの《少年》の姿を見つめている。また、画家タマヨは《黒人の仮面》を被って熱狂的に踊り騒ぐ男たちの異様な姿に驚く少年を描き、写真家ブラボーは《タバコ》の葉を乾燥させる仕事場で働く少女を静かに撮らえている。再び日本に戻って、1930~40年代になると、北川民次の《作文を書く少女》、安藤幹衛の《防空演習》、山田睦三郎《生花の時間》に描かれているように、戦争の暗い影が子どもたちの生活にも次第に落ちている。そして、戦後(1940~50年代)を迎えると、北川民次は空襲で破壊された《焼け跡》で嘆き悲しむ母親を慰め

る逞しい少女を描き、中谷泰は街路に落ちている煙草のシケ《モク》を拾って吸う戦争孤児の少年たちを見つめ、河原温は米軍基地の兵士たちを《カム・オン・マイ・ハウス》と歌い誘って、その結果として《私生児の誕生》につながる日本女性の悲劇を鋭く歪んだ画面空間のなかにリアルに表現している。その一方で、美しい扇子を持って座る娘を描いた加賀孝一郎の《扇を持てる肖像》や赤とんぼを追いかける少年たちを描いた山田光春の《夕やけ》は、子どもたちの世界にも平和な生活に戻ったことを感じさせてくれる。

1960年代においては、メキシコの壁画家シケイロスの《母と子》には、大切な子ども(未来)を守り育てるために、革命の戦火を逃げる母親(現在)の姿が描かれ、メキシコ壁画に学んだ北川民次の代表作《哺育》にも同じ精神が現されている。

それに対して、1980年代以降は、子どもたちだけを描いた作品が登場する。八島正明は、灼熱の陽光に照らされた長い道程を、幼い妹の手を引いて帰る少年の不安な《夏の日》の思い出を描いている。また、つり眼の子どもを描いて、現代日本の閉塞感を漂わせる奈良美智の《NO REASON WHY》や放心状態の子どもを描いて、現在も絶え間なく続く戦争や事故による悲劇を静かに告発するノルウェーの画家サビエの《赤い星の夜》がある。

このように20世紀という時代を生きた子どもたちの現実の姿が、それぞれの作家の生涯とともに、その作品のなかに現れているのである。

出品作品

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ |
|-----|------------------|---------------|-------------|----------------|---------------|
| 1 | マヌエル・アルバレス・ブラボー | タバコ | 1940年 | ゼラチンシルバープリント・紙 | 25.0x20.0cm |
| 2 | ティナ・モドッティ | アステカの赤子 | 1926~27年頃 | ゼラチンシルバープリント・紙 | 23.1x18.5cm |
| 3 | ジュール・パスキン | クララとジュヌヴィエーヴ | 1925年 | 油彩・キャンヴァス | 92.0x73.0cm |
| 4 | ダビッド・アルファロ・シケイロス | 母と子 | 1962年 | デュコ・メゾナイト | 80.2x61.2cm |
| 5 | ラインハルト・サビエ | 赤い星の夜 | 1996年 | クレヨン、グワッシュ・紙 | 104.3x96.0cm |
| 6 | ポール・ストランド | 少年、ウルアバン | 1933(1967)年 | ゼラチンシルバープリント・紙 | 23.5x20.2cm |
| 7 | ルフィーノ・タマヨ | 黒人の仮面(カーニバル) | 1939年 | テンペラ・リンネル | 44.8x60.4cm |
| 8 | 安藤幹衛 | 防空演習 | 1943年 | 油彩・キャンヴァス | 145.6x110.0cm |
| 9 | 海老原喜之助 | 風景 | 1927年 | 油彩・キャンヴァス | 81.4x100.3cm |
| 10 | 加賀孝一郎 | 扇を持てる肖像 | 1947年 | 油彩・キャンヴァス | 41.0x31.8cm |
| 11 | 河原 温 | カム・オン・マイ・ハウス | 1955年 | 油彩・キャンヴァス | 125.0x181.0cm |
| 12 | 河原 温 | 私生児の誕生 | 1955年 | 油彩・キャンヴァス | 132.0x194.0cm |
| 13 | 北川民次 | 作文を書く少女 | 1939年 | 油彩・キャンヴァス | 73.4x60.7cm |
| 14 | 北川民次 | 焼け跡 | 1945年 | 油彩・キャンヴァス | 65.5x80.6cm |
| 15 | 北川民次 | 哺育 | 1964年 | 油彩・キャンヴァス | 130.3x162.0cm |
| 16 | 中谷 泰 | モク | 1952年 | 油彩・キャンヴァス | 50.3x60.8cm |
| 17 | 奈良美智 | NO REASON WHY | 1995年 | アクリル、ジェッツ・綿布 | 65.0x70.0cm |
| 18 | 水野正一 | 少女 | 1921年 | 油彩・キャンヴァス | 73.0x53.0cm |
| 19 | 宮脇 晴 | 夜の自画像 | 1919年 | 油彩・キャンヴァス | 61.0x45.7cm |
| 20 | 八島正明 | 夏の日 | 1985年 | 油彩・キャンヴァス | 112.1x162.1cm |
| 21 | 山田光春 | 夕やけ | 1950年 | 油彩・キャンヴァス | 116.8x80.4cm |
| 22 | 山田睦三郎 | 生花の時間 | 1943年 | 油彩・キャンヴァス | 100.0x80.3cm |
| 23 | 横井礼以 | 蜜柑を持つK坊 | 1922年 | 油彩・キャンヴァス | 51.3x51.6cm |

生誕 100 年記念 堀尾 実

Horio Minoru: the centennial anniversary

会期: 2010 年 1 月 9 日(土) - 3 月 28 日(日)

会場: 常設展示室 3

内容

堀尾実は、1910 年に名古屋に生まれ、幼い頃から画家を志して、森村宜稲の画塾や京都市立絵画専門学校で日本画を学ぶとともに、雑誌『白樺』などを通して、ヨーロッパ近代美術への関心を深め、次第に抽象絵画やシュルレアリスムなどの前衛美術に影響を受けて、伝統的な日本画の花鳥風月の世界から離れ、新しい日本画の創造を目指した画家である。

戦後間もなくの 1948 年の第 1 回創造美術協会展には、日本画による抽象画を出品して話題となり、1950 年には美術文化協会に会員として迎えられ、新たに日本画部を立ち上げて意欲作を次々と発表して活躍した。しかし、1954 年には美術文化協会を内紛によって退会、翌 1955 年に竹田大助、水谷勇夫らとともに、前衛絵画グループ・匹亜会(ひつあかい)を結成した。「新世代」の絵画の創造を掲げて、旺盛な研究・創作活動を展開するとともに、1960 年頃まで東京や名古屋で活発にグループ展を開催した。1960 年代に入ると、匹亜会の活動が停滞するなかで、独自の絵画理論・技法の探究を進めて、独創的なフォト・コラージュや墨流しなどの実験的な作品を制作して、1973 年の薔薇連作による個展を最後に死去した。

今回の常設企画展では、伝統的な日本画から出発しながら、ヨーロッパの前衛美術(抽象絵画やシュルレアリスムなど)の理論と表現を移入するとともに、戦後日本の激動する社会の現実を踏まえて、集団(グループ)による研究・創作活動によって、新しい絵画の創造に取り組んだ前衛画家・堀尾実の生誕 100 年を記念して、約 70 点の作品(日本画、フォト・コラージュなど)を展示して、その芸術の軌跡を紹介した。

関連事業

解説会

日時: 2010 年 2 月 7 日(日) 14:00-

講師: 山田 諭(学芸係長)

会場: 講堂

出品作品

No.14(愛知県美術館所蔵)以外は、すべて個人蔵

| No. | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ | 出品歴 |
|-----|------|-------|----------------|------------------|---|
| 1 | 作品B | 1948年 | 紙本着彩 | 70. 5x56. 0cm | 第1回創造美術展 |
| 2 | 作品B | 1948年 | 紙本着彩 | 72. 8x60. 4cm | 絵画五人展/第2回モダンアート展 |
| 3 | 作品A | 1949年 | 日本顔料・合板 | 72. 7x90. 7cm | 絵画五人展/第2回モダンアート展 |
| 4 | 作品A | 1949年 | 紙本着彩 | 116. 2x90. 4cm | 第2回創造美術展 |
| 5 | フィロ | 1950年 | 紙本着彩、銀箔 | 90. 8x116. 5cm | 第4回中部日本美術展/個展「堀尾実1950~59」 |
| 6 | 無題A | 1951年 | 紙本着彩 | 90. 7x65. 2cm | 第11回美術文化協会展/個展「堀尾実1950~59」 |
| 7 | 無題C | 1951年 | 日本顔料・キャンバス | 72. 7x60. 7cm | 第11回美術文化協会展/個展「堀尾実1950~59」 |
| 8 | 甲羅族 | 1951年 | 紙本着彩 | 45. 2x52. 7cm | 美術文化中部グループ展/第5回中部日本美術展/個展「堀尾実1950~59」 |
| 9 | 金乃鎖 | 1952年 | 紙本着彩、金銀箔、キャンバス | 116. 0x90. 0cm | 第12回美術文化協会展 |
| 10 | 有心無心 | 1952年 | 日本顔料、銀泥・キャンバス | 73. 3x90. 8cm | 第12回美術文化協会展/個展「堀尾実1950~59」 |
| 11 | 塵々三昧 | 1952年 | 日本顔料・キャンバス | 72. 5x116. 3cm | 第12回美術文化協会展/個展「堀尾実1950~59」 |
| 12 | 無題 | 1952年 | 紙本着彩、キャンバス | 33. 3x45. 7cm | 第12回美術文化協会展/堀尾実作品展(1955年) |
| 13 | 無題 | 1952年 | 紙本着彩、キャンバス | 52. 7x64. 5cm | 第6回中部日本美術展 |
| 14 | 夙 | 1953年 | 紙本着彩、屏風(六曲一双) | 各172. 0x367. 0cm | 第13回美術文化協会展/個展「堀尾実1950~59」 |
| 15 | 魚 | 1954年 | 紙本着彩、屏風(四曲一隻) | 168. 0x241. 2cm | 第14回美術文化協会展/個展「堀尾実1950~59」 |
| 16 | 涯 | 1954年 | 紙本着彩 | 50. 0x107. 5cm | 堀尾実作品展(1954年) |
| 17 | 星 | 1954年 | 日本顔料・キャンバス | 53. 1x45. 8cm | 堀尾実作品展(1954年)/個展「堀尾実1950~59」 |
| 18 | 冬の構図 | 1955年 | 紙本着彩 | 136. 0x182. 0cm | 第8回中部日本美術展/第7回読売アンデパンダン展/個展「堀尾実1950~59」 |
| 19 | 企望 | 1956年 | 日本顔料・キャンバス | 90. 7x90. 7cm | 第1回匹亜会展/匹亜会名古屋展 |
| 20 | 風 | 1956年 | 日本顔料・キャンバス | 87. 8x45. 6cm | 第1回匹亜会展/匹亜会名古屋展/個展「堀尾実1950~59」 |



会場風景



A4チラシ

| | | | | | |
|----|----------------------|-----------|----------------------|--------------|-------------------------------------|
| 21 | 蝕日(1) | 1956年 | 日本顔料・キャンバス | 82.0x60.3cm | 第1回匹亞会展／匹亞会名古屋展／個展「堀尾実1950～59」 |
| 22 | 塵 | 1956年 | 紙本着彩、板 | 80.0x53.0cm | 第2回匹亞会展／匹亞会名古屋展／個展「堀尾実1950～59」 |
| 23 | 水 | 1956年 | 油彩・板、鉄フレーム | 26.0x34.4cm | |
| 24 | 四大(2) | 1956年 | 油彩・板、鉄フレーム | 32.6x36.2cm | #個展「堀尾実1950～59」 |
| 25 | はかり・人 | 1958年 | 油彩・キャンバス | 59.5x41.7cm | 第4回匹亞会展／個展「堀尾実1950～59」 |
| 26 | 斧 | 1958年 | 日本顔料・キャンバス | 71.8x114.5cm | 第4回匹亞会展 |
| 27 | 道化・眠り | 1958年 | 紙本着彩 | 116.5x90.5cm | 堀尾実個展(1958年) |
| 28 | 標識2 | 1958年 | 油彩・紙、キャンバス | 72.8x53.0cm | 個展「堀尾実1950～59」 |
| 29 | 作品[5] | 1959年 | 油彩・キャンバス | 90.8x116.5cm | 匹亞会名古屋展／堀尾実個展(1959年)／個展「堀尾実1950～59」 |
| 30 | 鳴門 | 1960年 | 紙本着彩、銀箔、屏風(二曲一 双) | 各169.5x178cm | 個展「堀尾実1950～59」 |
| 31 | [水墨画](2点) | 1966年頃 | 墨・紙 | 各46.5x35.3cm | |
| 32 | [墨流し1](12点) | 1966-68年頃 | 墨・紙 | 各31.8x26.1cm | |
| 33 | [墨流し2](6点) | 1966-68年頃 | 墨・紙 | 各38.4x27.1cm | |
| 34 | [フォト・カラー ジュ](18点) | 1967-72年頃 | 印刷物・紙 | 各38.2x27.1cm | |
| 35 | 薔薇 | 1973年 | 油彩・キャンバス | 41.2x32.2cm | 薔薇連作展 |
| 36 | 薔薇 | 1973年 | 油彩・キャンバス | 41.2x32.2cm | 薔薇連作展 |
| 37 | 薔薇 | 1973年 | 油彩・キャンバス | 41.2x32.2cm | 薔薇連作展 |
| 38 | 薔薇 | 1973年 | 油彩・キャンバス | 41.2x32.2cm | 薔薇連作展 |
| 39 | 薔薇 | 1973年 | 油彩・キャンバス | 22.7x15.8cm | 薔薇連作展 |

平成 21 年度は 5 本の特別展を開催いたしました。まず 4 月から 6 月にかけては視覚のイリュージョンの働きを巧みに利用した古今東西の作品を集めた「だまし絵展」を開催しました。三次元の空間を二次元の平面の中に、いかにもそれらしく再現しようとする絵画は、本質的に人間の視覚を欺くような性格をその内部に備えていると言えますが、この展覧会では 16 世紀から現代に至るまでの様々な視覚のイリュージョンを駆使した作品を集めてご覧いただきました。「だまし絵」という展覧会名が興味を引いたのか、あるいは広報のメイン・ヴィジュアルとして使用したアルチンボルドの作品のインパクトの強さか、この展覧会は予想を遙かに上回る大勢の観客の方々をお迎えすることができました。とりわけ小中学生と家族連れの様子が会場内で目立ち、作品の中に隠された視覚のトリックをめぐって楽しげに談笑する様子がとても印象的でした。通常の美術展とはやや異なる、「楽しさ」や「驚き」をキーワードにしたこの展覧会は、美術館における今後の展覧会の可能性についても考えさせてくれました。

続いて 8 月から 10 月にかけては、平成 22 年度に開催される「愛知トリエンナーレ」のプレ企画として「放課後のほらっぱ―櫃田伸也とその教え子たち展」を開催しました。これは長年愛知芸術大学で教鞭を執った櫃田伸也の芸術と、彼の指導のもとに世界に羽ばたいていった若手の芸術家たちの作品をあわせて紹介するという内容の展覧会でした。愛知県美術館と名古屋市美術館の共同企画として、当館では常設展示室の一部を使用して開催されましたが、師弟関係に焦点を当てたユニークな企画性と、濃密な人間関係の中から生まれた親和力に富んだ出品作は、通常の現代美術展とは異なる家族的な雰囲気を会場にもたらしめました。

同じく 8 月下旬から 10 月中旬にかけて、企画展示室では「躍動する魂のきらめき―日本の表現主義展」を開催しました。この展覧会は、表現主義の運動を西洋の美術概念の単純な受容や模倣としてではなく、日本固有の表現の発露として捉え直そうと企画されました。会場では絵画だけでなく、素描、版画、彫刻、さらには建築、デザイン、映画など明治末から昭和初期にかけての幅広い芸術活動の成果が紹介されましたが、日本における表現主義が総体としてどのようなものであったのか、当時の時代状況や感性のあり方を生々しく伝えるような展示となりました。日本における表現主義の問題に正面から取り組んだ初めての試みとして、展覧会そのものも、また同時に刊行された

カタログも高い評価をいただきました。

続いて 10 月下旬から 12 月下旬にかけては、「絵画と写真の交差―印象派誕生の軌跡」を開催しました。印象派の誕生に写真が大きな影響を及ぼしたことはよく知られていますが、この展覧会では印象派のみならず、写真という新しいメディアが人間の視覚にどのような影響を及ぼしたかを具体的な作品によって検証しました。会場には、草創期の写真器材や写真原版などの貴重な作例が多数展示され、写真展としても大変に見応えのある内容になりました。

最後に 2 月から 3 月にかけて「コレクションを極める」展を開催しました。この展覧会は名古屋市美術館のコレクションの中から 90 点の作品を選びすぎり、「人物」「風景」「静物」という三つのコンセプトに分けて展示を行いました。出品作品の大半は普段常設展示室で展示されているものですが、展示方法を変えることにより新たな魅力の発見に努めました。また、全ての作品に鑑賞の手引きとなるような短い解説を施しましたが、単なる情報ではない一歩踏み込んだ解釈を提示することにより、作品と鑑賞者との距離をより縮めることを狙いました。

視覚の魔術 だまし絵

Visual Deception

会期:2009年4月11日(土)-6月7日(日)

会場:企画展示室 1・2

主催

名古屋市美術館、中日新聞社、東海テレビ放送

後援

愛知県・岐阜県・三重県各教育委員会、名古屋市交通局

協賛

INAX、損害保険ジャパン、日本写真印刷

協力

日本航空、近畿日本鉄道

観覧料

一般 1,300 円、高大生 900 円、小中生 500 円

内容

この展覧会は、和洋の美術の歴史の中から、私たちの目を欺く「だまし絵」の系譜を紹介したものである。芸術家たちは、絵の中の世界がまるで本当のことに見えるよう、遠近法や細密描法を駆使して、究極のリアリティと絵画の限界に挑戦してきた。時には、わざと絵が剥がれかかっているように見せたり、画面から幽霊が抜け出しているように見せたりする、作り事と現実の境界を跳び越えるような試みさえあり、見るものを楽しませている。また、表向きの見た目とは別に、予想外の姿を隠し持っているトリッキーな絵画もつくられた。遠くから眺めると人の顔だが、近くで観察すると、その正体が無数の人間や植物の寄り集まった姿だとわかるような「二重像」、円筒の鏡に映してはじめて、真のイメージが判明する「歪んだ像」などである。

本展覧会には124点の作品が出品され、「だまし絵の帝王」ハイスプレヒツ、「フェルメールの師」ホーホストラーテン、「20世紀の巨匠」マグリット、ダリ、エッシャー、「江戸の狂画師」歌川国芳といった、「だまし絵」を語る上で外すことのできない芸術家たちの代表的な作品が一堂に会した。なかでも、「奇想の宮廷画家」アルチンボルドによる《ウェルトウムヌス(ルドルフ2世)》の出品は、日本初公開となる貴重な機会であった。19世紀のアメリカで流行した「だまし絵」の系譜である「アメリカン・トロンプレイユ」、また日本の掛軸にみられる「だまし絵」的な仕掛けである「描表装」の特集については、まとまった展示の先例がほとんどなく、本展覧会の特徴のひとつとなった。また、古典的な「だまし絵」だけでなく、現代美術の分野からも特殊な視覚効果をもつ作品を出品したが、それぞれの知名度はそれほど高くないにもかかわらず、多くの来場者から好評をいただいた。

図録

28.9×22.5cm 192頁

編集:名古屋市美術館、Bunkamura ザ・ミュージアム、兵庫県立美術館、中日新聞社

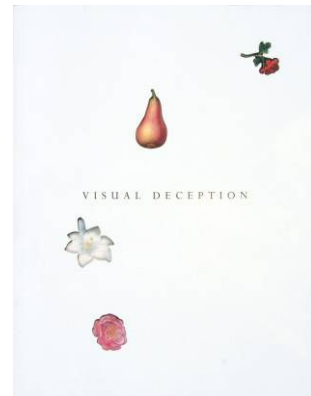
発行:中日新聞社



会場風景



A4 チラシ



図録



記念講演会(山下裕二氏)

関連事業

記念講演会①

日時：4月11日(土) 14:00-

演題：「幕末・明治期のエンタテインメント絵画―描表装を中心―」

講師：山下裕二（明治学院大学文学部教授）



記念講演会(谷川渥氏)

記念講演会②

日時：5月10日(日) 14:00-

演題：「だまし絵―表層のレトリック」

講師：谷川渥（國學院大学文学部教授）

作品解説会

日時：4月26日(日)、5月24日(日) 14:00-

講師：片崎裕徳（学芸員）

いずれも会場は講堂、入場無料。

出品作品

展示期間 i：4月11日-4月26日 ii：4月28日-5月10日 iii：5月12日-5月24日 iv：5月26日-6月7日
 ×：名古屋市美術館では展示しない（巡回先のbunkamura ザ・ミュージアムまたは兵庫県立美術館で展示）

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ | 所蔵 | 展示期間 |
|----------------------------|--------------------------|-----------------------------------|---------------|-----------------|----------------|--------------------|-------------|
| 第1章 イメージ詐術（トリック）の古典 | | | | | | | |
| 1 | ジュゼッペ・アルチンボルド | ウェルトゥムヌス（ルドルフ2世） | 1590年頃 | 68.0x56.0cm | 油彩・板 | スコークロステル城 | i ii iii iv |
| 2 | ジュゼッペ・アルチンボルドの流派 | 水の寓意 | 制作年不詳 | 63.0x53.0cm | 油彩・キャンヴァス | ベルギー王立美術館 | i ii iii iv |
| 3 | パウルス・ロイ | ルドルフ2世、マクシミリアン2世、フェルディナント1世の三重肖像画 | 1603年 | 55.0x45.0cm | 油彩・板（樺材） | ブラハ城 | i ii iii iv |
| 4 | エアハルト・シェーン | 判じ絵―フェルディナント1世 | 1531-34年頃 | 15.8x76.4cm | 木版・紙 | 大英博物館 | i ii iii iv |
| 5 | エアハルト・シェーン | 判じ絵―ヨナと大きな魚としゃがむ男 | 1538年 | 21.2x85.1cm | 木版・紙 | 大英博物館 | i ii iii iv |
| 6 | ドメニコ・ピオラ | ルーベンスの《十字架昇架》の場面のあるアナモルフォーズ | 17世紀 | 68.0x83.0cm | 油彩・キャンヴァス | ルーアン美術館 | i ii iii iv |
| 7 | 作者不詳 | 円筒アナモルフォーズ（軍服の男） | 1750年頃 | 23.0x30.0cm | エッチング、水彩・紙 | 東京都写真美術館 | i ii iii iv |
| 8 | 作者不詳 | 円錐アナモルフォーズ | 1720年頃 | 27.5x27.5cm | エッチング、水彩・紙 | 東京都写真美術館 | i ii iii iv |
| 9 | ヨハネス・ダーフィット | 『真実のキリスト教徒』 | 1601年（アントワープ） | 20.0x16.0cm | 書籍 | 慶應義塾図書館 | i ii |
| 10 | アナタウシス・キルヒャー | 『光と影の魔術』 | 1671年（第2版） | 39.0x26.0cm | 書籍 | 金沢工業大学ライブラリーセンター | i ii iii iv |
| 11 | ジャン=フランソワ・ニスロン | 『遠近法の不思議』 | 1663年 | 35.5x26.0x4.0cm | 書籍 | 東京芸術大学附属図書館 | iii |
| 12 | ウィリアム・ホガース | 誤った遠近法 | 1754年 | 20.8x17.1cm | エッチング・紙 | 郡山市立美術館 | i ii |
| 第2章 トロンブルイユの伝統 | | | | | | | |
| 13 | パツィスタ・アングロ・デル・モーロ（帰属） | ヴェローナの近くに幻視として現れた聖家族 | 1581年 | 90.2x116.8cm | 油彩・キャンヴァス | アレン記念美術館、オーバーリン大学 | i ii iii iv |
| 14 | コルネリス・ノルベルトウス・ヘイスブレヒツ | 静物―トロンブルイユ | 1663年 | 96.0x75.0cm | 油彩・キャンヴァス | カルカッソヌス美術館 | i ii iii iv |
| 13 | パツィスタ・アングロ・デル・モーロ（帰属） | ヴェローナの近くに幻視として現れた聖家族 | 1581年 | 90.2x116.8cm | 油彩・キャンヴァス | アレン記念美術館、オーバーリン大学 | i ii iii iv |
| 16 | アドリアーン・ファン・オスターテ | 水彩画の上に置かれた透明な紙 | 1676年 | 43.3x33.1cm | 水彩・紙 | ベルギー王立美術館 | × |
| 17 | ロラン・ダボ | フランス・スペイン最終和平条約のトロンブルイユ | 1801年頃 | 59.0x46.0cm | 油彩・キャンヴァス | マルモッタン美術館 | i ii iii iv |
| 18 | 17世紀のフランドルの画家 | 聖家族（トロンブルイユ） | 制作年不詳 | 90.8x72.0cm | 油彩・キャンヴァス | フレスノ市博物館 | i ii iii iv |
| 19 | エーヴェルト・コリエ（エドワールト・コレイエル） | エラスムスの銅版画のあるトロンブルイユ | 1693年 | 46.7x38.1cm | 油彩・キャンヴァス | フレスノ市博物館 | i ii iii iv |
| 20 | 18世紀のイタリアの画家 | 「死を想え―ヴァニタス（虚栄）」 | 制作年不詳 | 59.7x47.0cm | 油彩・キャンヴァス | フレスノ市博物館 | i ii iii iv |
| 21 | アントニー・ヴァン・ステーンウインケル | ヴァニタス―画家とその妻の肖像 | 1630年代 | 85.0x64.0cm | 油彩・キャンヴァス | アントワープ王立美術館 | i ii iii iv |
| 22 | ヤーコフ・マーレル | 花瓶の花 | 1640年以降 | 71.0x61.5cm | 油彩・キャンヴァス | ブラハ国立美術館 | i ii iii iv |
| 23 | コルネリス・ノルベルトウス・ヘイスブレヒツ | 狩りの獲物のあるトロンブルイユ | 1671年 | 142.5x184.0cm | 油彩・キャンヴァス | イクセル美術館 | i ii iii iv |
| 24 | アレクサンデル=フランソワ・デポルト | 果物と狩りの獲物のある静物 | 1706年 | 104.0x97.0cm | 油彩・キャンヴァス | マルロー美術館 | i ii iii iv |
| 25 | ヨハン・ゲオルク・ヒンツ | 珍品奇物の棚 | 1666年 | 128.0x101.3cm | 油彩・キャンヴァス | リフフ城 コロヴァットコレクシオン | i ii iii iv |
| 26 | 18世紀のフランスの画家 | 床屋の戸棚 | 制作年不詳 | 64.8x54.6cm | 油彩・キャンヴァス | フレスノ市博物館 | i ii iii iv |
| 27 | ジャン・エモウ | 洋服ブラシとヴァニタスの静物画 | 制作年不詳 | 75.6x56.5cm | 油彩・キャンヴァス | フレスノ市博物館 | i ii iii iv |
| 28 | コルネリス・ノルベルトウス・ヘイスブレヒツ | 食器棚 | 1663年 | 86.4x73.7cm | 油彩・キャンヴァス | フレスノ市博物館 | i ii iii iv |
| 29 | コルネリス・ノルベルトウス・ヘイスブレヒツ | トロンブルイユ | 1665年 | 59.0x56.0cm | 油彩・キャンヴァス | マルモッタン美術館 | i ii iii iv |
| 30 | サミュエル・ファン・ホーフストラーテン | トロンブルイユ―静物（状差し） | 1664年 | 45.5x57.5cm | 油彩・キャンヴァス | マルドレヒト美術館 | i ii iii iv |
| 31 | ジャン=フランソワ・ド・ル・モット | トロンブルイユの静物 | 1685年 | 62.0x87.0cm | 油彩・キャンヴァス | ストラズブル美術館 | i ii iii iv |
| 32 | エーヴェルト・コリエ（エドワールト・コレイエル） | 壁の状差し | 17世紀 | 63.8x76.2cm | 油彩・キャンヴァス | フレスノ市博物館 | i ii iii iv |
| 33 | ギヨーム=ドミニク・ドンクル | トロンブルイユ | 1785年 | 53.4x29.7cm | 油彩・キャンヴァス | アラス美術館 | i ii iii iv |
| 34 | ジャン・ヴァレット=ブノ | サラバットの版画のあるトロンブルイユ | 18世紀 | 79.0x62.5cm | 油彩・キャンヴァス | レンヌ美術館 | i ii iii iv |
| 35 | 17世紀のオランダの画家 | 羊飼いの礼拝（大理石の浮彫のトロンブルイユ） | 制作年不詳 | 38.1x27.9cm | 油彩・キャンヴァス | フレスノ市博物館 | i ii iii iv |
| 36 | エラスムス・クエリヌス | 慈悲の擬人像 | 1650年頃 | 167.0x30.0cm | 油彩・板に貼ったキャンヴァス | ヤン・ド・マール画廊 | i ii iii iv |
| 37 | 聖血の画家（工房） | ルクレティアの自害 | 16世紀 | 84.6x65.5cm | 油彩・板（樺材） | ブラハ国立美術館 | i ii iii iv |
| 38 | バルトロメウス・ファン・デル・ヘルスト | ある男の肖像 | 制作年不詳 | 99.0x82.5cm | 油彩・キャンヴァス | ブラハ国立美術館 | i ii iii iv |
| 39 | ペレ・ボレル・デル・カソ | 非難を逃れて | 1874年 | 76.0x62.0cm | 油彩・キャンヴァス | スペイン銀行 | i ii iii iv |
| 特別出品 | フランシスコ・デ・シルバラン | 聖骸布 | 1630年代 | 107.3x79.4cm | 油彩・キャンヴァス | サラ・キャンベル・ブラッファァー財団 | i ii iii iv |
| 第3章 アメリカン・トロンブルイユ | | | | | | | |
| 40 | フレデリック・エドウィン・チャーチ | 復讐の手紙 | 1844-47年 | 21.0x26.0cm | 油彩・キャンヴァス | アレン記念美術館、オーバーリン大学 | i ii iii iv |
| 41 | デ・スコット・エヴァンズ | インコへのオマージュ | 1890年頃 | 50.8x40.0cm | 油彩・キャンヴァス | フレスノ市博物館 | i ii iii iv |
| 42 | ウィリアム・マイケル・ハーネット | 狩りの後 | 1883年 | 133.35x91.44cm | 油彩・キャンヴァス | コロバス美術館 | i ii iii iv |
| 43 | ウィリアム・マイケル・ハーネット | 海泡石のバイブ | 1886年 | 43.5x30.8cm | 油彩・キャンヴァス | サンフランシスコ美術館 | i ii iii iv |
| 44 | アレクザンダー・ポーブ | 狩りの後 | 制作年不詳 | 130.8x105.4cm | 油彩・キャンヴァス | フレスノ市博物館 | i ii iii iv |

| | | | | | | | |
|----|----------------|--------------|-------------|---------------|-------------|------------------|-------------|
| 45 | アレグザンダー・ポープ | エサをやらなくてください | 1895年頃 | 54. 6x67. 3cm | 油彩・キャンヴァス | ブランディーワイン・リバー美術館 | i ii iii iv |
| 46 | ジョン・フレデリック・ビート | 思い出の品 | 1881-1901年頃 | 67. 9x55. 9cm | 油彩・キャンヴァス | メトロポリタン美術館 | i ii iii iv |
| 47 | ジョン・フレデリック・ビート | 画家のピンナップボード | 1904年 | 26. 7x31. 1cm | 油彩・厚紙キャンヴァス | フレスノ市博物館 | i ii iii iv |
| 48 | ジョン・ハバリー | 石盤：覚え書き | 1895年頃 | 30. 8x23. 2cm | 油彩・キャンヴァス | サンフランシスコ美術館 | i ii iii iv |
| 49 | 19世紀のアメリカの画家 | 手提げ籠、セロリと鳥 | 制作年不詳 | 45. 7x57. 8cm | 油彩・キャンヴァス | フレスノ市博物館 | i ii iii iv |

第4章 日本のだまし絵

| | | | | | | | | |
|----|---------|--------------------------|------------|---|-------------------|------|---------------------|-------------|
| 50 | 鈴木其一 | 正月飾図 | 19世紀 | 164. 3x36. 5cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 個人蔵 | iii iv |
| 51 | 柴田是真 | 正月飾図 | 19世紀 | 170. 5x39. 8cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 個人蔵 | i ii |
| 52 | 鈴木其一 | 紙雛図 | 19世紀 | 184. 0x48. 0cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 個人蔵 | i ii |
| 53 | 鈴木守一 | 雛人形図 | 19世紀 | 183. 3x41. 2cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 個人蔵 | x |
| 54 | 柴田是真 | 内裏雛図 | 19世紀 | 184. 0x41. 6cm | 掛幅 | 絹本着色 | 個人蔵 | iii iv |
| 55 | 狩野章信 | 内裏雛図 | 1809年 | 106. 0x77. 7cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 板橋区立美術館 | ii |
| 56 | 河鍋晩斎 | 雛祭図 | 1870年 | 117. 0x50. 6cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 個人蔵 | iii iv |
| 57 | 鈴木守一 | 花御堂図 | 19世紀 | 186. 1x49. 7cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 個人蔵 | iv |
| 58 | 鈴木守一 | 白衣楊柳観音図 | 19世紀 | 179. 8x41. 7cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 個人蔵 | i ii |
| 59 | 柴田是真 | 滝登雛図 | 19世紀 | 172. 0x37. 3cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 野見美術館 | iii |
| 60 | 酒井唯一 | 鯉に燕子花園 | 19-20世紀 | 179. 4x52. 4cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 細見美術館 | x |
| 61 | 酒井抱一（伝） | 蓬莱山・春秋草花園 | 18-19世紀 | 各96. 5x35. 0cm | 掛幅（描表装）3幅 絹本着色 | | 遠山記念館 | x |
| 62 | 鈴木守一 | 秋草図 | 19世紀 | 177. 0x41. 4cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | エツコ&ジョー・ブライス・コレクション | i ii iii iv |
| 63 | 鈴木其一 | 素平東下り図 | 19世紀 | 196. 2x55. 0cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 遠山記念館 | x |
| 64 | 市川其融 | 雪中常盤図 | 19世紀 | 178. 0x48. 0cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 細見美術館 | x |
| 65 | 河鍋晩斎 | 強琴五美女憩の図 | 19世紀 | 113. 0x56. 0cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 河鍋晩斎記念美術館 | x |
| 66 | 長沢声雪 | 幽霊・鬮懸子犬・白蔵主図 | 1781-89年頃 | 左：145. 0x32. 6cm 中央：141. 6x32. 6cm 右：141. 6x32. 6cm | 掛幅（描表装）3幅 絹本着色 | | 藤田美術館 | ii |
| 67 | 呉春、松村景文 | 柳下幽霊図 | 18世紀 | 190. 5x72. 0cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | エツコ&ジョー・ブライス・コレクション | i ii iii iv |
| 68 | 河鍋晩斎 | 幽霊図 | 1883年頃 | 158. 0x36. 0cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | オランダ国立民族学博物館 | i ii iii iv |
| 69 | 清水節堂 | 幽霊図 | 19-20世紀 | 180. 0x84. 0cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 徳源院 | x |
| 70 | 河鍋晩斎 | 間廬と地獄太夫図 | 19世紀 | 120. 0x52. 0cm | 掛幅 | 絹本着色 | エツコ&ジョー・ブライス・コレクション | i ii iii iv |
| 71 | 菊池容斎 | 小塚原図 | 1855年 | 108. 2x40. 3cm | 掛幅（描表装） | 絹本着色 | 東京都江戸東京博物館 | i |
| 72 | 松本楓湖 | 花箱と幽霊 | 1875年 | 122. 0 x 50. 4cm | 掛幅 | 絹本着色 | 全生庵 | i ii iii iv |
| 73 | 鳥居清忠 | 忠臣蔵七段目謀酔いの段 | 1749年 | 58. 5x89. 1cm | 掛幅 | 紙本着色 | 神戸市立博物館 | x |
| 74 | 歌川国芳 | みかけはこはあがとんだいゝ人だ | 1847-48年 | 35. 5x24. 8cm | 大判錦絵 | | 山口県立萩美術館・浦上記念館 | iii |
| 75 | 歌川国芳 | みかけはこはあがとんだいゝ人だ | 1847-48年 | | 大判錦絵 | | 町田市立博物館 | iv |
| 76 | 歌川国芳 | としよりのよふな若い人だ | 1847-48年 | 37. 0x25. 6cm | 大判錦絵 | | 山口県立萩美術館・浦上記念館 | x |
| 77 | 歌川国芳 | としよりのよふな若い人だ | 1847-48年 | 36. 0x25. 2cm | 大判錦絵 | | 名古屋市博物館 | i |
| 78 | 歌川国芳 | 人かたまつて人になる | 1847-48年 | 36. 6x25. 1cm | 大判錦絵 | | 山口県立萩美術館・浦上記念館 | ii |
| 79 | 歌川国芳 | ひとをばかにした人だ | 1847-48年 | | 大判錦絵 | | 町田市立博物館 | iv |
| 80 | 歌川国芳 | 猫の当字 なまづ | 1843年頃 | 36. 5x25. 8cm | 大判錦絵 | | 山口県立萩美術館・浦上記念館 | x |
| 81 | 歌川国芳 | 深見草獅子彩色 | 1847-52年頃 | 36. 8x25. 7cm | 大判錦絵 | | 名古屋市博物館 | iii |
| 82 | 歌川芳藤 | 五十三次之内猫之怪 | 1847-52年頃 | 35. 7x23. 9cm | 大判錦絵 | | 福岡市博物館 | i ii |
| 83 | 歌川国芳 | 其面影程能写絵 狐人にためき 金魚にひごいつ子 | 1848-51年 | 各35. 7x24. 4cm | 大判錦絵 | | 仙台市博物館 | iii iv |
| 84 | 歌川国芳 | 其面影程能写絵 弁けい たいこもち | 1848-51年 | 各35. 7x24. 4cm | 大判錦絵 | | 仙台市博物館 | i ii |
| 85 | 歌川国芳 | 其面影程能写絵 おかつり あびにあかがひ | 1848-51年 | 各35. 7x24. 4cm | 大判錦絵 | | 仙台市博物館 | i ii |
| 86 | 歌川広重 | 即興かげぼしづくし 根上りのまつ 梅に驚 | 1830-44年頃 | 37. 2x25. 4cm | 中判（二丁掛）錦絵 | | 仙台市博物館 | i ii |
| 87 | 歌川広重 | 即興かげぼしづくし きりことふうろう つる | 1830-44年頃 | 37. 5x25. 6cm | 中判（二丁掛）錦絵 | | 仙台市博物館 | i ii |
| 88 | 歌川広重 | 即興かげぼしづくし うさぎ 鉢植の福寿草 | 1830-44年頃 | 37. 5x25. 8cm | 中判（二丁掛）錦絵 | | 仙台市博物館 | i ii |
| 89 | 歌川広重 | 即興かげぼしづくし 入りふね 茶わんちゃ壺 | 1830-44年頃 | 37. 0x25. 7cm | 中判（二丁掛）錦絵 | | 仙台市博物館 | i ii |
| 90 | 歌川広重 | 即興かげぼしづくし 岩に雁 ねこ | 1830-44年頃 | 37. 5x25. 5cm | 中判（二丁掛）錦絵 | | 仙台市博物館 | i ii |
| 91 | 歌川広重 | 即興かげぼしづくし みゝづく まつだけ | 1830-44年頃 | 37. 1x25. 6cm | 中判（二丁掛）錦絵 | | 仙台市博物館 | iii iv |
| 92 | 歌川広重 | 即興かげぼしづくし 石燈籠 廬にとまり木 | 1830-44年頃 | 37. 3x25. 2cm | 中判（二丁掛）錦絵 | | 仙台市博物館 | iii iv |
| 93 | 歌川広重 | 即興かげぼしづくし こんろにきびせう かんちろり | 1830-44年頃 | 37. 4x25. 6cm | 中判（二丁掛）錦絵 | | 仙台市博物館 | iii iv |
| 94 | 歌川広重 | 即興かげぼしづくし ふじの山 らんかんぎぼし | 1830-44年頃 | 37. 5x25. 5cm | 中判（二丁掛）錦絵 | | 仙台市博物館 | iii iv |
| 95 | 歌川広重 | 即興かげぼしづくし 塩引きさけの魚 茶がま | 1830-44年頃 | 37. 5x25. 7cm | 中判（二丁掛）錦絵 | | 仙台市博物館 | iii iv |
| 96 | 歌川芳虎 | 風流さや絵 | 1847-1852頃 | 36. 4x24. 9cm | 大判錦絵 | | 神戸市立博物館 | x |
| 97 | 作者不詳 | 鞘絵-西洋美人 | 制作年不詳 | 20. 3x28. 8cm | 水彩・紙 | | 神戸市立博物館 | x |
| 98 | 桜寧斎 | 鏡中図 | 1750年 | 34. 9x23. 5cm | 画帖 墨摺筆彩 | | 名古屋テレビ放送株式会社 | i ii iii iv |

第5章 20世紀の巨匠 - マグリット・ダリ・エッシャー

| | | | | | | | | |
|-----|-------------|---|-------|-------------------|-----------|--|-------------------------|-------------|
| 99 | ルネ・マグリット | 無謀な企て | 1928年 | 116. 0x81. 1cm | 油彩・キャンヴァス | | 豊田市美術館 | x |
| 100 | ルネ・マグリット | 囚われの美女 | 1931年 | 38. 0x55. 0cm | 油彩・キャンヴァス | | ホガース・ギャラリー | i ii iii iv |
| 101 | ルネ・マグリット | 前兆 | 1938年 | 54. 0x65. 0cm | 油彩・キャンヴァス | | ポーラ美術館 | i ii iii iv |
| 102 | ルネ・マグリット | 夢 | 1945年 | 83. 0x69. 2cm | 油彩・キャンヴァス | | 宇都宮美術館 | i ii iii iv |
| 103 | ルネ・マグリット | 望遠鏡 | 1963年 | 175. 5x116. 0cm | 油彩・キャンヴァス | | メニル・コレクション | i ii iii iv |
| 104 | ルネ・マグリット | 落日 | 1964年 | 162. 0 x 130. 0cm | 油彩・キャンヴァス | | メニル・コレクション | i ii iii iv |
| 105 | ルネ・マグリット | 白紙委任状 | 1965年 | 81. 3x65. 1cm | 油彩・キャンヴァス | | ワシントン・ナショナル・ギャラリー | i ii iii iv |
| 106 | ポール・デルヴォー | 窓 | 1936年 | 110. 0x100. 0cm | 油彩・キャンヴァス | | イクセル美術館 | i ii iii iv |
| 107 | ピエール・ロウ | 田舎の一日 | 1931年 | 33. 0x55. 0cm | 油彩・キャンヴァス | | パリ国立近代美術館、ボンビドーセンター | i ii iii iv |
| 108 | サルバドール・ダリ | スルバランの頭蓋骨 | 1956年 | 100. 3x100. 3cm | 油彩・キャンヴァス | | スミニオン協会 ハーシュホーン美術館と彫刻庭園 | i ii iii iv |
| 109 | サルバドール・ダリ | アン・ウッドワード夫人の肖像 | 1953年 | 85. 7x61. 0cm | 油彩・キャンヴァス | | 讃橋近代美術館 | i ii iii iv |
| 110 | サルバドール・ダリ | 海の皮膚を引き上げるヘラクレスがクビドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待つて欲しいと頼む | 1963年 | 43. 0x55. 0cm | 油彩・キャンヴァス | | 長崎県美術館 | x |
| 111 | M. C. エッシャー | 昼と夜 | 1938年 | 39. 1x67. 7cm | 木版・紙 | | 豊田市美術館、横浜美術館 | i ii iii iv |
| 112 | M. C. エッシャー | 登って降りて | 1947年 | 50. 5x20. 5cm | リトグラフ・紙 | | いわき市立美術館 | i ii |
| 113 | M. C. エッシャー | 凸面と凹面 | 1955年 | 29. 0x35. 0cm | リトグラフ・紙 | | 横浜美術館 | iii iv |

| | | | | | | | |
|---|----------------|-------------------------|----------|--------------------------------------|--------------------------|----------------|-------------|
| 114 | M. C. エッシャー | モザイクⅡ (平面充填Ⅱ) | 1957年 | 34. 0x38. 0cm | リトグラフ・紙 | 横浜美術館 | iii iv |
| 115 | M. C. エッシャー | ベルベデーレ (物見の塔) | 1958年 | 46. 2x29. 5cm | リトグラフ・紙 | 豊田市美術館、横浜美術館 | i ii iii iv |
| 116 | M. C. エッシャー | 上昇と下降 | 1960年 | 35. 5x28. 5cm | リトグラフ・紙 | 豊田市美術館、横浜美術館 | i ii iii iv |
| 117 | M. C. エッシャー | 滝 | 1961年 | 38. 0x29. 8cm | リトグラフ・紙 | いわき市立美術館、横浜美術館 | i ii iii iv |
| 第6章 多様なイリュージョンニズム —現代美術におけるイメージの策謀 | | | | | | | |
| 118 | マルセル・デュシャン | ロトレリーフ | 1935/65年 | ディスク各 20. 0x20. 0cm プレーヤー | 紙ディスク6枚、ターン テーブル | 国立国際美術館 | i ii iii iv |
| 119 | マルセル・デュシャン | アネミック・シネマ | 1925-26年 | 白黒・7分 | 映像 | 国立国際美術館 | i ii iii iv |
| 120 | マン・レイ | だまし卵 | 1963-68年 | 59. 5x49. 5x7. 5cm | ミクストメディア | 川村記念美術館 | i ii iii iv |
| 121 | ジャスパー・ジョーンズ | パン | 1969年 | 58. 4x43. 1cm | 鉛・コラージュ (紙・彩色) | 国立国際美術館 | i ii iii iv |
| 122 | ヴィクトル・ヴァザルリ | ヴォナル・ブリアール | 1968/73年 | 120. 0x120. 0cm | アクリル・キャンヴァス | セゾン現代美術館 | × |
| 123 | ブリジット・ライリー | ただよい 1 | 1966年 | 177. 8x174. 6cm | 感光乳剤・キャンヴァス | 新潟市美術館 | i ii iii iv |
| 124 | チャック・クローズ | ジョー | 1969年 | 275. 0x214. 5cm | アクリル・キャンヴァス | 大阪市立近代美術館建設準備室 | i ii iii iv |
| 125 | ミケランジェロ・ピストレット | 窃視者 (M. ピストレットとV. ピサーニ) | 1962/72年 | 120. 0x230. 0cm | アクリル、ステンレス、 薄葉紙 | 豊田市美術館 | × |
| 126 | 高松次郎 | 影A | 1964年 | 170. 0x137. 0x12. 0cm | 油彩・合板、フック | いわき市立美術館 | i ii iii iv |
| 127 | 高松次郎 | 遠近法のテーブル | 1967年 | 110. 0x145. 0x210. 0cm | ラッカー・木 | 東京都現代美術館 | i ii iii iv |
| 128 | 福田繁雄 | Sample | 1977年 | 45. 5x39. 5x12. 0cm | ホワイト・ブロンズ | 兵庫県立美術館 | i ii iii iv |
| 129 | パトリック・ヒューズ | 水の都 | 2008年 | 59. 0x152. 0x30. 0cm | 油彩、写真コラージュ・ 組立ボード | 作家蔵 | i ii iii iv |
| 130 | マルクス・レーツ | 変容Ⅱ | 1990-92年 | 39. 6x33. 3x33. 5cm 台 座高さ142. 0cm | 鋳鉄、木の台座 | クンスト・バラスト美術館 | i ii iii iv |
| 131 | ジョルジュ・ルース | 神戸 | 1995年 | 137. 4x106. 4cm | ゼラチンシルバープリン ト、アルミニウム | 兵庫県立美術館 | × |
| 132 | ジョルジュ・ルース | 塚本 | 1995年 | 106. 3x138. 3cm | ゼラチン・シルバープリン ト、アルミニウム | 兵庫県立美術館 | i ii iii iv |
| 133 | アニッシュ・カプーア | 虚空 No. 3 | 1989年 | 121. 9x121. 0x91. 4cm | ファイバーガラス、顔料 | 個人蔵 | i ii iii iv |
| 134 | リサ・ミルロイ | 皿 | 1992年 | 188. 0x243. 8cm | 油彩・キャンヴァス | 名古屋市美術館 | × |
| 135 | 金 昌烈 | 水滴 | 1974年 | 194. 0x97. 0cm | アクリル・キャンヴァス | 新潟県立近代美術館 | i ii iii iv |
| 136 | 森村泰昌 | 仏手柑 (野島1-4) | 1990年 | 各24. 0×38. 0cm | カラー写真 | 京都国立近代美術館 | i ii iii iv |
| 137 | 杉本博司 | ウィリアム・シェイクスピア | 1999年 | 182. 4x152. 4cm | ゼラチンシルバープリン ト | 国立国際美術館 | i ii iii iv |
| 138 | 福田美蘭 | 壁面5°の拡がり | 1997年 | 98. 5x111. 0cm | アクリル・パネル・変形 額 | 国立国際美術館 | i ii iii iv |
| 139 | 本城直季 | 「small planet」シリーズより | 2006年 | 120. 0x150. 0cm | タイプCプリント | 作家蔵 | i ii |
| 140 | 本城直季 | 「small planet」シリーズより | 2006年 | 120. 0x150. 0cm | タイプCプリント | 作家蔵 | i ii |
| 141 | 本城直季 | 「small planet」シリーズより | 2005年 | 120. 0x150. 0cm | タイプCプリント | 作家蔵 | iii iv |
| 142 | 本城直季 | 「small planet」シリーズより | 2005年 | 120. 0x150. 0cm | タイプCプリント | 作家蔵 | iii iv |

放課後のはらっぱ 榎田伸也とその教え子たち

In the Little Playground: Hitsuada Nobuya and his surrounding students

会期: 2009年8月22日(土) - 10月18日(日)

会場: 常設展示室 3

主催

あいちトリエンナーレ実行委員会、愛知県美術館、名古屋市美術館、中日新聞社

後援

愛知県・岐阜県・三重県各教育委員会

協力

愛知県立芸術大学

企画協力

奈良美智、杉戸洋、森北伸

助成

財団法人地域創造

観覧料

入場無料

内容

2010年に開催される「あいちトリエンナーレ展」のイベントとして、愛知県美術館と名古屋市美術館が共同企画し、両会場を使用して開催された。1985年に安井賞を受賞した榎田伸也は一貫して風景をテーマに優れた作品を残してきたが、一方で1975年からほぼ四半世紀にわたって愛知県立芸術大学で教鞭を執り、現在国内外で活躍する多くの後進を育成してきた。この展覧会では画家であり同時に教育者である榎田伸也の二つの側面を紹介することを目的に、単なる回顧展ではなく、榎田と教え子たちの作品を並置することにより、両者の間に結ばれていた暖かな交流や影響関係を探ることも狙いとした。また同時に、翌年に迫った「あいちトリエンナーレ展」が国際的な現代美術の最新の動向を幅広く紹介する狙いがあるのに対し、本展は対照的に地元愛知県での現代美術の活動を、一つの師弟関係に焦点を絞り深く追求した。

図録

25x18cm 二分冊

発行: あいちトリエンナーレ展実行委員会

関連事業

記念講演会

画家・榎田伸也、自作を語る。

日時: 10月12日(月・祝)、14:00-

会場: 講堂

参加人数: 148名

はらっぱ一日カフェ

日時: 10月18日(日)

会場: 美術館(カフェ・ステラ)

特別レシピ: 加藤美佳、安藤正子(「ねこ先生のハヤシライス」「はりねずみ先生のスイートポテト」など)



会場風景



図録



A3 チラシ表



A3 チラシ裏

参加人数: 182名

はらっぱフォトバッジ、バッチ・ゲー

日時: 10月18日(日)、10:00-12:00、14:00-16:00(各回100名)

会場: 地下ロビー・キッズコーナー

缶バッジ制作: 榎田珠美

協力: 名古屋芸術大学デザイン学部メディアコミュニケーションデザインコース

幻灯会

日時：10月18日（日）、14:00（49名）、16:00（58名）

会場：講堂

幻灯：設楽知昭

出品作品

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ | 所蔵 |
|-----|--------------|--------------------|--------------------|-----------|------------------|----------|
| 1 | 加藤英人 | 失うもの | 1991年 | 油彩・布 | 52.9x45.5cm | 作家蔵 |
| 2 | 加藤英人 | 行き場所のない天使のために | 1996年 | 油彩・布 | 260.6x324.2cm | 作家蔵 |
| 3 | 加藤英人 | 緑へ | 2009年 | 油彩・布 | 53.0x45.0cm | 作家蔵 |
| 4 | 加藤英人 | 夢から | 2009年 | 油彩・布 | 72.7x60.6cm | 作家蔵 |
| 5 | 佐藤克久、 杉戸洋 | Don' t think twice | 2009年 | 石膏、アクリル・木 | 7.5x28.8x18.0cm | 作家蔵 |
| 6 | 奈良美智 | 海に落ちた鉛筆、空に飛んだ鉛筆 | 1985年 | ミクストメディア | 90.0x43.0x11.5cm | 個人蔵 |
| 7 | 奈良美智 | 無題 | 1987年 | 木炭・紙 | 54.5x45.0cm | 個人蔵 |
| 8 | 櫃田伸也 | あいまいな風景 | 1993年 | 油彩・布 | 181.8x227.3cm | 名古屋市美術館 |
| 9 | 櫃田伸也 | あいまいな風景 | 1993年 | 油彩・布 | 181.8x227.3cm | 名古屋市美術館 |
| 10 | 古草敦史 | 88 | 2008年 | 油彩・布 | 116.7x91.0cm | 作家蔵 |
| 11 | 古草敦史 | 空路 | 2008年 | 油彩・布 | 116.7x91.0cm | 作家蔵 |
| 12 | 村瀬恭子 | sherbet | 2008年 | 油彩、色鉛筆・綿布 | 190.0x230.0cm | 岡崎市美術博物館 |
| 13 | 森北 伸 | 無題 | 1988年／ 2009年再制作 | 木 | 15.0x25.5x8.0cm | 作家蔵 |

躍動する魂のきらめき—日本の表現主義展

Expressionist Movements in Japan

会期:2009年8月25日(火)-10月12日(月・祝)

会場:企画展示室1・2

主催

名古屋市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

後援

愛知県・岐阜県・三重県各教育委員会

協賛

ライオン、清水建設、大日本印刷

協力

近畿日本鉄道、JR東海、名古屋鉄道、名古屋市交通局

観覧料

一般1,000円、高大生700円、小中生400円

内容

性急な「近代化」の過程のなかで、「個性」や「生命」さらには人生観がはじめて注目された明治末から昭和初期にあたる1910-1920年代、芸術家はある種のセンチメンタリズムとやがて来る華やかなモダニズムの気配を感じ、不安と希望が混交しあうなかで、自己の内面を最も重視し、抒情あふれるその表現はやがて神秘性をも帯びて行った。本展覧会では20世紀の初頭にドイツで生まれた「表現主義」の影響を受けながら、西洋美術の単なる受容や模倣ではなく、日本固有の表現の発露と捉え、美術の前衛から、一般の生活にまで広がって行った造形活動について、美術はもとより、建築、映画・写真、デザイン・工芸、舞踊・演劇など様々なジャンルに亘って、混沌、熱情、躍動を見せながら、現実に対して、或いは社会に対して若き芸術家たちが提示しようとした熱き“時代精神”の軌跡を390点にも及ぶ作品と資料によって検証・紹介した。なお、展覧会のための研究会を立ち上げ、開催美術館5館による3年に亘って日本の表現主義に関して調査と研究、情報交換等の準備を経て開催実現に漕ぎ着けたものであり、同展覧会図録は、美術館連絡協議会「2009年優秀カタログ賞(美連協展部門)」を獲得した。

図録

26.1x18.8cm 454頁

編集・発行:栃木県立美術館、兵庫県立美術館、名古屋市美術館、岩手県立美術館、松戸市教育委員会、美術館連絡協議会

関連事業

記念講演会①

日時:9月6日(日)14:00-

演題:「生命」の表現—20世紀の芸術思潮を考える

講師:鈴木貞美(国際日本文化研究センター教授、日本文芸・文化史)

会場:講堂

記念講演会②

日時:10月4日(日)14:00-



会場風景



図録



A4 チラシ

演題:「芸術の革新から人間の解放と社会の変革へ—世界的同時性としての表現主義—」

講師:池田浩士(京都精華大学客員教授、現代文明論)

会場:講堂

作品解説会

日時:9月13日(日)14:00-

講師:竹葉丈(学芸員)

会場:講堂

映画上映会

①ドイツ表現主義映画月間

“Expressionist Films in September”

—『カリガリ博士』から『メトロポリス』まで—

協力：ドイツ文化センター

- 9月4日(金) 18:00-
『カリガリ博士』(監督：ロベルト・ヴィーネ、1919年、75分、16m/m、無声・白黒) 参加者：65名
- 9月5日(土) 14:00-
『ジークフリート』(監督：フリッツ・ラング、1924年、143分、16m/m、無声・白黒) 参加者：50名
- 9月11日(金) 18:00-
『吸血鬼ノスフェラトゥ』(監督：F.W.ムルナウ、1922年、93分、16m/m、無声・白黒) 参加者：42名
- 9月18日(金)18:00-
『カリガリ博士』 参加者：91名
- 9月19日(土)14:00-
『死滅の谷』(監督：フリッツ・ラング、1921年、119分、16m/m、無声・白黒) 参加者：84名
- 9月20日(日) 10:30-
『裏街の怪老窟』(監督：パウル・レニ、1924年、63分、16m/m、無声・白黒) 参加者：59名
- 9月20日(日) 14:00-
『ドクトル・マブゼ・犯罪地獄』(監督：フリッツ・ラング、1922年、139分、16m/m、無声・白黒) 参加者：80名
- 9月21日(月・祝) 10:30-
『メトロポリス』(監督：フリッツ・ラング、1926年、85分、16m/m、無声・白黒) 参加者：73名

- 9月21日(月・祝) 14:00-
『ジークフリート』 参加者：84名
- 9月22日(火・休) 10:30-
『吸血鬼ノスフェラトゥ』 参加者：68名
- 9月22日(火・休) 14:00-
『死滅の谷』 参加者：52名
- 9月25日(金) 15:00-
『タルチュフ』(F.W.ムルナウ、1925年、71分、16m/m、無声・白黒) 参加者：62名
- 9月25日(金) 18:00-
『メトロポリス』 参加者：48名
- 9月27日(日) 10:30-
『タルチュフ』 参加者：47名

②無声映画と音楽の出会い

出演：柳下美恵(無声映画伴奏者)

- 9月4日(金)18:00- 『カリガリ博士』
- 9月5日(土)14:00- 『ジークフリート』
- 9月11日(金)18:00- 『吸血鬼ノスフェラトゥ』
- 9月18日(金)18:00- 『カリガリ博士』
- 9月19日(土)14:00- 『死滅の谷』
- 9月20日(日)10:30- 『裏街の怪老窟』
- 9月20日(日)14:00- 『ドクトル・マブゼ・犯罪地獄』
- 9月25日(金)15:00- 『タルチュフ』

*いずれも場所は講堂

出品作品

展示期間 i : 8月25日-9月13日 ii : 9月15日-9月27日 iii : 9月29日-10月12日 Δ : 9月15日-9月23日

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | サイズ | 所蔵 | 展示期間 |
|--------------|-------|-------------------------------|-------|-------------|---------------|--------|----------|
| 序章：予兆 | | | | | | | |
| 0-1 | 黒田清輝 | 大磯嶋立庵 | 1896年 | カンヴァス、油彩 | 25.0x36.2cm | 個人蔵 | i ii iii |
| 0-3 | 石井林響 | 王者の瑞 | 1918年 | 麻本着色 | 234.8x220.6cm | 千葉市美術館 | i ii iii |
| 0-4 | 藤島武二 | 与謝野鉄幹・与謝野晶子著『毒草』(藤島武二装幀) | 1904年 | 紙、 | 15.4x16cm | 千葉市美術館 | i ii |
| 0-5 | 藤島武二 | 『明星』巳歳第1号表紙 | 1905年 | 紙、写真版 | 25.7x18.7cm | 千葉市美術館 | i ii |
| 0-6 | 藤島武二 | 『明星』午歳第1号表紙 | 1906年 | 紙、写真版 | 25.7x18.7cm | 千葉市美術館 | i ii iii |
| 0-8 | 石井柏亭 | 北原白秋『邪宗門』装幀・口絵 | 1909年 | 紙、木口木版など | 18.8x13.5cm | 千葉市美術館 | i iii |
| 0-9 | 廣川松五郎 | 三木露風『生と恋』アルス | 1919年 | 紙、インク、布、型押し | 13.7x9.7cm | 山鬼文庫 | i ii iii |
| 0-10 | 後藤慶二 | 《私の監獄》『ホトトギス』第16巻第4号 ホトトギス発行所 | 1913年 | 紙、石版 | 22.1x15.1cm | 山鬼文庫 | i ii iii |
| 0-11 | 後藤慶二 | 《煙突》『ホトトギス』第18巻第3号 ホトトギス発行所 | 1914年 | 紙、石版 | 22.1x15.2cm | 山鬼文庫 | i ii iii |
| 0-12 | 後藤慶二 | 山崎静太郎『独習用謡曲地拍子精義』わんや江島謡曲書肆 | 1915年 | 紙、凸版 | 22.1x15.2cm | 山鬼文庫 | i ii iii |
| 0-13 | 後藤慶二 | 『後藤慶二遺稿集』後藤芳香 | 1925年 | 紙、写真網版、凸版 | | 個人蔵 | i ii iii |

第1章：表現Ⅰ—生命主義

| | | | | | | | |
|------|-------|----------------|-------|----------|---------------|---------------------|----------|
| 1-1 | 満谷国四郎 | 杏花 | 1920年 | カンヴァス、油彩 | 112.0x136.4cm | 大阪市立近代美術館建設準備室 | i ii iii |
| 1-2 | 津田青楓 | 風景 | 1911年 | 板、油彩 | 23.1x32.9cm | 株式会社 星野画廊 | i ii iii |
| 1-4 | 山脇信徳 | 夕日 | 1910年 | カンヴァス、油彩 | 23.0x33.0cm | 高知市教育委員会(高知県立美術館寄託) | i ii iii |
| 1-5 | 山脇信徳 | 樹 | 1918年 | カンヴァス、油彩 | 50.0x33.8cm | 高知県立美術館 | i iii |
| 1-6 | 山脇信徳 | 疎林(モノクローム2) | 1918年 | カンヴァス、油彩 | 32.0x44.3cm | 高知市民図書館 | i ii |
| 1-7 | 川上涼花 | 鉄路 | 1912年 | カンヴァス、油彩 | 59.0x44.0cm | 東京国立近代美術館 | i |
| 1-8 | 高間惣七 | 夏草 | 1918年 | カンヴァス、油彩 | 134x122.5cm | 横須賀美術館 | i ii iii |
| 1-10 | 牧野虎雄 | 庭の少女(中庭) | 1921年 | カンヴァス、油彩 | 94.8x111.0cm | 東京都現代美術館 | i ii iii |
| 1-11 | 岸田劉生 | 自画像 | 1912年 | カンヴァス、油彩 | 33.0x24.0cm | 東京都現代美術館 | i ii iii |
| 1-14 | 岸田劉生 | 静物(湯呑と茶碗と林檎三つ) | 1917年 | カンヴァス、油彩 | 38.0x45.5cm | 大阪市立近代美術館建設準備室 | i ii iii |
| 1-15 | 佐藤春夫 | 自画像 | 1915年 | カンヴァス、油彩 | 51.0x44.0cm | ルヴァン美術館 | i ii iii |

| | | | | | | | |
|-------|------------|--|-----------|------------|---------------|------------------|----------|
| 1-17 | 木村荘八 | 畑：雑司が谷 | 1913年 | カンヴァス、油彩 | 61.0x46.3cm | 横須賀美術館 | i ii iii |
| 1-18 | 木村荘八 | 壺を持つ少女 | 1915年 | カンヴァス、油彩 | 80.7x60.4cm | 愛知県美術館 | i ii iii |
| 1-19 | 木村荘八 | 土と草（冬） | 1918年 | カンヴァス、油彩 | 38.0x45.5cm | 横浜美術館 | i ii iii |
| 1-20 | 河野通勢 | 裾花川風景 | 1914年 | カンヴァス、油彩 | 45.5x60.6cm | 株式会社八十二銀行 | i ii iii |
| 1-21 | 河野通勢 | 風景 | 1916年 | カンヴァス、油彩 | 33.0x45.0cm | 株式会社八十二銀行 | i ii iii |
| 1-24 | 村山槐多 | 差木地村ポンプ庫 | 1916年 | カンヴァス、油彩 | 61.0x45.7cm | 個人蔵（財団法人人間美術館寄託） | i ii iii |
| 1-25 | 村山槐多 | 自画像 | 1916年 | カンヴァス、油彩 | 60.5x50.0cm | 三重県立美術館 | i ii iii |
| 1-26 | 村山槐多 | 房州風景 | 1917年 | カンヴァス、油彩 | 31.3x43.4cm | 名古屋市美術館 | i ii iii |
| 1-28 | 椿貞雄 | 道 | 1915年 | カンヴァス、油彩 | 91.0x65.1cm | 山形美術館 | i ii iii |
| 1-29 | 関根正二 | 少年 | 1917年 | カンヴァス、油彩 | 45.0x37.0cm | 神奈川県立近代美術館 | i ii |
| 1-32 | 関根正二 | 婦人像 | 1918年頃 | カンヴァス、油彩 | 60.4x40.4cm | 東京国立近代美術館 | i ii iii |
| 1-37 | 萬鉄五郎 | 車曳きのいる風景 | 1922年 | 紙本彩色 | 129.9x45.0cm | 岩手県立美術館 | ii iii |
| 1-39 | 秦テルヲ | 無題 | 1917年 | カンヴァス、顔料 | 45.7x53.6cm | 宇都宮美術館 | i ii |
| 1-40 | 秦テルヲ | 淵に佇めば | 1917年 | 麻布着色 | 45.2x50.3cm | 株式会社 星野画廊 | i iii |
| 1-41 | 秦テルヲ | 血の池 | 1917年頃 | 麻布着色 | 60.0x91.0cm | 京都国立近代美術館 | i iii |
| 1-46 | 牛田鷄村 | 雲山無盡 | 1916年 | 絹本着色 | 125.3x41.9cm | 株式会社 星野画廊 | i ii |
| 1-47 | 大野麥風 | 放牛 | 大正末 | 絹本着色 | 139.7x49.3cm | 株式会社 星野画廊 | i iii |
| 1-48 | 岡本神草 | 拳の舞妓 | 1922年頃 | 絹本彩色 | 46.8x60.6cm | 株式会社 星野画廊 | i ii |
| 1-49 | 甲斐庄楠音 | 裸婦 | 1921年頃 | 絹本着色 | 65.0x38.6cm | 京都国立近代美術館 | i ii iii |
| 1-51 | 榊原始更 | 甲斐庄楠音像 | 大正期 | 水彩、紙 | 46.5x28.5cm | 京都市美術館 | i ii iii |
| 1-52 | 伊藤柏台 | 松並木 | 1919年 | 絹本彩色 | 148.5x135.6cm | 京都国立近代美術館 | i |
| 1-54 | 伊藤柏台 | 鹿ヶ谷風景 | 大正中期 | 絹本、コンテ | 57.0x76.5cm | 京都市美術館 | ii iii |
| 1-55 | 落合朗風 | 秋山里 | 大正末 | 絹本着色 | 108.1x40.8cm | 株式会社 星野画廊 | iii |
| 1-56 | 稲垣仲静 | 猫 | 1919年頃 | 絹本彩色 | 71.0x55.6cm | 株式会社 星野画廊 | iii |
| 1-57 | 伊東深水 | 大島の黎明 | 1916年 | 絹本着色 | 156.0x76.0cm | 愛知県美術館 | i ii |
| 1-62 | 萬鉄五郎 | 十字架のキリスト | 1912年頃 | 紙、木版 | 18.3x12.9cm | 岩手県立美術館 | i ii iii |
| 1-68 | 萬鉄五郎 | 女と太陽 | 1913年頃 | 紙、木版 | 24.2x33.2cm | 岩手県立美術館 | i ii iii |
| 1-71 | 富本憲吉 | 涅槃図 | 1912年 | 紙、木版 | 35.7x47.4cm | 宮城県美術館 | i |
| 1-72 | 富本憲吉 | 『卓上』1号 | 1914年 | 紙、木版 | 18.5x16.0cm | 千葉市美術館 | i Δ |
| 1-73 | 富本憲吉 | 『卓上』2号 | 1914年 | 紙、木版 | 18.5x16.0cm | 千葉市美術館 | Δ |
| 1-74 | 富本憲吉 | 『卓上』3号 | 1914年 | 紙、木版 | 18.5x16.0cm | 千葉市美術館 | ii |
| 1-75 | 富本憲吉 | 『卓上』4号 | 1914年 | 紙、木版 | 18.5x16.0cm | 千葉市美術館 | i Δ iii |
| 1-76 | 富本憲吉 | タゴール著（増野三良訳）『幼児詩集 新月』東雲堂書店 | 1915年 | 紙、凸版 | 19.5x14.8cm | 山鬼文庫 | i ii iii |
| 1-77 | バーナード・リーチ | バーナード・リーチ著『A Review 回顧』私家版 | 1914年 | 紙、 | 22.5x15.5cm | 兵庫陶芸美術館 | i ii iii |
| 1-78 | バーナード・リーチ | 丘に吹く風（軽井沢、烈風） | 1919年頃 | 紙、エッチング | 14.9x20.0cm | 千葉市美術館 | i |
| 1-79 | バーナード・リーチ | 柳宗悦編『リーチAn English Artist in Japan』田中松太郎 | 1920年 | 紙、コロタイプ、石版 | 22.1x15.4cm | 山鬼文庫 | i ii iii |
| 1-80 | 河合卯之助 | 『伊羅保』清文堂印刷所、柳屋書店 | 1916年 | 紙、凸版 | 36.9x25.3cm | 町田市立国際版画美術館、個人蔵 | i ii iii |
| 1-82 | 河合卯之助 | 双禽〔『河合卯之助陶画集』4〕 | 1926年 | 紙、石版 | 23.2x22.5cm | 町田市立国際版画美術館 | i ii iii |
| 1-84 | 河合卯之助 | 青木の花々瓶〔『河合卯之助陶画集』20〕 | 1926年 | 紙、石版 | 24.9x18.2cm | 町田市立国際版画美術館 | i ii iii |
| 1-87 | 永瀬義郎 | 憂愁〔『仮面』3巻12号より〕 | 1914年 | 紙、木版 | 22.3x16.0cm | 千葉市美術館 | i ii |
| 1-88 | 永瀬義郎 | 春〔『仮面』4巻5号より〕 | 1914年 | 紙、木版 | 22.3x15.2cm | 千葉市美術館 | i |
| 1-89 | 恩地孝四郎 | 裸形のくるしみⅡ〔私輯『月映』Ⅴより（推定）〕 | 1914年頃 | 紙、木版 | 20.0x8.0cm | 千葉市美術館 | i |
| 1-90 | 恩地孝四郎 | 失題 | 1915年 | 紙、木版 | 23.8x11.0cm | 千葉市美術館 | ii |
| 1-91 | 恩地孝四郎 | 失題 | 1915年 | 紙、木版 | 23.3x11.6cm | 千葉市美術館 | iii |
| 1-92 | 岸田劉生 | 「天地創造」より 1.欲望 | 1914年（後刷） | 紙、エッチング | 12.7x12.7cm | 兵庫県立美術館 | i ii iii |
| 1-93 | 岸田劉生 | 「天地創造」より 2.怒れるアダム | 1914年（後刷） | 紙、エッチング | 12.6x12.6cm | 兵庫県立美術館 | i ii iii |
| 1-94 | 岸田劉生 | 「天地創造」より 3.石を噛む人 | 1914年（後刷） | 紙、エッチング | 12.7x12.9cm | 兵庫県立美術館 | i ii iii |
| 1-96 | 長谷川潔 | 女と太陽〔『仮面』3巻5号裏絵〕 | 1914年 | 紙、木版 | 22.3x15.2cm | 千葉市美術館 | i Δ |
| 1-97 | 長谷川潔 | 金色に躍れる男〔『仮面』4巻4号の表紙のための木版画〕 | 1915年 | 紙、木版 | 15.1x11.6cm | 京都国立近代美術館 | Δ iii |
| 1-99 | 藤森静雄 | わがかげ〔公刊『月映』Ⅱより〕 | 1914年 | 紙、木版 | 11.3x13.4cm | 愛知県美術館 | i ii iii |
| 1-100 | 藤森静雄 | 亡びゆく肉〔公刊『月映』Ⅳより〕 | 1915年 | 紙、木版 | 19.4x13.5cm | 愛知県美術館 | i ii iii |
| 1-102 | 田中恭吉 | 去勢者と緋罌粟〔公刊『月映』Ⅲより〕 | 1914年 | 紙、木版 | 18.6x14.0cm | 愛知県美術館 | i ii iii |
| 1-104 | 田中恭吉 | あをそら〔公刊『月映』Ⅴより〕 | 1914年 | 紙、木版 | 15.6x9.7cm | 愛知県美術館 | i ii iii |
| 1-105 | 田中恭吉 | 生ふるもの去るもの | 1914年 | 紙、木版 | 16.7x15.9cm | 千葉市美術館 | i |
| 1-106 | 恩地孝四郎、田中恭吉 | 萩原朔太郎『月に吠える』感情詩社・白日社 | 1917年 | 紙、凸版 | 20.1x13.7cm | 千葉市美術館 | i ii iii |
| 1-107 | 濱田庄司 | 『浅草文庫』34号表紙 東京高等工業学校文芸部 | 1915年 | 紙、木版 | | 個人蔵 | i ii iii |
| 1-111 | 富本憲吉 | 葡萄模様タイル | 1917年 | 陶板 | 15.2x15.2cm | 文化学院 | i ii iii |
| 1-112 | バーナード・リーチ | 生命の樹 | 1928年 | 陶板 | 67.7x67.4cm | 京都国立近代美術館 | i ii iii |
| 1-113 | 今和次郎 | 工芸各種図案（12） | 1912年 | 紙本着色 | 19.0x55.0cm | 東京藝術大学大学美術館 | Δ iii |
| 1-114 | 今和次郎 | 工芸各種図案（18） | 1912年 | 紙本着色 | 107.0x59.0cm | 東京藝術大学大学美術館 | i Δ |
| 1-129 | 廣川松五郎 | 吉井勇『生霊』日本評論社 | 1921年 | 紙、凸版 | 19.5x13.5cm | 山鬼文庫 | i ii iii |
| 1-115 | 濱田庄司 | ガレナ釉彫絵蓋壺 | 1922-23年頃 | 陶器 | 18.0x15.0cm | （財）益子参考館 | i ii iii |
| 1-116 | 松田権六 | 獅子蒔絵香盒 | 1916年 | 漆、蒔絵 | 2.2x6.6cm | 東京国立近代美術館 | i ii iii |
| 1-117 | 飛田朝次郎 | 獅子 | 1922年 | 木 | 36.7cm | 東京藝術大学大学美術館 | i ii iii |
| 1-118 | 平櫛田中 | 樹に寄りて | 1914年 | 木 | 98.5cm | 東京国立博物館 | i ii iii |

| | | | | | | | |
|-------|-------|---------------|---------|----------------|-------------|-------------------------------|----------|
| 1-120 | 佐藤朝山 | 聖徳太子像 | 1919年 | 木、彩色 | 63.0x33.0cm | 東京国立博物館 | i ii iii |
| 1-121 | 竹田梅亭 | 題不詳(影) | 制作年不詳 | プロムオイル印画 | 14.4x19.6cm | 名古屋市美術館 | ii iii |
| 1-122 | 淵上白陽 | リズム(一) | 1923年 | モダンプリント (2009) | 15.6x20.0cm | 写真画集『白陽』第2巻 第5号掲載(名古屋市美術館) | i |
| 1-123 | 淵上白陽 | 震災前の東都 | 1924年 | モダンプリント (2009) | 12.7x19.1cm | 写真画集『白陽』第3巻 第1号掲載(名古屋市美術館) | i |
| 1-124 | 淵上白陽 | コンストラクション | 1925年 | コロタイプ印刷 | 12.4x20.0cm | 写真画集『白陽』第4巻 第6号掲載(名古屋市美術館) | ii iii |
| 1-125 | 本田仙花 | 陰鬱なる風景 | 1925年 | ゼラチンシルバープリント | 10.1x15.9cm | 福島県立美術館 | ii iii |
| 1-126 | 梅阪鶯里 | 夜の温室 | 制作年不詳 | プロムオイル印画 | 20.2x28.7cm | 横浜美術館 | i |
| 1-130 | 高野武郎 | 『牧神』7号 牧神会 | 1920年5月 | | 15.4cm | 山鬼文庫 | ii iii |
| 1-131 | 名園国三郎 | 薄田泣菫『艸木虫魚』創元社 | 1928年 | 紙、凸版 | 13.4cm | 山鬼文庫 | i ii iii |

第2章：表現Ⅱ—影響と呼応

| | | | | | | | |
|------|-------------------------|-------------------------|------------|----------|---------------|--------------------|----------|
| 2-1 | 西村伊作 | 抽象風習作[宇宙] | 1916年頃 | 紙、水彩 | 29.4x38.3cm | ルヴァン美術館 | i ii iii |
| 2-2 | 西村伊作 | 抽象風習作[波] | 1916年頃 | 紙、水彩 | 18.9x29.0cm | ルヴァン美術館 | i ii iii |
| 2-3 | 西村伊作 | 抽象風習作[花] | 制作年不詳 | 紙、水彩 | 19.0x29.5cm | ルヴァン美術館 | i ii iii |
| 2-4 | 西村伊作 | 抽象風習作[動き] | 制作年不詳 | 紙、水彩 | 28.7x37.8cm | ルヴァン美術館 | i ii iii |
| 2-6 | 萬鉄五郎 | 雲のある自画像 | 1912-13年 | カンヴァス、油彩 | 59.5x45.5cm | 岩手県立美術館 | i ii iii |
| 2-7 | 萬鉄五郎 | 風船をもつ女 | 1912-13年 | カンヴァス、油彩 | 72.4x52.9cm | 岩手県立美術館 | i ii iii |
| 2-8 | 萬鉄五郎 | 無題 | 1912-13年 | カンヴァス、油彩 | 24.5x32.8cm | 岩手県立美術館 | i ii iii |
| 2-10 | 萬鉄五郎 | ガス灯 | 1913年 | カンヴァス、油彩 | 33.2x24.5cm | 横須賀美術館 | i ii iii |
| 2-11 | 萬鉄五郎 | かなきり声の風景 | 1918年 | カンヴァス、油彩 | 50.5x61.0cm | 山形美術館寄託 | i ii iii |
| 2-12 | 萬鉄五郎 | 丘のみち | 1918年 | カンヴァス、油彩 | 40.6x45.9cm | 萬鉄五郎記念美術館 | i ii iii |
| 2-13 | 萬鉄五郎 | 木の間から見下した町 | 1918年 | カンヴァス、油彩 | 60.8x80.8cm | 岩手県立美術館 | i ii iii |
| 2-14 | 普門暁 | 鹿・光 | 1919年 | カンヴァス、油彩 | 33.2x45.6cm | 京都国立近代美術館 | i ii iii |
| 2-16 | 東郷青児 | 自画像 | 1914年 | 板、油彩 | 32.8x23.6cm | 損保ジャパン東郷青児美術館 | i ii iii |
| 2-17 | 東郷青児 | コントラバスを弾く | 1915年 | カンヴァス、油彩 | 153x75.4cm | 損保ジャパン東郷青児美術館 | i ii iii |
| 2-18 | 神原泰 | 生命の流動 音楽的創造(シンフォニー第35番) | 1919年頃 | カンヴァス、油彩 | 116.7x90.9cm | 東京都現代美術館 | i ii iii |
| 2-19 | 神原泰 | この苦しみにわれはいのちをかけた | 1922年 | カンヴァス、油彩 | 162.3x130.5cm | 宇都宮美術館 | i ii iii |
| 2-21 | 神原泰 | あるベシミストの手記(1) 5点のうち | 1923年 | カンヴァス、油彩 | 60.0x50.0cm | 宮城県美術館 | i ii iii |
| 2-22 | 神原泰 | あるベシミストの手記(1) 5点のうち | 1923年 | カンヴァス、油彩 | 60.0x50.0cm | 宮城県美術館 | i ii iii |
| 2-23 | 神原泰 | あるベシミストの手記(1) 5点のうち | 1923年 | カンヴァス、油彩 | 60.0x50.0cm | 宮城県美術館 | i ii iii |
| 2-26 | 柳瀬正夢 | [川と橋] | 1921年 | 板、油彩 | 24.0x33.0cm | 愛媛県美術館 | i ii iii |
| 2-27 | 柳瀬正夢 | [崖と草] | 1921年頃 | 板、油彩 | 24.0x33.0cm | 愛媛県美術館 | i ii iii |
| 2-30 | 柳瀬正夢 | 底の復報 | 1922年 | 板、油彩 | 23.7x23.7cm | 愛媛県美術館 | i ii iii |
| 2-33 | 村山知義 | 父の肖像 | 1922年 | 厚紙、油彩 | 26.0x31.0cm | 神奈川県立近代美術館 | i ii iii |
| 2-34 | 小川芋銭 | 寒根固生意 | 1924年 | 絹本彩色 | 125.5x49.0cm | 個人蔵 | ii |
| 2-35 | 小川芋銭 | 蘆花浅水 | 1924年 | 紙本彩色 | 63.0x112.0cm | 個人蔵 | iii |
| 2-36 | 尾竹竹坡 | 月の潤い、太陽の熱、星の冷たさ | 1920年頃 | 絹本着色 | | 宮城県美術館 | i Δ |
| 2-38 | 今村紫菴 | 熱国之巻(小下絵) | 1914年 | 紙本着色 | 18.2x924.2cm | 横浜美術館 | i |
| 2-39 | 小杉放菴 | 耶馬溪図 | 1922年 | 絹本墨画 | 63.0x70.5cm | 栃木県立美術館 | ii |
| 2-40 | 萬鉄五郎 | 構図 | 1915年頃 | 紙本墨画 | 25.2x27.6cm | 岩手県立美術館 | i ii iii |
| 2-41 | 平井樸仙 | 雪山之月 | 1912年 | 絹本着色 | 110.7x30.9cm | 株式会社 星野画廊 | ii iii |
| 2-42 | 石川寒巖 | 松林図 | 1924年 | 絹本着色 | 101.5x146.5cm | 栃木県立美術館 | ii iii |
| 2-45 | 玉村方久斗(善之助) | 風景四題—残照 | 1926年頃 | 紙本着色 | 71.7x87.0cm | 京都国立近代美術館 | i ii iii |
| 2-47 | 玉村方久斗(善之助) | 風景四題—連山 | 1926年頃 | 紙本着色 | 71.7x87.0cm | 京都国立近代美術館 | i ii iii |
| 2-48 | 岡本神草 | アダムとイブ | 大正期 | 紙本彩色 | 47.8x92.5cm | 兵庫県立美術館 | i ii iii |
| 2-49 | | 『シュトゥルム(嵐)』第73号 | 1911年 | 紙、 | 37.5x30.3cm | 日本近代音楽館 | i ii iii |
| 2-50 | | 『シュトゥルム(嵐)』第93号 | 1912年 | 紙、 | 49.6x32.2cm | 日本近代音楽館 | i ii iii |
| 2-52 | ヴァシリー・カンディンスキー | 詩版画集『響き』 | 1907-1913年 | 紙、木版 | 28.5x28.5cm | 兵庫県立美術館 | i ii iii |
| 2-54 | ヴァシリー・カンディンスキー、フランツ・マルク | 『青騎士』第2版(表紙) | 1914年 | 紙、凸版、石版 | 28.7x22.0cm | 神奈川県立近代美術館 仲田文庫 | i ii iii |
| 2-57 | フランツ・マルク | 水を飲む馬 | 1912年 | 紙、木版 | 22.2x8.3cm | 神奈川県立近代美術館 | i ii iii |
| 2-58 | フランツ・マルク | 馬たちの誕生 | 1912年 | 紙、木版 | 21.6x14.5cm | 神奈川県立近代美術館 | i ii iii |
| 2-59 | フランツ・マルク | 蜥蜴 | 1912年 | 紙、木版 | 8.4x8.6cm | 神奈川県立近代美術館 | i ii iii |
| 2-60 | マックス・ペヒシュタイン | 祭日の焼き肉を射る | 1911年 | 紙、木版、手彩色 | 24.1x29.5cm | 愛媛県美術館 | i Δ |
| 2-61 | マックス・ペヒシュタイン | 水浴する人々 | 1912年 | 紙、木版、手彩色 | 20.5x23.5cm | 愛媛県美術館 | Δ iii |
| 2-62 | フリードリヒ・ローゼンクランツ | オリジナル木版画(風景) | 1912年 | 紙、木版、手彩色 | 20.2x26.3cm | 東京藝術大学大学美術館 | i ii iii |
| 2-63 | | 『新美術年鑑 1921年』(表紙) | 1921年 | 紙、凸版、石版 | 27.5x21.5cm | 神奈川県立近代美術館 仲田文庫 | i ii iii |
| 2-68 | | 『新美術年鑑 1922年』(表紙) | 1922年 | 紙、凸版、石版 | 27.5x21.5cm | 神奈川県立近代美術館 仲田文庫 | ii iii |
| 2-70 | ヴィルヘルム・コールホーフ | 騎手 『新美術年鑑 1922年』より | 1923年 | 紙、石版 | | 神奈川県立近代美術館 仲田文庫 | i |
| 2-73 | 織田一磨 | 感覚 | 1920年 | 紙、石版 | 21.6x31.6cm | 個人蔵 | i ii iii |
| 2-74 | 織田一磨 | 自画像 | 1921年 | 紙、石版 | 26.5x28.0cm | 個人蔵 | i ii iii |
| 2-75 | 斎藤佳三 | 「DER STURM木版画展覧会」入場券 2件 | 1914年 | 紙、 | 10.5x6.1cm | 東京藝術大学大学美術館 | i ii iii |

| | | | | | | | |
|-------|------------|----------------------------|----------------|--------------|-----------------|---------------------------|----------|
| 2-76 | 斎藤佳三 | 「DER STURM」木版画展覧会」目録 2件 | 1914年 | 紙、 | 18. 8x12. 8cm | 東京藝術大学大学美術館 | i ii iii |
| 2-77 | 恩地孝四郎 | 抒情IV伴病めり〔公刊『月映』Iより〕 | 1914年 | 紙、木版 | 17. 7x11. 9cm | 愛知県美術館 | i ii iii |
| 2-78 | 恩地孝四郎 | 抒情 あかるい時〔公刊『月映』Vより〕 | 1915年 | 紙、木版 | 13. 6x9. 8cm | 愛知県美術館 | i ii iii |
| 2-80 | 恩地孝四郎 | 抒情 いとなみ祝福せらる〔公刊『月映』VIより〕 | 1915年 | 紙、木版 | 13. 8x10. 0cm | 愛知県美術館 | i ii iii |
| 2-82 | 恩地孝四郎 | 抒情 慈に泪す〔公刊『月映』VIより〕 | 1915年 | 紙、木版 | 14. 0x9. 4cm | 愛知県美術館 | i ii iii |
| 2-84 | 恩地孝四郎 | 抒情 真実ひとり輝きめぐる〔公刊『月映』VIより〕 | 1915年 | 紙、木版 | 15. 9x11. 5cm | 愛知県美術館 | i ii iii |
| 2-86 | 恩地孝四郎 | 山田耕作著『音楽の法悦境』アイデア書院 | 1924年 | 紙、凸版 | 19. 1x13. 5cm | 山鬼文庫 | ii iii |
| 2-87 | 長谷川潔 | ダンスA | 1915年 | 紙、木版 | 33. 0x23. 0cm | 京都国立近代美術館 | i Δ |
| 2-88 | 長谷川潔 | ダンスB | 1915年 | 紙、木版 | 33. 0x23. 4cm | 京都国立近代美術館 | Δ iii |
| 2-89 | 長谷川潔 | 風（イエーツの詩に寄す） | 1915年 | 紙、木版 | 37. 2x26. 4cm | 京都国立近代美術館 | i Δ |
| 2-90 | 長谷川潔 | 牧神の午後（ステファン・マラルメの牧歌） | 1916年 | 紙、木版 | 21. 5x18. 3cm | 京都国立近代美術館 | Δ iii |
| 2-91 | 長谷川潔 | 日夏耿之介詩集『転身の頌』より（挿絵） | 1917年 | 紙、木版（本：紙、凸版） | 21. 3x20. 5cm | うらわ美術館 | i ii iii |
| 2-92 | 玉村方久斗（善之助） | 『エポック』第1号 | 1922年 | 紙、凸版 | 23. 2x16. 0cm | うらわ美術館 | i ii iii |
| 2-93 | 玉村方久斗（善之助） | 『エポック』第2号 | 1922年 | 紙、凸版 | 24. 2x16. 3cm | うらわ美術館 | i ii iii |
| 2-94 | 玉村方久斗（善之助） | 『エポック』第3号 | 1922年 | 紙、凸版 | 24. 4x16. 3cm | うらわ美術館 | i ii iii |
| 2-95 | 玉村方久斗（善之助） | 『エポック』第4号 | 1923年 | 紙、凸版 | 24. 3x16. 9cm | うらわ美術館 | i ii iii |
| 2-96 | 玉村方久斗（善之助） | 『エポック』第5号 | 1923年 | 紙、凸版 | 24. 1x16. 5cm | うらわ美術館 | i ii iii |
| 2-97 | 村山知義 | 『マヴォ』第1号 | 1924年 | 紙、リノカット他 | 31. 1x23. 0cm | 東京都現代美術館 | i ii iii |
| 2-98 | 村山知義 | 『マヴォ』第2号 | 1924年 | 紙、木版 | 14. 8x12. 0cm | 東京都現代美術館 | i ii iii |
| 2-99 | 村山知義 | 『マヴォ』第3号 | 1924年 | 紙、リノカット他 | 31. 0x23. 0cm | 京都国立近代美術館 | i |
| 2-100 | 村山知義 | 『マヴォ』第4号 | 1924年 | 紙、リノカット他 | 31. 0x23. 0cm | 東京都現代美術館 | i ii iii |
| 2-101 | 村山知義 | 『マヴォ』第5号 | 1925年 | 紙、リノカット他 | 45. 0x30. 8cm | 東京都現代美術館 | i ii iii |
| 2-102 | 村山知義 | 『マヴォ』第7号 | 1925年 | 紙、リノカット他 | 30. 1x22. 8cm | 東京都現代美術館 | i ii iii |
| 2-104 | 安藤良弘 | 植物図案 | 1925年 | 紙、水彩 | 60. 5x83. 3cm | 松戸市教育委員会 | i ii iii |
| 2-105 | 安藤良弘 | 皿図案 | 1925年 | 紙、水彩 | 72. 7x55. 0cm | 松戸市教育委員会 | i ii iii |
| 2-107 | 川浪和夫 | 草と実図案 | 1929年 | 紙、水彩 | 135. 4x66. 5cm | 松戸市教育委員会 | i ii iii |
| 2-110 | 森谷延雄 | 円形花台 | 1925年 | 楕 | 75. 0x31. 1cm | 松戸市教育委員会 | i ii iii |
| 2-111 | 森谷延雄 | 「朱の食堂」食卓子 | 1925年（2008年復元） | 復元 | 79. 2x108. 9cm | 松戸市教育委員会 | i ii iii |
| 2-112 | 森谷延雄 | 「朱の食堂」茶卓子 | 1925年（2008年復元） | 復元 | 71. 0x49. 5cm | 松戸市教育委員会 | i ii iii |
| 2-113 | 森谷延雄 | 「朱の食堂」肘掛け椅子 | 1925年（2008年復元） | 復元 | 91. 0x61. 0cm | 松戸市教育委員会 | i ii iii |
| 2-114 | 森谷延雄 | 『小さき室内美術』洪洋社 | 1926年 | 紙、凸版 | 31. 0x22. 2cm | 松戸市教育委員会 | i ii iii |
| 2-115 | 森谷延雄 | 洋風書見木具 | 1926年 | 木 | 71. 0x150. 0cm | 鎌田醤油 | i ii iii |
| 2-116 | 徳江重武 | 装飾模様図案（3枚） | 1921年 | 板、カンヴァス、油彩 | 164. 0x113. 7cm | 東京藝術大学大学美術館 | i ii iii |
| 2-117 | 内藤春治 | 伸びんとする心 納骨堂 | 1925年 | 鉄、鑄造 | 67. 1x66. 5cm | 東京藝術大学大学美術館 | i ii iii |
| 2-118 | 各務鋳三 | 飾皿《祈り》 | 1929年 | 宙吹き、グラヴュール | 26. 3x26. 3cm | 岐阜県美術館 | i ii iii |
| 2-119 | 長安右衛門 | 装飾文様（煩惱） | 1927年 | 木綿布、着色 | 212. 5x163. 0cm | 東京藝術大学大学美術館 | i ii iii |
| 2-120 | 大坪重周 | 装飾模様図案 | 1921年 | カンヴァス、油彩 | 90. 7x90. 7cm | 東京藝術大学大学美術館 | i ii iii |
| 2-121 | 富田稔 | 花瓶 | 1927年 | 銅、鍛造、銅象嵌、渡金 | 33. 1x19. 0cm | 東京藝術大学大学美術館 | i ii iii |
| 2-123 | 山脇洋二 | 煙草入れ | 1927年 | 真鍮 | 18. 0x18. 0cm | 高松市美術館 | i ii iii |
| 2-103 | | 『建築写真類聚 第五期・第四回 新時代の家具』洪洋社 | 1925年 | 紙、コロタイプ | 19. 1x13. 1cm | 松戸市教育委員会 | ii iii |
| 2-124 | 堀進二 | 壺を抱く女 | 1925年 | 石膏 | 79. 5x78. 5cm | 神奈川県立近代美術館 | i ii iii |
| 2-126 | 荻島安二 | 花柳はるみの像 | 1928-29年頃 | 石膏 | 20. 5x12. 5cm | 瀧田あゆちコレクション（名古屋美術館寄託） | i ii iii |
| 2-127 | 普門暎 | トルソ試作 | 1918年 | 石彫、彩色 | 25. 5cm | 奈良県立美術館 | ii iii |
| 2-128 | 普門暎 | 化粧 | 1918年 | 鉄 | 30. 5cm | 奈良県立美術館 | ii iii |
| 2-129 | 土方久功 | 細い顔 | | 石膏 | 34. 5x20. 0cm | 神奈川県立近代美術館 | i ii iii |
| 2-130 | 土方久功 | 宿命の歩み（A） | 1929-42年 | ブロンズ | 45. 7x32. 6cm | 高知県立美術館 | i ii iii |
| 2-177 | 伊達良雄 | 友のゐる銚子風景 | 1926年 | ゼラチンシルバープリント | 27. 6x23. 9cm | 個人蔵（名古屋美術館寄託） | i |
| 2-131 | 伊藤良三 | 私のゐる風景 | 1932年 | コロタイプ印刷 | 10. 3x13. 8cm | 日本光画協会『画集』第22輯（個人蔵） | ii iii |
| 2-132 | 大野蘇風 | 登山者 | 1930年 | コロタイプ印刷 | 11. 4x9. 6cm | 日本光画協会『画集』第10輯（個人蔵） | i |
| 2-137 | 平尾銈爾 | 風景 | 1925年 | コロタイプ印刷 | 13. 6x18. 2cm | 写真画集『白陽』第4巻第9号掲載（名古屋美術館蔵） | i |
| 2-138 | 平尾銈爾 | 布良風景其の三 | 1926年 | コロタイプ印刷 | 19. 4x14. 3cm | 写真画集『白陽』第5巻第6号掲載（名古屋美術館蔵） | i |
| 2-139 | 平尾銈爾 | 布良風景其の二 | 1926年 | コロタイプ印刷 | 13. 3x17. 6cm | 写真画集『白陽』第5巻第5号掲載（名古屋美術館蔵） | ii iii |
| 2-170 | 眞継不二夫 | 常滑風景 | 1930年 | コロタイプ印刷 | 10. 8x10. 5cm | 日本光画協会『画集』第12輯（個人蔵） | ii iii |
| 2-133 | 淵上白陽 | Zの像 | 1926年 | コロタイプ印刷 | 16. 3x14. 1cm | 写真画集『白陽』第5巻第5号掲載（名古屋美術館蔵） | ii iii |
| 2-134 | 淵上白陽 | 円と人体の構成 | 1926年 | コロタイプ印刷 | 15. 4x15. 3cm | 写真画集『白陽』第5巻第6号掲載（名古屋美術館蔵） | i |

| | | | | | | | |
|-------|-------|---------------|-----------|--------------|-------------|----------------------------|--------|
| 2-135 | 淵上白陽 | 収穫之図 | 1927年 | ゼラチンシルバープリント | 29.0x24.5cm | 東京都写真美術館 | i |
| 2-136 | 淵上白陽 | 耕作 | 1928年 | ゼラチンシルバープリント | 27.8x26.3cm | 名古屋市美術館 | ii iii |
| 2-140 | 山本牧彦 | 海湾 | 1926年 | ゼラチンシルバープリント | 12.8x20.8cm | 横浜美術館 | ii iii |
| 2-141 | 山本牧彦 | 画家たち（Tの会場にて） | 1927年 | ゼラチンシルバープリント | 19.3x15.3cm | 横浜美術館 | ii iii |
| 2-142 | 山本牧彦 | 神父の散歩 | 1927年 | ゼラチンシルバープリント | 27.7x22.9cm | 横浜美術館 | i |
| 2-143 | 山本牧彦 | 薔薇 | 1928年 | ゼラチンシルバープリント | 28.2x25.2cm | 横浜美術館 | ii iii |
| 2-144 | 山本牧彦 | 風景（虫とり） | 1928年 | ゼラチンシルバープリント | 23.5x28.6cm | 横浜美術館 | i |
| 2-145 | 高山正隆 | 楽器を持つ女 [寄託] | 1924年 | ゼラチンシルバープリント | 19.1x18.9cm | 個人蔵（東京都写真美術館寄託） | ii iii |
| 2-146 | 高山正隆 | 静物 [寄託] | 1925年 | ゼラチンシルバープリント | 19.7x17.1cm | 個人蔵（東京都写真美術館寄託） | i |
| 2-147 | 高山正隆 | 二人の女 | 1928年 | コロタイプ印刷 | 13.7x9.9cm | 日本光画協会『画集』第1輯（個人蔵） | i |
| 2-148 | 高山正隆 | 風景 [寄託] | 1930年 | ゼラチンシルバープリント | 29.5x23.7cm | 個人蔵（東京都写真美術館寄託） | ii iii |
| 2-149 | 高山正隆 | 海と船 [寄託] | 制作年不詳 | ゼラチンシルバープリント | 19.0x18.2cm | 個人蔵（東京都写真美術館寄託） | i |
| 2-150 | 佐藤信 | 都会 | 1928年 | ゼラチンシルバープリント | 19.8x19.8cm | 福島県立美術館 | i |
| 2-151 | 椿本金三郎 | 白い犬 | 1928年 | ゼラチンシルバープリント | 28.1x21.6cm | 福島県立美術館 | i |
| 2-152 | 渡邊淳 | 水浴 | 1925年 | ゼラチンシルバープリント | 14.9x22.3cm | 財団法人日本カメラ財団 | i |
| 2-153 | 渡邊淳 | 冬 | 1926年 | ゼラチンシルバープリント | 17.4x17.8cm | 財団法人日本カメラ財団 | i |
| 2-154 | 渡邊淳 | 三人乃少女 | 制作年不詳 | ゼラチンシルバープリント | 9.3x16.1cm | 財団法人日本カメラ財団 | ii iii |
| 2-155 | 高田皆義 | 静物 | 1926年 | コロタイプ印刷 | 13.2x16.9cm | 写真画集『白陽』第5巻第5号掲載（名古屋市美術館蔵） | ii iii |
| 2-156 | 西亀久二 | 幻想 | 1925年 | コロタイプ印刷 | 16.8x12.9cm | 写真画集『白陽』第4巻第9号掲載（名古屋市美術館蔵） | i |
| 2-157 | 西亀久二 | どよめく空気 | 1926年 | コロタイプ印刷 | 15.3x15.3cm | 写真画集『白陽』第5巻第3号掲載（名古屋市美術館蔵） | ii iii |
| 2-158 | 西亀久二 | 二人の男 | 1926年 | コロタイプ印刷 | 14.3x13.9cm | 写真画集『白陽』第5巻第5号掲載（名古屋市美術館蔵） | i |
| 2-159 | 津坂淳 | ブリッチ | 1926年 | コロタイプ印刷 | 18.8x14.4cm | 写真画集『白陽』第5巻第6号掲載（名古屋市美術館蔵） | i |
| 2-160 | 津坂淳 | 風景 | 1928年 | コロタイプ印刷 | 12.3x9.8cm | 日本光画協会『画集』第1輯（個人蔵） | ii iii |
| 2-161 | 津坂淳 | 高田皆義氏 | 1929年 | コロタイプ印刷 | 10.2x12.9cm | 日本光画協会『画集』第9輯（個人蔵） | i |
| 2-162 | 高尾義朗 | リンゴを持てる女 | 1927年 | ゼラチンシルバープリント | 26.7x23.7cm | 名古屋市美術館 | i |
| 2-163 | 高尾義朗 | 花柳はるみの像 | 1927年 | ゼラチンシルバープリント | 26.4x21.8cm | 瀧田あゆちコレクション（名古屋市美術館寄託） | ii iii |
| 2-164 | 高尾義朗 | 雪日印象 | 1927年 | ゼラチンシルバープリント | 22.5x22.2cm | 名古屋市美術館 | i |
| 2-165 | 高尾義朗 | 男 | 1927-28年頃 | ゼラチンシルバープリント | 17.5x14.1cm | 個人蔵（名古屋市美術館寄託） | ii iii |
| 2-166 | 高尾義朗 | 題不詳（人物と風景の印象） | 1927-30年頃 | ゼラチンシルバープリント | 28.7x22.4cm | 個人蔵（名古屋市美術館寄託） | ii iii |
| 2-167 | 高尾義朗 | 田端印象 | 1928年頃 | ゼラチンシルバープリント | 16.9x22.3cm | 個人蔵（名古屋市美術館寄託） | i |
| 2-168 | 高尾義朗 | クラレットとG.M.氏の像 | 1929年 | ゼラチンシルバープリント | 27.1x19.6cm | 個人蔵（名古屋市美術館寄託） | i |
| 2-169 | 高尾義朗 | 厳冬風景 | 1929年 | ゼラチンシルバープリント | 32.6x29.0cm | 名古屋市美術館 | ii iii |
| 2-171 | 松尾才五郎 | 研究 | 1926年 | コロタイプ印刷 | 12.9x17.8cm | 写真画集『白陽』第5巻第6号掲載（名古屋市美術館蔵） | i |
| 2-172 | 松尾才五郎 | 二人の子供 | 1926年 | コロタイプ印刷 | 17.7x15.2cm | 写真画集『白陽』第5巻第7号掲載（名古屋市美術館蔵） | ii iii |
| 2-173 | 田村榮 | 人物と風景の印象 | 1927-30年頃 | ゼラチンシルバープリント | 21.6x23.6cm | 個人蔵（名古屋市美術館寄託） | ii iii |
| 2-174 | 田村榮 | 人形と花柳はるみ | 1928年 | ゼラチンシルバープリント | 25.2x23.1cm | 個人蔵（名古屋市美術館寄託） | i |
| 2-175 | 田村榮 | 白い花 | 1931年 | ゼラチンシルバープリント | 26.3x21.3cm | ペンタックスカメラ博物館 | ii iii |
| 2-176 | 田村榮 | 髪すく女 | 1931年 | ゼラチンシルバープリント | 23.4x21.9cm | ペンタックスカメラ博物館 | i |
| 2-178 | 小関庄太郎 | 憩い | 1926年 | ゼラチンシルバープリント | 24.3x29.9cm | 個人蔵（福島県立美術館寄託） | i |
| 2-179 | 小関庄太郎 | 一人歩む | 1929年 | ゼラチンシルバープリント | 16.9x19.5cm | 福島県立美術館 | ii iii |
| 2-180 | 小関庄太郎 | 堤の上の散歩 | 1930年 | ゼラチンシルバープリント | 14.7x20.8cm | 福島県立美術館 | ii iii |
| 2-181 | 小関庄太郎 | 夢の汽車 | 1930年代初 | ゼラチンシルバープリント | 24.4x30.1cm | 個人蔵（福島県立美術館寄託） | ii iii |

絵画と写真の交差—印象派誕生の軌跡—

The Intersection of Paintings and Photographs

会期:2009年10月24日(土)-12月20日(日)

会場:企画展示室 1・2

主催

名古屋市美術館、中京テレビ放送、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛

ライオン、清水建設、大日本印刷

後援

愛知県・岐阜県・三重県各教育委員会

協力

名古屋市交通局

観覧料

一般 1,200 円、高大生 800 円、小中生 500 円

内容

写真の誕生から170年を記念して開催されたこの展覧会は、タルボットやダゲールといった写真草創期の作家たちによる作品に始まり、バルビゾン派や印象派に多大な影響を与えた写真、逆に絵画から影響を受けたピクトリアリズムの写真、そして、写真の独自性を追究しながら展開してきた現代の写真に至るまで、写真芸術の流れを辿ることにより、その多様性や広がりを感じ取っていただけるように構成した。

それとともに、写真草創期と同じ頃に描かれた絵画に始まり、バルビゾン派や印象派を経て現代に至るまでの絵画の歴史を概観しながら、印象派の誕生にあたって写真が果たした大きな役割を浮き彫りにすることを試みた。マネやモネ、ドガといった画家たちは時間の流れの中で変転する風景の煌きや人々の一瞬の表情を捉えた輝かしい作品を残した。こうした印象派の巨匠たちが生まれるにあたって写真が大きく関わっていたことを認識していただけるような展示とした。

絵画と写真という二つの芸術は、ときに寄り添い、ときに反発しながら歩んで来た。二つの芸術の歩みを辿りながら、それらがどのように係わり合い、どのようにインスピレーションを与え合うことによって、それぞれの芸術を深化させていったかを、この展覧会を通して検証した。

図録

28.6×23.0cm 344頁

編集：五木田聡（東京富士美術館）、森山朋絵（東京都現代美術館）、鎌田亨（北海道立帯広美術館）、岩崎直人（札幌芸術の森美術館）、渡辺純子（ひろしま美術館）、細萱禮子（松本市美術館）、武藤美紀（松本市美術館）、竹葉丈（名古屋市美術館）、原沢暁子（名古屋市美術館）

発行：美術館連絡協議会

関連事業

記念講演会

10月25日（日）14:00-

講師：三浦篤（東京大学教授）



会場風景



図録



A4 ちらし



三浦篤氏講演会

演題：「写真から絵画か？ 絵画から写真か？ -印象派をめぐる視覚メディアの交錯-」

11月1日(日) 14:00-

講師：杉本博司(現代美術家)

演題：「アートの起源」

11月28日(土) 14:00-

講師：五木田聡(東京富士美術館副館長)

演題：「印象派 視覚の革命-写真との蜜月時代」



五木田聡氏講演会

作品解説会

11月15日(日) 14:00-

講師：原沢暁子(学芸員)

*いずれも会場は講堂



杉本博司氏講演会

出品作品

展示期間 i：前期のみ(10月24日-11月23日) ii：後期のみ(11月25日-12月20日)

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | 所蔵 | 展示期間 |
|----------------------|---------------------------|--------------------------------------|----------|----------------|---------|------|
| P2-4 | ピアンキ工房製(フランス) | ピアンキ・ダゲレオタイプ・カメラ | 1839年 | 木製 | 東京富士美術館 | |
| 第1章 遠近法500年の扉 | | | | | | |
| I-2 | アンソニー・ヴァン・ダイク | アマリア・フォン・ソルムス=ブラウンフェルズの肖像 | 1629年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 | |
| I-3 | アンソニー・ヴァン・ダイクに帰属 | ドーセット伯爵4世エドワード・サックヴィルの肖像 | 1638-41年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 | |
| I-4 | ピーテル・ブリュッゲル(子) | 農民の結婚式 | 1630年 | 油彩、板 | 東京富士美術館 | |
| I-6 | カナレット(ジョヴァンニ・アントーニオ・カナール) | ローマ、ナヴォーナ広場 | 18世紀 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 | |
| I-7 | カナレット(ジョヴァンニ・アントーニオ・カナール) | ローマ、クイリナーレ宮殿広場 | 18世紀 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 | |
| I-9 | ユベール・ロベール | スフィンクス橋の眺め | 1767年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 | |
| P1-1 | ジョージ・アダムス | ピラミッド型カメラ・オブスキュラ | 1765年頃 | 木製 | 東京富士美術館 | |
| P1-2 | オーストリア製 | 携帯型レフレックス・カメラ・オブスキュラ | 17世紀 | 木製 | 東京富士美術館 | |
| P1-3 | ダニエル・シュベンダー | サイオプティック・ボール | 18世紀 | 木製加工 | 東京富士美術館 | |
| P1-4 | ジョーンズ | レフレックス・カメラ・オブスキュラ | 1790年頃 | 木製 | 東京富士美術館 | |
| P1-5 | F. ベッカリー | 素描器(カメラ・ルシーダ)木製 | 1830年頃 | 木製 | 東京富士美術館 | |
| P1-6 | ボーガート光学社製(フランス) | カメラ・ルシーダ(2レンズ型) | 1835年頃 | 金属製 | 東京富士美術館 | |
| P1-7 | ワトキン&ヒル社製(イギリス) | カメラ・ルシーダ(ワトキン社製) | 1835年頃 | 金属製 | 東京富士美術館 | |
| P1-8 | 製作者不詳 | カメラ・ルシーダ(一眼式) | 1835年頃 | 金属製 | 東京富士美術館 | |
| P1-9 | 製作者不詳 | カメラ・ルシーダ(2鏡・台座型) | 1835年頃 | 金属製 | 東京富士美術館 | |
| P1-10 | 作者不詳 | コモ湖(ルシーダによるスケッチ画) | 1835年頃 | 鉛筆 | 東京富士美術館 | |
| P1-11 | 作者不詳 | 鞆絵皿 | 1860年頃 | 陶磁 | 東京富士美術館 | |
| P1-12 | J.H. ダルメイヤー社製(イギリス) | ダルメイヤー・ステレオ・カメラ | 1900年頃 | 木製 | 東京富士美術館 | |
| P1-13 | パウエル ステレオ スコピック社製(イギリス) | 一眼式ステレオ・カメラ | 1858年 | 木製 | 東京富士美術館 | |
| P1-14 | イギリス製 | 螺鈿ステレオ・ビューアー | 1870年頃 | 木製、螺鈿装飾 | 東京富士美術館 | |
| P1-15 | キーストン・ヴュー社製(アメリカ) | ステレオ写真カード 『ダイヤモンドを採掘するアフリカの黒人労働者』 | 1870年頃 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 | |
| P1-16 | エドメ・ケネデー | フィジオノトラス(イエル氏) | 1808年頃 | ペン、手彩色 | 東京富士美術館 | |
| P1-17 | エドメ・ケネデー | フィジオノトラス(ケレンガル夫人) | 1808年頃 | ペン、手彩色 | 東京富士美術館 | |
| P1-18 | 作者不詳 | ランタン・マジック鑑賞スタイル | 1807年頃 | リトグラフ | 東京富士美術館 | i |
| P1-19 | D. ボッショ | ランタン・マジックの鑑賞 | 1807年頃 | リトグラフ | 東京富士美術館 | ii |
| P1-20 | ガラルニ | ランタン・マジックを背にする旅人 | 1810年頃 | リトグラフ | 東京富士美術館 | |
| P1-21 | 落合芳幾 | 『新編旭物語』(種彦述)写真術の画 | 1855年頃 | 木版 | 東京富士美術館 | |
| P1-22 | 落合芳幾 | 『久万那幾影』 | 1867年 | 木版/書籍(和綴本) | 東京富士美術館 | |
| P1-23 | 石川豊雅 | 『風流十二月(七月)』 | 1860年頃 | 木版 | 東京富士美術館 | i |
| P1-24 | 鈴木春信 | 『万鴛屋』(手持ち覗きからくりを見る図) | 1916年印刷 | 木版 | 東京富士美術館 | ii |
| P1-25 | G.B. デッラ・ポルタ | 『自然の魔術』 | 1558年 | 書籍 | 東京富士美術館 | |
| P1-26 | ルネ・デカルト | 『哲学原理』〈屈折光学〉の項 | 1637年 | 書籍 | 東京富士美術館 | |
| P1-27 | アルブレヒト・デュラー | 『ラ・ナチュール』パースペクティブ作画器 | 1878年 | 書籍 | 東京富士美術館 | |
| P1-28 | ジャン=フランソワ・ニスロン | 『奇妙な遠近法』 | 1638年 | 書籍 | 東京富士美術館 | |
| P1-29 | アタナシウス・キルヒャー | 『光と影の大きいなる術』(第2版) | 1671年 | 書籍 | 東京富士美術館 | |
| P1-30 | F. ガイドット | カメラ・オブスキュラ図解画 | 1751年頃 | エングレーヴィング | 東京富士美術館 | |
| P2-7 | 制作会社不詳 | アメリカン・ダゲレオタイプ・カメラ | 1845年頃 | 木製 | 東京富士美術館 | |
| P2-9 | 作者不詳 | 家族の肖像 | 1850年頃 | ダゲレオタイプ | 東京富士美術館 | i |
| P2-10 | 作者不詳 | 女性像 | 1850年頃 | ダゲレオタイプ、手彩色 | 東京富士美術館 | ii |

第2章 写真の誕生

| | | | | | |
|-------|--|-------------------------------|------------|------------------------|---------|
| P2-1 | ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット | 村の人々(ガラス面に煤を付け針先で線画) | 1834年 | フォトグラフィック・エングレーヴィング | 東京富士美術館 |
| P2-2 | ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット | アン皇女のレース(上部に(太陽光で1時間の露光)の記述) | 1834年夏 | フォトジェニック・ドロウイング | 東京富士美術館 |
| P2-3 | ルイ・ジャック・マンデ・ダゲール | ファイヤン派修道士の礼拝所 | 1818年 | エングレーヴィング | 東京富士美術館 |
| P2-11 | ジョセフ=フィリップ・シロー・ド・ブランジェールマン・イポリット・ルイ・フィゾー | 『聖母被昇天図』ダゲレオ写真よりプリント | 1841-1842年 | リトグラフ | 東京富士美術館 |
| P2-12 | ノエル=マリー=ベマル・ルルブール | セーヌ河越しに見たパリ市庁舎 | 1842年 | リトグラフ | 東京富士美術館 |
| P2-13 | イポリット・バヤール/アルフォンス・ルイ・ポトヴァン | 研究のための実験習作『農家の中庭』 | 1850年 | 塩化紙、ワックスド・プリント | 東京富士美術館 |
| P2-14 | J.C. ビュットル | ダゲレオタイプ写真からの彫版画(フレデリック氏) | 1855年頃 | ダゲレオタイプ写真からの彫版 | 東京富士美術館 |
| P2-15 | ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット | レイコック・アベイのガラス窓(モダン・プリント) | 1835年8月 | 塩化紙プリント | 東京富士美術館 |
| P2-16 | ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット | 牧草地より見たレイコック・アベイのシルエット(ネガタイプ) | 1840年 | カロタイプ(ペーパー・ネガ) | 東京富士美術館 |
| P2-17 | ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット | 楡の木・冬 | 1840年 | 塩化紙プリント | 東京富士美術館 |
| P2-18 | ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット | レイコック・アベイ中庭の2人の紳士 | 1842年 | 塩化紙プリント | 東京富士美術館 |
| P2-19 | ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット | レイコック・アベイで果物と花を売る人々 | 1845年 | 塩化紙プリント | 東京富士美術館 |
| P2-20 | ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット | 木を切る男たち | 1843年 | 塩化紙プリント | 東京富士美術館 |
| P2-21 | ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット | 中国の陶磁器 | 1844年 | 塩化紙プリント | 東京富士美術館 |
| P2-22 | ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット | レースC | 1845年 | 塩化紙プリント | 東京富士美術館 |
| P2-23 | ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット | タルボット夫人とカルバート・ジョーンズ | 1845年 | 塩化紙プリント | 東京富士美術館 |
| P2-24 | ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット | 英国艦スパーブ号の船員と航海士 | 1845年 | カロタイプ(ペーパー・ネガ)、塩化紙プリント | 東京富士美術館 |
| P2-25 | ウィリアム・ヘンリー・フォックス・タルボット | パリの町とセーヌ川の眺望 | 1860年 | フォトグラフィック・エングレーヴィング | 東京富士美術館 |
| P2-26 | アルフォンス・ウジェーヌ・ジュール・イティエ | エジプト、エデュフ寺院の正面外観 | 1845-46年 | ダゲレオタイプ | 東京富士美術館 |

第3章 第1部 印象派誕生前夜—19世紀視覚の転換

| | | | | | |
|---------|------------------------------|-------------------------|-----------|-------------------------|---------|
| 3-1-1 | ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー | 嵐の近づく海景 | 1803-04年頃 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 3-1-2 | ジャン=オーギュスト=ドミニク・アングル | ユピテルとテティス | 1807-25年頃 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 3-1-3 | ルイズ・アメリア・グランド・サン=トバン | 婦人の肖像 | 1828年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 3-1-5 | ウジェーヌ・ドラクロワ | オランのアラブ人 | 1834年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 3-1-6 | ジャン=フランソワ・ミレー | 男の肖像 | 1840-41年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 3-1-8 | ギュスターヴ・クールベ | 水平線上のスコール | 1872-73年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| P2-27 | フランシス・プリス | 第一宮殿の眺め メディネ・アブ | 1857-58年 | 鶏卵紙プリント(コロディオン湿板ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-1 | アルフォンス・ルイ・ポトヴァン | ランス大聖堂の正面七聖人像 | 1852年 | フォト・リトグラフ(ペーパー・ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-2 | ディヴィット・オクタヴィアス・ヒル&ロバート・アダムソン | 退位に関する署名法について議論する人々 | 1845年 | 塩化紙プリント(カロタイプ・ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-3 | ディヴィット・オクタヴィアス・ヒル&ロバート・アダムソン | ニューヘヴンの漁師たち | 1845年頃 | 塩化紙プリント(カロタイプ・ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-4 | ディヴィット・オクタヴィアス・ヒル&ロバート・アダムソン | 修道僧のW. レイトン・リーチ | 1844年頃 | 塩化紙プリント(カロタイプ・ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-5 | ディヴィット・オクタヴィアス・ヒル&ロバート・アダムソン | 家族の肖像 | 1844-45年頃 | フォトグラヴィユール(J.C. アナンによる) | 東京富士美術館 |
| P3-1-9 | レオン=ウジェーヌ=メーダン(伝) | 無題(クリミア戦争の砲艦) | 1855年 | 塩化紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-10 | M. ウォーノッド(伝) | 実験1)「海原を覆う雲」(印画露光時間の不足) | 1859年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-11 | M. ウォーノッド(伝) | 実験2)「海原を覆う雲」(習作プリント) | 1859年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-12 | M. ウォーノッド(推定) | ル・アーブル港の船舶 | 1859年頃 | 鶏卵紙プリント(コロディオン湿板ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-18 | ルイ=アドルフ・ウンペール・ド・モラル(推定) | 狩に向かう猟犬たち | 1850年頃 | 塩化紙プリント(ペーパー・ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-13 | マシュー・B. プラディ | 無題(ペンシルバニア砲兵隊) | 1862年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-14 | ルイス・モリス・ラザフォード | 無題(月のシリーズ) | 1865年 | 鶏卵紙プリント(コロディオン湿板ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-15 | イザック・A. レーン(推定) | シダの葉(アスプレニウム・ファビアナム) | 1860年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-16 | ジョージ・N. バーナード | テネシー州議事堂からのナッシュヴィルの眺め | 1863年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-17 | アレクサンダー・ヘスラー | アブラハム・リンカーンの肖像 | 1860年 | プラチナ・プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-19 | ルイ・カミール・ドリビエ | 風笛を持つ2人の少年 | 1854年 | 塩化紙プリント(ペーパー・ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-20 | オーギュスト・ザルツマン | 裁判所の門の円柱 | 1854年頃 | 塩化紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-21 | オーギュスト・ザルツマン | 血の煙、エルサレム | 1854年 | 塩化紙プリント(ペーパー・ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-22 | イポリット・バヤール | 椅子に座る老紳士 | 1858年頃 | 塩化紙プリント(ペーパー・ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-23 | ギュスターヴ・ル・グレイ | ル・グレイの使者 エジプト | 1862年頃 | 鶏卵紙プリント(ガラス・ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-24 | アントン・ハウトマン | 通りの物売り | 1860年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-25 | ギヨーム・デュシェンヌ・ド・ブローニュ | 機械的装置としての人間の顔の実験 | 1862年 | 鶏卵紙プリント(ガラス・ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-26 | アントワヌ=サミュエル・アダム=ザロモン | ロングドレスを着た婦人 | 1860年頃 | 鶏卵紙プリント(ガラス・ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-27 | アントワヌ=サミュエル・アダム=ザロモン | 高貴な顎鬚の紳士 | 1860年頃 | 鶏卵紙プリント(ガラス・ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-28 | J. ドウクロ | シャボンヌの橋 | 1865年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-29 | エドゥアル=ドゥニ=バルデュス | ルーブル宮 | 1853年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-30 | ギュスターヴ・ル・グレイ | カルーゼル橋 | 1858年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-31 | ナダール(ガスパール・フェリックス・トゥールナシオン) | ヴィクトル・ユゴーの肖像 | 1878年 | カーボン転写プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-32 | エティエンヌ・カルジャ | アンリ・モニエ | 1870年頃 | ウッドベリタイプ | 東京富士美術館 |
| P3-1-33 | エティエンヌ・カルジャ | G. アントニオ・ロッシニ | 1877年 | ウッドベリタイプ | 東京富士美術館 |
| P3-1-34 | シャルル・ルノルマン | 教会の後陣と遺跡、サン=ジル(=デュ=ガール) | 1875年頃 | 鶏卵紙プリント(コロディオン湿板ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-1-35 | ジュリア・マーガレット・キャメロン | マリー=スパテリ | 1868年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-36 | ジュリア・マーガレット・キャメロン | 可愛いレイチェル | 1870年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-37 | ジュリア・マーガレット・キャメロン | トマス・カーライル | 1867年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-40 | ルイス・キャロル | ブルック・キッチン | 1874年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-41 | ヴィルヘルム・フォン・グローデン | 街のいたずら少年たち、イタリア | 1865年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-42 | ツィーグラ=エ=コンパニー | 実写習作(パリの道路の崩壊) | 1870-71年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |

| | | | | | |
|---------|-----------------|-------------------------|--------|------------|---------|
| P3-1-43 | イードウィアード・マイブリッジ | 動物の運動—飛び跳ねる女性 | 1887年 | コロタイプ・プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-44 | イードウィアード・マイブリッジ | 動物の運動—躍動する肉體 | 1887年 | コロタイプ・プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-45 | イードウィアード・マイブリッジ | 動物の運動—ジャンプする馬 | 1887年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-46 | カリア&アイブズ | 疾走する馬(オクシデント)(石版画) | 1872年 | リトグラフ | 東京富士美術館 |
| P3-1-47 | 作者不詳 | パリの眺望 | 1859年頃 | 調色プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-48 | アントーニオ・ダレッサンドリ | アフリカから来た2人のローマ教会使節 | 1859年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-49 | レオン・クレミエール | トゥアレグ族(サハラ砂漠の遊牧民)の人々、パリ | 1862年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-50 | 作者不詳 | ナイアガラ上流の鉄橋、ニューヨーク州 | 1900年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-51 | エドワード・カーティス | 森を駆けるネイティヴ・アメリカン | 1910年頃 | 調色プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-52 | カール・E. ムーン | キーヤン・タディ(ラグナ族の娘) | 1900年頃 | 調色プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-53 | ジョーアッキーノ・アルトベリ | 月光の古代広場、ローマ | 1865年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-54 | ジェームス・マッド | ベイヤー・ビーコック社 マンチェスター | 1862年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-55 | 作者不詳 | 作業をする職工たち | 1900年頃 | 紙に印画 | 東京富士美術館 |
| P3-1-56 | ウィルヘルム・ハマーシュミット | ピラミッド | 1860年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-57 | アントニオ・ベアト | ラムセスの像、エジプト | 1880年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-58 | 作者不詳 | 壁画を背にした3人の原住民の少年、エジプト | 1900年頃 | 紙に印画 | 東京富士美術館 |
| P3-1-59 | 作者不詳 | インドの女性 | 1870年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-60 | 作者不詳 | 河のある風景 | 1870年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-61 | 作者不詳 | 椅子に腰掛ける農家の子 | 1880年頃 | 調色プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-62 | 作者不詳 | オシッピー山の落雷 | 1889年 | 調色プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-63 | マルク・フェレーズ | 椰子の並木道(ブラジル) | 1888年 | 紙に印画 | 東京富士美術館 |
| P3-1-64 | 作者不詳 | 長崎港に停泊中の四国聯合艦隊 | 1864年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-1-65 | 上野彦馬 | フルベッキと塾生たち(長崎) | 1869年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |

第3章 第2部 印象派誕生前夜—森の画家と写真家たち

| | | | | | |
|---------|----------------------|------------------------|-----------|--------------------|------------------|
| 3-1-4 | ジャン=パティスト・カミーユ・コロー | ユディト | 1872-74年頃 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 3-1-7 | ギュスターヴ・クールベ | 釣り人のいる風景 | 1870年 | 油彩、カンヴァス | 北海道立帯広美術館 |
| 3-2-2 | ジャン=パティスト・カミーユ・コロー | 植林された平野 | 1866年 | エッチング、紙 | 北海道立帯広美術館 |
| 3-2-3 | コンスタン・トロワイオン | 家畜の群れ | 19世紀 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 3-2-4 | コンスタン・トロワイオン | 牛のいる風景 | 19世紀後半 | 油彩、カンヴァス | 北海道立帯広美術館(帯広市寄託) |
| 3-2-5 | ジュール・デュプレ | ペリー地方の農家 | 1830年代 | 油彩、カンヴァス | 北海道立帯広美術館 |
| 3-2-7 | ジュール・デュプレ | イギリス風景 | 1836年 | リトグラフ、紙 | 北海道立帯広美術館 |
| 3-2-8 | テオドール・ルソー | 樫の木と岩 | 1861年 | エッチング、紙 | 北海道立帯広美術館 |
| 3-2-9 | シャルル=エミール・ジャック | 森の中の羊飼いと羊の群れ | 1865-70年頃 | 油彩、カンヴァス | 北海道立帯広美術館(帯広市寄託) |
| 3-2-11 | シャルル=エミール・ジャック | 雄鶏と雌鳥 | 19世紀後半 | エッチング、紙 | 北海道立帯広美術館 |
| 3-2-13 | ジャン=フランソワ・ミレー | 落穂ひろい | 1855-56年 | エッチング、紙 | 北海道立帯広美術館 |
| 3-2-15 | シャルル=フランソワ・ドービニー | 羊の欄囲い | 1860年 | エッチング、紙 | 北海道立帯広美術館 |
| 3-2-16 | シャルル=フランソワ・ドービニー | 川辺の風景 | 1874年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 3-2-18 | アレクサンドル・ドゥフォー | 農家の中庭 | 19世紀後半 | 油彩、カンヴァス | 北海道立帯広美術館 |
| 3-2-19 | ジャン=フェルディナン・シェニヨール | 草原の羊飼いの少女と羊の群れ | 1863年 | 油彩、カンヴァス | 北海道立帯広美術館 |
| 3-2-20 | レオンス・シャブリ | 羊の群れを連れ帰る羊飼い | 1872年 | 油彩、カンヴァス | 北海道立帯広美術館 |
| 3-2-21 | レオン・リッシェ | 農婦のいる風景 | 19世紀後半 | 油彩、カンヴァス | 北海道立帯広美術館(帯広市寄託) |
| P3-2-1 | レオナルド・ミゾヌ | 無題(森の習作) | 1925年頃 | 調色プリント | 東京富士美術館 |
| P3-2-2 | ルイ=アドルフ・ウンペール・ド・モラール | ラ・シアンドー、シラフルーの家 | 1850年頃 | 塩化紙プリント(ペーパー・ネガより) | 東京富士美術館 |
| P3-2-3 | シャルル・マルヴィル | とちの樹の下で休む男(マルヴィル本人と推定) | 1853年頃 | 塩化紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-2-5 | フランシス・ベッドフォード | ラッシュフォードの粉引き場 | 1870年頃 | カーボン・プリント | 東京富士美術館 |
| P3-2-7 | アシーユ・キネ | 自然の習作 | 1868年頃 | 鶏卵紙プリント | 北海道立帯広美術館 |
| P3-2-10 | ウィリアム=H. ハリソン | フォンテナスブローの森 | 1870年頃 | 鶏卵紙プリント | 北海道立帯広美術館 |
| P3-2-12 | シャルル・ファミン | 沼地 | 1874年頃 | 鶏卵紙プリント | 北海道立帯広美術館 |
| P3-2-13 | シャルル・ファミン | 羊の群れ | 1874年頃 | 鶏卵紙プリント | 北海道立帯広美術館 |
| P3-2-15 | A. トーバン | 自然の習作 | 19世紀後半 | 鶏卵紙プリント | 北海道立帯広美術館 |
| P3-2-27 | テオドール・ルソー | ピオーの平原 | 1848年頃 | クリシエ=ヴェール、紙 | 北海道立帯広美術館 |
| P3-2-36 | シャルル=フランソワ・ドービニー | 水車 | 1862年 | クリシエ=ヴェール、紙 | 北海道立近代美術館 |
| P3-2-37 | シャルル=フランソワ・ドービニー | 森の中の雌牛 | 1862年 | クリシエ=ヴェール、紙 | 北海道立近代美術館 |

第3章 第3部 印象派誕生前夜—ジャポニスム

| | | | | | |
|--------|------------|----------------------|---------------|-------------|---------------|
| 3-3-11 | 歌川広重 | 名所江戸百景 日本橋通一丁目略図 | 1858年/2002年復刻 | 大判錦絵 | 東京伝統木版画工芸協同組合 |
| 3-3-12 | 歌川広重 | 名所江戸百景 ハツ見のはし | 1856年/2002年復刻 | 大判錦絵 | 東京伝統木版画工芸協同組合 |
| 3-3-19 | 歌川広重 | 名所江戸百景 浅草川首尾の松御殿河岸 | 1856年/2001年復刻 | 大判錦絵 | 東京伝統木版画工芸協同組合 |
| 3-3-27 | 歌川広重 | 名所江戸百景 神田紺屋町 | 1857年/2001年復刻 | 大判錦絵 | 東京伝統木版画工芸協同組合 |
| 3-3-33 | 歌川広重 | 名所江戸百景 上野山内月のまつ | 1857年/1999年復刻 | 大判錦絵 | 東京伝統木版画工芸協同組合 |
| 3-3-35 | 歌川広重 | 名所江戸百景 真間の紅葉手古那の社継はし | 1857年/2000年復刻 | 大判錦絵 | 東京伝統木版画工芸協同組合 |
| 3-3-37 | 歌川広重 | 名所江戸百景 浅草金龍山 | 1856年/1999年復刻 | 大判錦絵 | 東京伝統木版画工芸協同組合 |
| 3-3-40 | 歌川広重 | 名所江戸百景 深川洲崎十万坪 | 1857年/1999年復刻 | 大判錦絵 | 東京伝統木版画工芸協同組合 |
| 3-3-41 | 歌川広重 | 名所江戸百景 南品川鮫洲海岸 | 1857年/2002年復刻 | 大判錦絵 | 東京伝統木版画工芸協同組合 |
| P3-3-1 | フェリックス・ベアト | 井戸の水を汲む女 | 1870-80年頃 | 鶏卵紙プリント、手彩色 | 東京富士美術館 |
| P3-3-2 | フェリックス・ベアト | 日本の家族(原家の人々)、静岡 | 1870年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P3-3-3 | 日下部金兵衛 | 加籠の女性と背負いの男達 | 1880年頃 | 鶏卵紙プリント、手彩色 | 東京富士美術館 |
| P3-3-5 | 日下部金兵衛 | 傘職人 | 1880年頃 | 鶏卵紙プリント、手彩色 | 東京富士美術館 |
| P3-3-6 | 日下部金兵衛 | 着物の女性 | 1875-80年頃 | 鶏卵紙プリント、手彩色 | 東京富士美術館 |
| P3-3-7 | フェリックス・ベアト | 若い侍 | 1868-70年頃 | 鶏卵紙プリント、手彩色 | 東京富士美術館 |
| P3-3-8 | 日下部金兵衛 | 丈の長い着物を着た女性 | 1880年頃 | 鶏卵紙プリント、手彩色 | 東京富士美術館 |

第4章 印象派の誕生

| | | | | | |
|-------|---------------|------------------------|----------|--------------------------|----------------|
| 4-1 | ウジェーヌ・ブーダン | ヴェネツィア、大運河 | 1895年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 4-2 | カミーユ・ピサロ | ロンドン、ハイドパーク | 1890年 | デトランプ、カンヴァスに移された紙 | 東京富士美術館 |
| 4-3 | エドゥアール・マネ | ボードレールの肖像Ⅲ（ナダールの写真による） | 1868年 | エッチング、紙 | 町田市立国際版画美術館 i |
| 4-4 | エドゥアール・マネ | 猫と花 | 1869年 | エッチング、アクアチント、紙 | 町田市立国際版画美術館 ii |
| 4-6 | アルフレッド・シスレー | レディース・コーヴ、ヘイスティングス | 1897年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 4-7 | クロード・モネ | ノルマンディの田舎道 | 1868年 | 油彩、カンヴァス | 松岡美術館 |
| 4-9 | クロード・モネ | ブルヴィルの断崖 | 1882年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 4-13 | ギュスターヴ・カイユボット | トルーヴィルの別荘 | 1882年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 4-14 | アンリ・マルタン | 画家のアトリエの眺め | 1902年頃 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 4-15 | グスタフ・クリムト | 横顔を見せる少女 | 1880年頃 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 4-16 | ギュスターヴ・ロワソー | ヴォードルユの農家 | 1900-03年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| P4-2 | 作者不詳 | 荷車の馬と男 | 1854年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 i |
| P4-3 | ロジャー・フェントン | ブレストバリー | 1852年 | 塩化紙プリント(ワックスド・ペーパー・ネガより) | 東京富士美術館 ii |
| P4-6 | フランシス・フリス | カーナヴァン城、ウェールズ | 1880年頃 | 塩化紙プリント(コロディオン湿板ネガより) | 東京富士美術館 i |
| P4-7 | フランシス・フリス | ホルトン修道院 | 1875年頃 | 塩化紙プリント(コロディオン湿板ネガより) | 東京富士美術館 ii |
| P4-8 | J.A. メランジュ | クラークの入江 | 1875年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 i |
| P4-9 | 作者不詳 | 羊飼いの女性 | 1880年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 ii |
| P4-10 | ハリー・エリス | ホテル・リッツで食事、パリ | 1910年頃 | ブロマイドプリント | 東京富士美術館 i |
| P4-11 | ハリー・エリス | 照明に輝く万国博覧会場とエッフェル塔 | 1900年 | ブロマイドプリント | 東京富士美術館 ii |

第5章 モデルとしての写真

| | | | | | |
|-------|----------------------|------------------|----------|-------------------|-------------|
| 5-1 | ピエール=ポール・アモン | 皇后ウジェニー | 1850年代 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 5-2 | ウィリアム・アドルフ・ブーグロー | 漁師の娘 | 1872年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 5-4 | エドガー・ドガ | マネとマネ夫人像 | 1868-69年 | 油彩、カンヴァス | 北九州市立美術館 |
| 5-5 | エドガー・ドガ | 裸婦(浴後) | 1896年 | 木炭、パステル、紙 | ベオグラード国立美術館 |
| 5-6 | エドガー・ドガ | 三人の踊り子 | 1896-98年 | クレヨン、パステル、紙 | ベオグラード国立美術館 |
| 5-7 | エドガー・ドガ | 舞台の袖の踊り子 | 1900年頃 | パステル、紙 | 東京富士美術館 |
| 5-8 | ジョン・シンガー・サージェント | ハロルド・ウィルソン夫人 | 1897年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| P5-1 | (エドガー・ドガの死後、アトリエで発見) | 手を伸ばした踊り子 | 1895-96年 | モダン・デジタル・プリント | フランス国立図書館 |
| P5-2 | (エドガー・ドガの死後、アトリエで発見) | 2本の肩紐を着ける踊り子 | 1895-96年 | モダン・デジタル・プリント | フランス国立図書館 |
| P5-3 | (エドガー・ドガの死後、アトリエで発見) | 肩紐を着ける踊り子 | 1895-96年 | モダン・デジタル・プリント | フランス国立図書館 |
| P5-4 | フェリックス・ジャック・A. ムーラン | 塩化紙プリント | 1853年頃 | 塩化紙プリント | 東京富士美術館 i |
| P5-5 | フェリックス・ジャック・A. ムーラン | 糸車の前に座る婦人と娘 | 1870年頃 | 鶏卵紙プリント(ガラス・ネガより) | 東京富士美術館 i |
| P5-6 | グリエルモ・マルコーニ | ドレスを手に持つ女性 | 1870年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 i |
| P5-7 | 作者不詳 | 画家のためにポーズをとる男性 | 1860年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 ii |
| P5-8 | 作者不詳 | 身体 #102 | 1860年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 ii |
| P5-9 | 作者不詳 | 無題(裸婦と円柱/X X II) | 1860年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 ii |
| P5-10 | 作者不詳 | “マグダラのマリア”の寓意的著作 | 1858年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 ii |
| P5-13 | 作者不詳 | カメラを背にした画家のモデル | 1895年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 i |

第6章 ビクトリアリズム

| | | | | | |
|-------|---------------------------|--------------------------|-----------|----------------|------------|
| P6-1 | クラレンス・ハドソン・ホワイ | 朝 | 1905年 | プラチナ・プリント | 東京富士美術館 ii |
| P6-2 | オズカー・ギュスターヴ・レイランダー | 洗い物をする女性 | 1854-60年頃 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 i |
| P6-3 | フランツ・ハフシュテングル | 窓辺に座り新聞を読むゲルハルト | 1863年 | 鶏卵紙プリント | 東京富士美術館 |
| P6-5 | レオン・クレミエール&アーウィン・ハフシュテングル | 無題(鏡に映った女性) | 1864年頃 | カーボン・プリント | 東京富士美術館 |
| P6-6 | フランク・ユージン | アダムとイヴ | 1910年 | フォトグラヴュール | 東京富士美術館 |
| P6-7 | ロベール・ドマシー | 舞台の裏で | 1906年 | ガム・プリント | 東京富士美術館 |
| P6-8 | エミール・コンスタン・ピュヨー | 扇 | 1900年頃 | 調色グラヴュール | 東京富士美術館 i |
| P6-9 | アーノルド・ゼンズ | ドリス・ハンフリー(ダンサー) | 1916年頃 | クロロ・ブロマイド・プリント | 東京富士美術館 |
| P6-10 | ローラ・ギルピン | イデーヌ・ルーベル三奏曲 | 1917年 | クロロ・ブロマイド・プリント | 東京富士美術館 |
| P6-11 | ナンシー・フォード・コーン | 妖精の出現所 | 1918年頃 | カリタイプ | 東京富士美術館 |
| P6-12 | ナンシー・フォード・コーン | 未亡人 | 1918年頃 | カリタイプ | 東京富士美術館 |
| P6-13 | リュミエール兄弟 | 庭で働くリュミエールの家族 | 1902年頃 | オートクローム | 東京富士美術館 |
| P6-14 | フェリックス・ベネディクト・ハーゾグ | イゾルデの物語 | 1905年 | フォトグラヴュール | 東京富士美術館 |
| P6-15 | エドワード・スタイケン | 月夜、池 | 1906年 | 調色グラヴュール | 東京富士美術館 |
| P6-16 | サラ・チャート・シアーズ | マリーの肖像 | 1907年頃 | フォトグラヴュール | 東京富士美術館 |
| P6-17 | フェリックス・ベネディクト・ハーゾグ | マルセーラ | 1906年 | フォトグラヴュール | 東京富士美術館 |
| P6-18 | エドワード・スタイケン | ジョージ・フレデリック・ワッツ | 1906年 | フォトグラヴュール | 東京富士美術館 |
| P6-19 | エドワード・スタイケン | ウィリアム・メリット・チェイス | 1906年 | フォトグラヴュール | 東京富士美術館 |
| P6-20 | アルフレッド・スティエグリッツ | 森の中のスケッチ | 1894年頃 | 調色プラチナ・プリント | 東京富士美術館 ii |
| P6-21 | エドワード・スタイケン | カパー・デザイン | 1906年 | 調色グラヴュール | 東京富士美術館 |
| P6-22 | エドワード・ウェストン | エセル・ストウラス | 1923年 | バラディウム・プリント | 東京富士美術館 |
| P6-23 | フランシス・ロタンダ・ブルギエール | リージョン・オブ・オーナー宮殿、サンフランシスコ | 1915年 | 調色プリント | 東京富士美術館 |
| P6-24 | ウィリアム・モートンセン | 壺にミルクを注ぐ女性 | 1940年頃 | カーボン・プリント | 東京富士美術館 |
| P6-25 | アドルフ・シュネバガー | 墓場のところで | 1926年 | ブロマイド・プリント | 東京富士美術館 |
| P6-26 | ピーター・ヘンリー・エマーソン | 『ノーフォーク・ブローズ(湖沼地帯)の田園風景』 | 1887年 | フォトグラヴュール | 東京富士美術館 |
| P6-27 | ピーター・ヘンリー・エマーソン | 『東アングリヤ地方の生活と風景』 | 1888年 | フォトグラヴュール | 東京富士美術館 |

第7章 絵画と写真のモダニティ

| | | | | | |
|-------|----------------------|------------------|--------|----------------|------------|
| P7-1 | ジャン・ウジェーヌ・オーギュスト・アジェ | ノナン・ディエール通り、パリ | 1910年頃 | 紙に印画 | 東京富士美術館 |
| P7-2 | アルフレッド・スティエグリッツ | 冬の五番街 | 1892年 | フォトグラヴュール | 東京富士美術館 |
| P7-3 | エドワード・スタイケン | 暮れなずむフラットアイアン・ビル | 1906年 | 調色グラヴュール | 東京富士美術館 |
| P7-4 | ルイス・ハイン | カロライナ綿花工場 | 1908年 | クロロ・ブロマイド・プリント | 東京富士美術館 i |
| P7-5 | ルイス・ハイン | 発電所の機械工 | 1921年 | クロロ・ブロマイド・プリント | 東京富士美術館 ii |
| P7-6 | アルフレッド・スティエグリッツ | エキヴァラント #147E | 制作年不詳 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-7 | エドワード・ウェストン | 無題(水平な状態の裸婦) | 1920年 | クロロ・ブロマイド・プリント | 東京富士美術館 i |
| P7-8 | エドワード・ウェストン | 頭部の見えない女性 | 制作年不詳 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-9 | エドワード・ウェストン | モダン・クラシシズム | 1925年 | ブロマイド・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-10 | アルフレッド・スティエグリッツ | 無題(草の葉、ジョージ湖) | 1933年 | 調色プラチナ・プリント | 東京富士美術館 ii |

| | | | | | |
|-------|----------------------|------------------------|--------|----------------|----------|
| P7-11 | フランティシェク・ドルティコル | 思い | 1927年 | ビグメント・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-12 | フランティシェク・ドルティコル | 構成 | 1925年 | ビグメント・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-13 | マン・レイ | アングルのヴァイオリン | 1924年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-14 | マン・レイ | セルフ・ポートレート | 1932年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-15 | エドムント・ケスティンク | ヌード #11 | 1928年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-16 | アンドレ・ケルテス | ディストーション #40 | 1933年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-17 | アンドレ・ケルテス | ディストーション | 1933年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-18 | アンドレ・ケルテス | 憂鬱なチューリップ、ニューヨーク | 1939年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-19 | アンドレ・ケルテス | モンドリアンの家で | 1926年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-20 | マータ・ヘップナー | カンディンスキーに捧ぐ | 1937年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-21 | フレデリック・ソマー | リヴィア | 1948年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-22 | フレデリック・ソマー | リー・ネヴィン | 1963年頃 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-23 | ビル・ブラント | ロンドン | 1952年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-24 | ビル・ブラント | イースト・サセックス | 1953年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P7-26 | ラーズロー・モホイ=ナジ | フォトグラム | 1923年 | フォトグラム | 東京都写真美術館 |
| P7-28 | ラーズロー・モホイ=ナジ | フォトグラム | 1939年 | フォトグラム | 東京都写真美術館 |
| | パブロ・ピカソ(撮影：A. ヴィレール) | ピカソによる紙の切り抜き「金網に入った山羊」 | 制作年不詳 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |

第8章 エピソード：新たな“光”の考察

| | | | | | |
|-------|----------------|------------------|----------|---------------------|-------------|
| 4-17 | モーリス・ユトリロ | モンモランシーの通り | 1912年頃 | 油彩、カンヴァス | 財団法人ひろしま美術館 |
| 7-1 | ピエール・ボナール | 若い女 | 1905年頃 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 7-2 | アルベール・マルケ | トゥーロン湾の眺め | 制作年不詳 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 8-1 | アンリ・シダネル | 黄昏の古路 | 1929年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 8-2 | ジョルジオ・モランディ | 静物 | 1948-49年 | 油彩、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| 8-4 | アンディ・ウォーホル | ジャック・ニクラウスの肖像 | 20世紀 | シルクスクリーン・アクリル、カンヴァス | 東京富士美術館 |
| P8-1 | 東松照明 | プラスチック、千葉県九十九里海岸 | 1987-89年 | コダック・カラープリント | 東京富士美術館 |
| P8-2 | 東松照明 | プラスチック、千葉県九十九里海岸 | 1987-89年 | コダック・カラープリント | 東京富士美術館 |
| P8-3 | 東松照明 | プラスチック、千葉県九十九里海岸 | 1987-89年 | コダック・カラープリント | 東京富士美術館 |
| P8-4 | 東松照明 | プラスチック、千葉県九十九里海岸 | 1987-89年 | コダック・カラープリント | 東京富士美術館 |
| P8-5 | 東松照明 | プラスチック、千葉県九十九里海岸 | 1987-89年 | コダック・カラープリント | 東京富士美術館 |
| P8-6 | 東松照明 | プラスチック、千葉県九十九里海岸 | 1987-89年 | コダック・カラープリント | 東京富士美術館 |
| P8-7 | 柴田敏雄 | 福島県相馬郡鹿島町 | 1990年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P8-8 | 佐藤時啓 | ホルント・メロン | 1955年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P8-9 | ベルント&ヒラー・ベッシャー | 探掘塔 | 1967-82年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |
| P8-10 | 杉本博司 | インベリアル・モントリオール | 1995年 | ゼラチン・シルバー・プリント | 東京富士美術館 |

コレクションを極める

Master the Museum's Collection

会期:2010年2月6日(土)~3月28日(日)

会場:企画展示室 1・2

主催

名古屋市美術館、中日新聞社

後援

愛知県・岐阜県・三重県各教育委員会

協力

名古屋市交通局

観覧料

一般 600 円、高大生 500 円、小中生 300 円

内容

名古屋市美術館には 4000 点を超えるコレクションが収蔵されており、その一部が常設展示室で随時公開されているが、今回の「コレクションを極める」では、エコール・ド・パリやメキシコ・ルネサンスといった美術館の収集方針の枠を超えて、「人物」、「風景」、「静物」という 3 つのキーワードで作品を分類し、その新たな魅力を紹介した。同じ人物や風景を主題にしなが、作家によってその表現方法は驚くほど異なっており、その表現の違いが何によって生まれてきたのかを考えながら、それぞれの作品への理解を深めた。また、すべての作品に鑑賞のポイントとなるような 300 字前後の解説を施した。

関連事業

連続講座

講師：深谷克典（学芸課長）

会場：講堂

- ①「人物の魅力を探る」2月21日（日）14:00-
- ②「なぜ風景を描くのか」3月7日（日）14:00-
- ③「これも静物？ あれも静物？」3月21日（日）14:00-

ミュージアム・コンサート

「音楽と美術のコラボレーション」

日時：2月28日（日）14:00-

会場：地下ロビー

演奏：セントラル愛知交響楽団



会場風景



A4 チラシ

出品作品

| No. | 作家名 | 作品名 | 制作年 | 技法・材質 | 所蔵 |
|-------------------|------------------|---------------------------|------------------|------------------|-----------------------|
| <人物> | | | | | |
| 1 | 宮脇晴 | 母の像 | 1921年 | キャンヴァス・油彩 | 68. 8x61. 0cm |
| 2 | 馬場八潮 | 少女の像 | 1924-28年頃 | 紙・ゼラチンシルバークラフト | 30. 8x29. 5cm |
| 3 | 椎原治 | 流氓ユダヤ人仮睡 | 1941年 | 紙・ゼラチンシルバークラフト | 35. 7x43. 2cm |
| 4 | 田淵銀芳 | 流氓ユダヤ人父子 | 1941 (2005) 年 | 紙・ゼラチンシルバークラフト | 27. 9x35. 5cm |
| 5 | ディエゴ・リベラ | ヘンリー・ノーウェットの肖像 | 1935年 | 板・油彩 | 115. 1x91. 2cm |
| 6 | マリア・イスキエルド | 旅人の肖像 (アンリ・ド・シャティヨンの肖像) | 1940年頃 | キャンヴァス・油彩 | 160. 0x190. 0cm |
| 7 | 田中保 | ソリタ・ソラノの肖像 | 1923年 | キャンヴァス・油彩 | 103. 0x73. 5cm |
| 8 | キスリング | マルセル・シャンタルの肖像 | 1935年 | キャンヴァス・油彩 | 116. 0x81. 0cm |
| 9 | 鶴田吾郎 | 横たわる中村葬 (逝去の翌日) | 1924年 | 紙・コンテ | 52. 0x68. 0cm |
| 10 | 藤田嗣治 | 家族の肖像 | 1932年 | 紙・鉛筆、パステル | 86. 5x67. 2cm |
| 11 | コンスタンティン・ブランクーシ | うぶごえ | 1917 (1984) 年 | ブロンズ | 17. 0x26. 0x18. 0cm |
| 12 | オシップ・ザツキン | 扇を持つ女 | 1923年 | ブロンズ | 84. 0x35. 0x31. 0cm |
| 13 | ルフィーノ・タマヨ | 苦悶する人 | 1949年 | キャンヴァス・油彩 | 100. 0x80. 0cm |
| 14 | 東郷青児 | 帽子をかむった男 (歩く女) | 1922年 | キャンヴァス・油彩 | 60. 9x49. 9cm |
| 15 | フリーダ・カーロ | オブジェによる自画像 | 1946年 | 混合技法 | |
| 16 | 芥川紗織 | 女 | 1954年 | 木綿・染色 | 90. 8x65. 2cm |
| 17 | 星野真吾 | 黒い犠牲 | 1966年 | 紙本着彩 | 122. 0x183. 0cm |
| 18 | 村井正誠 | 歩く人 | 1992年 | キャンヴァス・油彩 | 228. 0x182. 0cm |
| 19 | マルク・シャガール | 死せる魂 1, 2, 3 | 1923-25 (1948) 年 | 紙・銅版画 | 28. 0x38. 0cm |
| 20 | ポール・ストランド | サンタ・アナの女たち、ミチヨアカン | 1933 (1967) 年 | 紙・フォトグラヴィール | 40. 3x31. 4cm |
| 21 | ダビッド・アルファロ・シケイロス | 母と子 | 1962年 | メゾナイト・デューコ | 80. 2x61. 2cm |
| 22 | マリー・ローランサン | サーカスにて | 1913年頃 | キャンヴァス・油彩 | 116. 5x89. 0cm |
| 23 | 高山辰雄 | あけぼの (寄託作品) | 1974年 | 紙本着彩 | 117. 0x72. 0cm |
| 24 | 北川民次 | 雑草の如くII | 1948年 | キャンヴァス・油彩 | 162. 0x130. 9cm |
| 25 | 山本鼎 | ブルトンス | 1920年 | 紙・木版 | 36. 3x28. 4cm |
| 26 | キース・ヴァン・ドンゲン | コルセットの女 | 1908年 | キャンヴァス・油彩 | 65. 0x50. 0cm |
| 27 | ジュール・パスキン | 横たわるエリアーナ | 1929年 | キャンヴァス・油彩 | 73. 2x92. 6cm |
| 28 | 鬼頭鍋三郎 | 画室の女 | 1933年 | キャンヴァス・油彩 | 160. 0x120. 0cm |
| 29 | 渡辺幾春 | 二人の女 | 1939年 | 紙本着彩 | 172. 0x176. 0cm |
| 30 | 舟越 桂 | かたい布はときどき話す | 1988年 | 楠 (着彩)、大理石 | 高さ81. 0cm |
| <風景> | | | | | |
| 1 | 川合玉堂 | 秋嶺白雲 | 1940年頃 | 絹本着彩・軸 | 78. 8x99. 4cm |
| 2 | 横山大観 | 日月 | 1902年頃 | 絹本着彩・軸 (双幅) | 各115. 5x50. 0cm |
| 3 | 田淵俊夫 | 大地悠久 洛陽黄河 | 1990年 | 紙本着彩 | 93. 0x103. 0cm |
| 4 | 池田遙邨 | 灯台 (寄託作品) | 1953年 | 紙本着彩 | 165. 0x121. 0cm |
| 5 | 横山葩生 | 雨後 | 1920-30年代 | 紙本墨画 | 74. 0x116. 0cm |
| 6 | 平岩三陽 | 山は粧う | 1937年 | 紙本着彩 | 208. 0x320. 0cm |
| 7 | 藤田嗣治 | 風景 | 1918年 | キャンヴァス・油彩 | 46. 2x38. 0cm |
| 8 | 海老原喜之助 | 風景 | 1927年 | キャンヴァス・油彩 | 81. 4x100. 3cm |
| 9 | モーリス・ユトリロ | ノルヴァン通り | 1910年 | 厚紙・油彩 | 73. 1x92. 0cm |
| 10 | 荻須高德 | 洗濯場 (オーベルヴィリエ) | 1960年頃 | キャンヴァス・油彩 | 116. 3x89. 2cm |
| 11 | ジョン・スローン | ヴェレージ監獄の解体 | 1929年 | 厚紙・テンペラ、油彩 | 76. 2x61. 0cm |
| 12 | 安井仲治 | 相剋 | 1932年 | 紙・ゼラチンシルバークラフト | 32. 0x45. 6cm |
| 13 | 前田青邨 | 宿場 | 1914-15年頃 | 絹本墨画、淡彩・軸 | 128. 2x50. 3cm |
| 14 | 中村正義 | 風景 | 1946年 | 紙本着彩 | 124. 6x154. 9cm |
| 15 | 北川民次 | 瀬戸登り窯 | 1940年頃 | キャンヴァス・油彩 | 80. 5x100. 3cm |
| 16 | 平川敏夫 | 陶土のある町 | 1958年 | 紙本着彩 | 134. 0x182. 0cm |
| 17 | ディエゴ・リベラ | スペイン風景 (トレド) | 1913年 | キャンヴァス・油彩 | 89. 0x110. 0cm |
| 18 | アンディ・ゴールズワージー | 楓の紅葉による鎖ノ大内山村ノ1987年11月21日 | 1987年 | カラー写真 | 92. 6x50. 0cm |
| 19 | 三岸好太郎 | 海と射光 | 1934年 | キャンヴァス・油彩 | 72. 8x60. 5cm |
| 20 | 熊谷守一 | 八ヶ岳 秋 | 1940年頃 | 板・油彩 | 31. 3x40. 8cm |
| 21 | 三岸節子 | ブルゴーニュの麦畑 | 1980年 | キャンヴァス・油彩 | 112. 1x145. 5cm |
| 22 | 矢橋六郎 | 雪原 | 1966年 | キャンヴァス・油彩 | 112. 1x145. 5cm |
| 23 | ポール・ストランド | 広場、プエブラ州 | 1933 (1967) 年 | 紙・フォトグラヴィール | 12. 8x15. 7cm |
| 24 | 福岡道雄 | 琵琶湖の風 | 1982年 | FRP (繊維強化プラスチック) | 183. 8x120. 7x47. 1cm |
| 25 | ハイム・スーチン | セレの風景 | 1922年頃 | キャンヴァス・油彩 | 79. 8x87. 2cm |
| 26 | ホセ・クレメンテ・オロスコ | メキシコ風景 | 1932年 | キャンヴァス・油彩 | 76. 1x93. 9cm |
| 27 | 平松礼二 | 土一土まんじゅう | 1979年 | 紙本着彩 | 208. 0x320. 0cm |
| 28 | 三尾公三 | 冬野幻影 | 1988年 | 板・アクリル | 180. 0x240. 0cm |

| | | | | | |
|-------------------|---------------------|---|-------------------|------------------------|-----------------------------------|
| 29 | 樞田伸也 | 通り過ぎた風景 | 1983年 | キャンヴァス・油彩 | 97.0x162.1cm |
| 30 | 李禹煥 | 風とともに | 1990年 | キャンヴァス・油彩 | 260.0x776.0cm |
| <静物> | | | | | |
| 1 | 鈴木不知 | 冬瓜 | 制作年不詳 | キャンヴァス・油彩 | 130.0x162.0cm |
| 2 | 宮脇晴 | 卓上の林檎 | 1919年 | 板・油彩 | 24.2x33.3cm |
| 3 | 佐分真 | 静物 | 1924年 | キャンヴァス・油彩 | 91.2x116.6cm |
| 4 | 岡鹿之助 | 魚 | 1927年 | キャンヴァス・油彩 | 60.0x73.0cm |
| 5 | 三岸好太郎 | 構図(暖炉のある静物) | 1933年 | キャンヴァス・油彩 | 46.0x53.5cm |
| 6 | 三岸節子 | 静物 | 1949年 | キャンヴァス・油彩 | 60.8x91.0cm |
| 7 | キスリング | 新聞のある静物 | 1913年 | キャンヴァス・油彩 | 81.0x100.0cm |
| 8 | ハイム・スーテン | 鳥のいる静物 | 1918-19年頃 | キャンヴァス・油彩 | 60.0x81.5cm |
| 9 | マリア・イスキエルド | 生きている静物 | 1947年 | キャンヴァス・油彩 | 80.3x99.7cm |
| 10 | 大野倣嵩 | 鶏羅俱織 | 1982年 | 絹本着彩 | 96.5x82.6cm |
| 11 | 田淵俊夫 | 「宿昔譜」のための下絵 | 1972年 | 紙・鉛筆、色鉛筆、パステル | 116.0x72.8cm |
| 12 | 横井礼以 | 揚げ雲雀 | 1941年 | キャンヴァス・油彩 | 90.5x72.5cm |
| 13 | フリーデンスライヒ・フンデルトワッサー | 蟬胤(原画;タヒチに降る雨) | 1992年 | 彩色・蟬胤 | 39.5x34.8x8.0cm |
| 14 | 赤瀬川原平 | 復讐の形態学(殺す前に相手をよく見る) | 1963年 | パネルに貼った紙・インク | 90.0x180.0cm |
| 15 | 池田龍雄 | ストリップ・ミル | 1956年 | キャンヴァス・油彩 | 162.3x130.5cm |
| 16 | リサ・ミルロイ | 皿 | 1992年 | キャンヴァス・油彩 | 188.0x243.8cm |
| 17 | 山本悳右 | 「伽藍の鳥籠」のヴァリエーション | 1940年 | 紙・ゼラチンシルバープリント | 30.4x25.6cm |
| 18 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | 眼の寓話 | 1931年 | 紙・ゼラチンシルバープリント | 25.4x20.3cm |
| 19 | マニュエル・アルバレス・ブラボー | 木馬 | 1928年 | 紙・ゼラチンシルバープリント | 35.6x27.9cm |
| 20 | フェルナン・レジェ | 青い背景のコンポジション(寄託作品) デュシャンの大ガラスを小さな細部として いる図式 | 1930年 1963-64年 | キャンヴァス・油彩 アッサンブラージュ | 92.0x60.0cm 230.0x168.0x57.0cm |
| 21 | 荒川修作 | 住処のある静かな場所 | 1984年 | 木 | 155.0x105.0x60.0cm |
| 22 | トニー・クラッグ | SEPT. 8, 1982 | 1982年 | キャンヴァス・リキテックス | 25.5x33.0cm |
| 23 | 河原温 | それは閉ざされている | 1955年 | キャンヴァス・油彩 | 65.1x90.8cm |
| 24 | 浅野弥衛 | 緋 | 1963年 | 綿・ジュート、顔料 | 117.0x93.0cm |
| 25 | 大野倣嵩 | とりたのし(赤) | 1963年 | キャンヴァス・油彩 | 116.7x80.3cm |
| 26 | 島田章三 | 無題 | 1961年 | キャンヴァス・顔料・紙 | 216.2x166.2cm |
| 27 | 桑山忠明 | 鉛による作品 | 1963年 | 板・鉛 | 127.0x90.9cm |
| 28 | 久野真 | 関係一質(青84-4) | 1984年 | 綿布、銅版、液体 | 180.0x100.0x1.5cm |
| 29 | 河口龍夫 | 関係一質(青84-10) | 1984年 | 綿布、銅版、液体 | 180.0x100.0x1.5cm |
| 29 | 河口龍夫 | 関係一質(青84-10) | 1984年 | 綿布、銅版、液体 | 180.0x100.0x1.5cm |
| 30 | 中西夏之 | G/Z足元はオレンジ色 HOHO-1 | 1994年 | キャンヴァス・油彩 | 227.3x181.5cm |

名古屋市美術館では、美術鑑賞の楽しさや面白さを体験できる美術館を目指して、これまで積極的に教育普及事業に取り組んできました。今年度も来館者の皆さんの多様な要望に応えられるように多彩なプログラムを実施しました。

一般向けの教育普及事業としては、特別展などでの講演会や解説会がありますが、今年度も特別展ごとに多彩な講師を招聘しました。とくに特別展「絵画と写真の交差－印象派誕生の軌跡」では、出品作家であり、現在最も人気の高い現代美術家である杉本博司氏が「アートの起源」という演題で語った記念講演会には 200 名近い来場者が集まりました。

名古屋市美術館のコレクションについて、学芸員が最新の研究成果を踏まえて、その作家と作品の魅力を語る美術講座・コレクション解析学では、名品コレクション展にあわせて展示された多彩な美術家たち（ローランサン、パイク、鬼頭鍋三郎、福田美蘭、シャーン）の代表作 5 点についての調査・研究の成果を紹介しました。

コンサートとしては、特別展「コレクションを極める」にあわせて、セントラル愛知交響楽団の協力による弦楽四重奏によるコンサート「音楽と美術のコラボレーション」が開催され、展示作品から着想された新曲（5 曲）を演奏して、作曲の源になった作品を当てるクイズも行いました。

映画上映会としては、ルーヴル美術館における美術館教育の活動を紹介する映画「クラス・ルーヴル」の特別上映を行うとともに、松岡智子氏（倉敷芸術科学大学教授）を招聘して、「ルーヴルの美術館教育」という講演も行いました。

また、あいちトリエンナーレ 2010 プレイベントとして開催した特別展「放課後のはらっぱ 櫃田伸也とその教え子たち」の関連催事として、美術館の喫茶室で特別メニューを提供する「はらっぱ一日カフェ」や地階ロビーのキッズコーナーで缶バッジ作りを体験できる「はらっぱフォトバッジ、パッチ・グー!」、講堂で出品作家である設楽知昭氏による摩訶不思議な「幻灯会」も開催しました。

次に、子ども向けの教育普及事業としては、夏休みの恒例となった「夏休み こどもの美術館」では、「絵を“つくる”－画材ができるまで」というタイトルで、名古屋市美術館のコレクションから選定した絵画作品（10 点）とともに、その作品の制作に使用された画材を紹介するものとして、目黒区美術館が作成・所蔵している展示用資料「画材の引き出し博物館」を組み合わせて展示しました。それに関連して、実際に画材に触れることができるプログラムとして、「キャンヴァスを張ってみよう」「油絵具をつくってみよう」を実施しました。

一方、「美術をたのしむプログラム」名古屋市美術館の「キッズの日」として実施している美術鑑賞プログラムでは、定番となったプログラムを工夫して、回ごとにテーマを設けて実施しました。「アート・ウォッチング」では、

久野真の《長い手紙》から発想した「カタチでキモチを交換する」、アートカードを使って美術鑑賞ゲームを楽しんだ後、グルームスの《ウールワース・ビルディング》の前で記念写真を撮った「美術館・秋の思い出'09」、家族で協力して常設展に展示してある作品を調査する「ちょっと昼まで調査隊」、またコレクションの作品の制作に使われている技法によって作品を作ってみる「なりきりアーティスト」では、ステラの《説教》から「カタチ、ねじれ、組み合わせ」、池田龍雄のペン画作品から「点と線のミステリー」、三木富雄の《耳》から「自分のカラダを再発見する」というプログラムを行いました。

学校との連携による教育普及事業としては、平成 15 年度から開始された「出前アート体験」では、「アートゲームに挑戦」などのプログラムを持って、学芸員やボランティアが出前授業（全 8 校）を行いました。また、学校の団体見学への対応においても、ボランティアによる常設展のガイドトークを受けた児童・生徒たち（名古屋市内の小中学校をはじめとして、高校、大学、PTA など 31 団体 1,341 名）は充実した美術鑑賞の体験をしています。このような学校の美術館利用を促進するために、「教師のための美術館研修会」の内容をより充実させて開催しました。

このように名古屋市美術館が積極的な教育普及事業を展開できるのは、ボランティアの活動に支えられているからです。名品コレクション展でのギャラリートークを基本として、「キッズの日」の美術鑑賞プログラムの企画・実施、「出前アート体験」の「アートゲームに挑戦」の支援、常設展の学校団体向けガイドトークの実施、総合案内と図書室における来館者への案内活動、ボランティア養成講座のサポートを行う教育活動など、幅広い分野で活動を行ってきました。

今年度は、ボランティア（第 1～6 期）総計 89 名が活動しましたが、昨年度のボランティア活動開始 10 周年記念プロジェクトの体験を生かした自主的な活動として、名古屋まつり開催日（10 月 4 日）に「名古屋まつりでまるごと 1 日ギャラリートーク」を実施しました。

また、美術館の活動を支援することを目的とした美術愛好家の会である名古屋市美術館協力会では、特別展「放課後のはらっぱ 櫃田伸也とその教え子たち」にあわせて、櫃田伸也氏の記念講演会「画家・櫃田伸也、自作を語る」を美術館と共催するとともに、「作家を囲む会」を開催して、さらにオリジナル・カレンダーの作成を委嘱して、新規会員の獲得に成果を挙げました。

この他に、美術書や画集・展覧会カタログが充実した図書室の利用者も年間で 15,000 名を超える数になっています。出版関係では、多彩で豊富な記事が好評の美術館ニュース「アートペーパー」（第 81～82 号）とともに、『年報』「展覧会案内」を定期刊行しました。

1. 一般成人対象の事業

(1) 講演会、解説会

| 月日 | 内容 | 講師等 | 場所 | 参加者数 |
|-------------|--|---------------------------------|----|------|
| 4月11日(土) | 視覚の魔術—だまし絵展記念講演会 「幕末のエンタテインメント絵画—描表装を中心に」 | 山下裕二氏(明治学院大学教授) | 講堂 | 162名 |
| 4月26日(日) | 視覚の魔術—だまし絵展作品解説会 | 保崎裕徳(当館学芸員) | 講堂 | 150名 |
| 5月10日(日) | 視覚の魔術—だまし絵展記念講演会 「だまし絵—表層のレトリック」 | 谷川渥氏(國學院大學教授) | 講堂 | 180名 |
| 5月24日(日) | 視覚の魔術—だまし絵展作品解説会 | 保崎裕徳(当館学芸員) | 講堂 | 151名 |
| 8月2日(日) | 「クラス・ルーヴル」上映・講演会 「ルーヴルの美術館教育」 | 松岡智子氏(倉敷芸術科学大学教授) | 講堂 | 74名 |
| 9月6日(日) | 躍動する魂のきらめき—日本の表現主義展記念講演会① 「生命」の表現—20世紀の芸術思潮を考える | 鈴木貞美氏(国際日本文化研究センター教授) | 講堂 | 45名 |
| 9月13日(日) | 躍動する魂のきらめき—日本の表現主義展作品解説会 | 竹葉丈(当館学芸員) | 講堂 | 32名 |
| 10月4日(日) | 躍動する魂のきらめき—日本の表現主義展記念講演会② 「芸術の革新から人間の解放と社会の変革へ—世界的同時性としての表現主義—」 | 池田浩士氏(京都精華大学客員教授) | 講堂 | 60名 |
| 10月12日(月・祝) | 放課後のほらっぱ展記念講演会 「画家・檀田伸也、自作を語る」 | 檀田伸也氏(画家) | 講堂 | 148名 |
| 10月25日(日) | 絵画と写真の交差—印象派誕生の軌跡展記念講演会① 「写真から絵画か? 絵画から写真か?—印象派をめぐる視覚メディアの交錯」 | 三浦篤氏(東京大学教授) | 講堂 | 120名 |
| 11月1日(日) | 絵画と写真の交差—印象派誕生の軌跡展特別講演会「アートの起源」 | 杉本博司氏(現代美術家) | 講堂 | 190名 |
| 11月15日(日) | 絵画と写真の交差—印象派誕生の軌跡展作品解説会 | 原沢暁子(当館学芸員) | 講堂 | 56名 |
| 11月28日(土) | 絵画と写真の交差—印象派誕生の軌跡展記念講演会② 「印象派 視覚の革命—写真との蜜月時代」 | 五木田聡氏(東京富士美術館副館長) | 講堂 | 90名 |
| 2月5日(金) | あいちトリエンナーレ 2010 トリエンナーレスクール 「名古屋のアートシーンを振り返る」 | 山脇一夫氏(金城学院大学教授) | 講堂 | 95名 |
| 2月7日(日) | 生誕100年記念 堀尾実展 展示解説会 | 山田諭(当館学芸係長) | 講堂 | 105名 |
| 2月20日(土) | 「アーティストが語るアメリカの人種問題 作品上映&トーク」 | ブラッドレー・マッカラム&ジャクリーン・タリー(アーティスト) | 講堂 | 46名 |
| 2月21日(日) | コレクションを極める展連続講座①「人物の魅力を探る」 | 深谷克典(当館学芸課長) | 講堂 | 58名 |
| 3月7日(日) | コレクションを極める展連続講座②「なぜ風景を描くのか」 | 深谷克典(当館学芸課長) | 講堂 | 56名 |
| 3月21日(日) | コレクションを極める展連続講座③「これも静物?あれも静物?」 | 深谷克典(当館学芸課長) | 講堂 | 61名 |

計 1,516 名

(2) 美術講座 コレクション解析学 2009-2010

学芸員がコレクションの中から作品を選び、その魅力や最新の研究を紹介する講座。

| 月日 | 内容 | 講師等 | 場所 | 参加者数 |
|-----------|------------------------------|--------------|----|------|
| 5月31日(日) | マリー・ローランサン《サーカスにて》 | 原沢暁子(当館学芸員) | 講堂 | 80名 |
| 7月26日(日) | ナムジュン・バイク《ロボット家族(お父さん、お母さん)》 | 笠木日南子(当館学芸員) | 講堂 | 27名 |
| 9月27日(日) | 鬼頭鍋三郎《手をかざす女》 | 角田美奈子(当館学芸員) | 講堂 | 61名 |
| 11月29日(日) | 福田美蘭《陶器(スルバランによる)》 | 清家三智(当館学芸員) | 講堂 | 49名 |
| 1月31日(日) | ベン・シャーン《友達の写真屋》 | 竹葉丈(当館学芸員) | 講堂 | 60名 |

計 277 名

第1回：5月31日（日）14:00-

作品：マリー・ローランサン《サーカスにて》1913年頃
演題：若きローランサンの世界
講師：原沢暁子（当館学芸員）

内容：《サーカスにて》を始めとしたローランサンの初期作品は、独特の雰囲気を持っている。人物たちはどこか翳りを帯び、やや奇妙な印象も与えるが、それらの作品は、当時のローランサンが後期の作品にみられる夢のような世界とは異質の世界を持っていたことを感じさせる。《サーカスにて》は、1913年頃に制作されているが、その少し前の1912年、ローランサンは恋人であった詩人のアポリネールとの決別を経験している。後期の作品とは異なった深い愁いを含んだ作品の中に、アポリネールとの恋愛の影響を見ることも可能だろう。アポリネールとの恋愛や当時盛んとなったキュビズムの影響について考えるとともに、ローランサンの生き方にも焦点を当てながら、現代の視点でローランサンをとらえた。

第2回：7月26日（日）14:00-

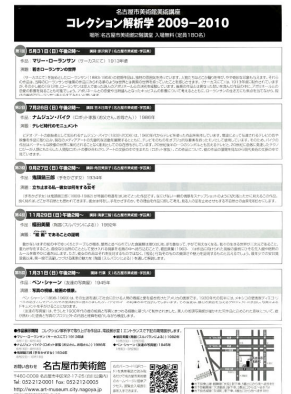
作品：ナムジュン・パイク《ロボット家族（お父さん、お母さん）》1986年
演題：テレビ時代のモニュメント
講師：笠木日南子（当館学芸員）

内容：ビデオアートの創始者として知られるナムジュン・パイク（1932-2006）は、1960年代からテレビを使った作品を制作している。電波によって伝達されるテレビの音や映像を作品に取り込み、現在のメディア・アートの先駆的な活動を展開するとともに、テレビそのものをオブジェ的な要素を持ったものとして使用している。そのため、パイクの作品はバーチャルな映像の世界に集約されることなく、彫刻としての存在感も示している。20世紀後半の文化の一つのシンボルとしてのテレビと、同時期に急激に発達したテクノロジーによる人型ロボットの夢が合成されたところに生まれた《ロボット家族》について、パイク個人の造形活動の展開と現代美術全体の歴史とをあわせて俯瞰しながら紹介した。

第3回：9月27日（日）14:00-

作品：鬼頭鍋三郎《手をかざす女》1934年
演題：立ち止まる私—彼女は何をする女ぞ
講師：角田美奈子（当館学芸員）

内容：鬼頭鍋三郎（1899-1982）が帝展の特選をはじめとった作品が、《手をかざす女》である。なにげない一瞬の情景をスナップショットのように切り取ったかに見えるこの作品は、良く見ればどこか不自然とも思われてくる。彼女は何をし、手をかざすのか。その理由を作品に則して考え、見る人の足を止めさせもする不自然さの由来を明らかにした。



第4回：11月29日（日）14:00-

作品：福田美蘭《陶器（スルバランによる）》
演題：イリュージョン “絵画” であることの証明

講師：清家三智（当館学芸員）

内容：福田美蘭（1,963-）は1989年に当時最年少で安井賞を受賞して以来、第一線で活躍を続けている画家である。彼女は自身の網膜に映り込むものを、視覚的イメージとして分け隔てなく取り込み、「現代」というフィルターを通して作品の中へ登場させている。絵画の成り立ちと切り離すことの出来ない、人間がものを見るという普遍的な行為とその変化の歴史から、福田作品の魅力を考察した。

第5回：1月31日（日）14:00-

作品：ベン・シャーン《友達の写真屋》1945年
演題：写真の視線、絵画の情景。
講師：竹葉 丈

内容：その生涯を通じて社会に於ける人間の尊厳と愛を描き続けたベン・シャーン（1898-1969）は、1930年代の前半には、メキシコの壁画家ディエゴ・リベラの助手としてアメリカでの壁画制作に携わっていたが、当時のイデオロギーを巡る政治的軋轢の中でその壁画は未完のままに終わってしまった。その後、シャーンは合衆国政府機関による、農村の貧困を伝えるプロジェクトに参加し、写真によるドキュメントを手がけていた。

当館が収蔵する《友達の写真屋》は、1938年にオハイオ州コロンバスで彼自身によって撮影された写真に基づいて制作されたものである。黒人の街頭写真師が描かれた同作品に込められた意味について、彼が携わった壁画と写真のプロジェクトの内容と経緯を紹介しながら検証した。

(3) コンサート

日時：2010年2月28日（日）14:00-

演奏：セントラル愛知交響楽団（139カルテット）
作曲：芥川也寸志／トリプティより1章 ほか

お話し：山本雅士（セントラル愛知交響楽団）
深谷克典（当館学芸課長）

会場：地下ロビー（入場無料）

内容：特別展「コレクションを極める」の開催にあわせて、「音楽と美術のコラボレーション」と題してミュージアム・コンサートを行った。芥川也寸志、バッハなどの既存の曲の演奏だけでなく、展覧会の出品作から着想を得て新たに作曲された曲も5曲披露され、どの作品を元にしたのかを当てるクイズなども行った。



(4) 上映会

日時：8月2日（日）13:30 - 14:30

映画：「クラス・ルーヴル」(原題「Classe Louvre」、ジュリエット・セニク監督、フランス、2006年、52分、大日本印刷/ルーヴル-DNPミュージアムラボ提供 仏語上映、日本語字幕つき)

会場：講堂（入場無料）

参加者数：115名

映画「クラス・ルーヴル」の上映にあわせて、ルーヴル美術館の美術館教育について紹介する講演会を行った。

日時：8月2日（日）14:45 - 16:00

演題：「ルーヴルの美術館教育」

講師：松岡智子（倉敷芸術科学大学教授）

会場：講堂（入場無料）

参加者数：74名

2. 子ども対象の事業

(1) 学校休業日の体験活動の推進

平成15年度から、長期休業期間を除く学校休業日（土日祝）を対象に、美術や美術館に親しむプログラムを継続して実施している。平成21年度は「キッズの日」として年間6回のプログラムを開催した。平成19・20年度と2年続けて行った、おとな対象アート・ウォッチングについては、参加者のニーズや美術館として提供すべきプログラム内容を十分に調査・検討した上で再度企画したいとの考えから、本年度の実施は見送った。

① こどものためのワークシート（申込不要）

日時 毎週土曜日・日曜日・祝日及び学校長期休業期間（年130日間）

対象 小中学生

配布数 2,336部

参加方法 当日常設展示室で随時受付

内容 名品コレクション展Ⅰ～Ⅲの各展示内容にあわせて、展示作品をじっくり鑑賞するためのヒントやクイズを載せた「こどものためのワークシート」を配布し、取り組んでもらうことで作家や作品への理解を深めた。

② アート・ウォッチング（葉書による事前申込）

対象 こども（小中学生）とおとな（高校生以上）のグループ

参加費 1名50円 *高校生以上は別途常設展観覧料が必要

会場 常設展示室1・2および講堂

a) カタチでキモチを交換する

日時 5月30日（土）10:00-12:00

参加者数 13名

スタッフ（学芸員）清家三智
（ボランティア）6名

内容 参加した家族に、普段どのようにコミュニケーションをしているかを思い出してもらった後、手紙を書いた経験などを話し合い、直接話して伝えるときと手紙のように文字にして伝えるときの違いや、手紙を書く目的について考えた。次に、もし言葉がなかったらどうやって気持ちを伝えるか意見交換した後、石文（いしぶみ）という古代の風習をヒントに用意された様々な素材から一つを選んで交換し合い、ものの形や質感、手ざわりなどから気持ちを読み取ることを試みた。それから常設展示室へ移動して、久野真（1921-1998）の5mを超える横長の作品《長い手紙—0》を鑑賞し、材質であるステンレスの質感、作品に現れる様々な形とその並び方（文脈）をよく観察し、手紙の内容や、手紙を受け取る相手について想像したことをワークシートにまとめ、考えたことを発表しあった。

b) 美術館・秋の思い出'09

日時 11月29日（日）10:00-12:00

参加者数 22名

スタッフ（学芸員）保崎裕徳
（ボランティア）11名

内容 常設展鑑賞の動機付けとして、所蔵作品60点の複製図版「アートカード」を使った2つの活動を行った。「まちがい探し」では、一部を加工した作品画像をスクリーンに映写し、手元にあるカードの作品図版を比較して違いを探し

た。次に、展示中の作品カード（17枚）を家族で眺め、これから一番見たい作品と、一番変だと思ふ作品を選んだ。その後、常設展示室に移り、1家族に1人のボランティアが付き添って鑑賞を行った。先に選んだ「見たい作品」については、時間をかけて鑑賞し、「変だと思ふ作品」については、本物を見て印象が変わるかどうか確かめた。ボランティアはこどもが作品に関心をもてるように問いかけ、家族のコミュニケーションを促すよう働きかけた。鑑賞後、参加者はロビーに設置してある立体作品、レッド・グループス作《ワールドワース・ビルディング》の前で記念撮影を行った。

c) ちょっと昼まで調査隊

日 時 1月30日（土）10:00-12:00
 参加者数 19名
 スタッフ （学芸員）保崎裕徳
 （ボランティア）12名
 内 容 参加した各家族には「調査カード」が配布され、課題について家族で一緒に考えながら常設展を鑑賞した。「調査カード」には「緑の部屋の《トラルパム霊園のお祭り》を探そう。この絵と日本のお墓参りの違いをさがそう」「赤い部屋の《A.E.氏の肖像》を探そう。この絵が痛んでいないか調べよう」といった指示がある。いずれも部屋の中から該当する作品を探し出し、本物を見ることで回答の得られる問題に取り組む内容になっている。正解がわかった家族は近くにいるボランティアに声をかけて、答えを報告する。ボランティアはその答えにちなんだ別の質問をしたり、答えの決め手になった箇所の観察を改めて促したりして、より深い観察になるよう手助けをした。参加者は課題をクリアした数だけシールをもらい、鑑賞終了後、子どもたちは獲得したシールの数だけ、用意した台紙に特製スタンプを押して記念とした。

③なりきりアーティスト（葉書による事前申込）

対 象 小学生
 会 場 常設展示室1・2および講堂

a) カタチ、ねじれ、組み合わせ

日 時 6月28日（日）10:00-12:00
 参加者数 29名
 参加費 200円
 スタッフ （学芸員）清家三智
 （ボランティア）11名
 内 容 所蔵作品の一つ、フランク・ステラ（1936- ）の《説教》（1990年）を取り

上げ、作品の造形的な特徴について理解を深めるプログラム。

参加者全員が常設展示室で作品を鑑賞し、不定形で反りやねじれのある金属板が組み合わさって出来ていることやその入り組んだ状態を厚紙の模型を使って確認した後、講堂に戻ってグループに分かれ、オリジナルの作品を制作した。作品の鑑賞を通して気づいたことを応用し、平面である両面色違いの画用紙を使って立体的な作品にするため、各自が工夫をこらした。

b) 点と線のミステリー

日 時 10月24日（土）10:00-12:00
 参加者数 27名
 参加費 150円
 スタッフ （学芸員）清家三智

（ボランティア）10名

内 容 作品のなかに見える「点と線」に注目して、池田龍雄（1928- ）のペン画作品を中心に常設展示室を鑑賞した後、参加者は「点と線」だけの表現に挑戦した。制作の前に学芸員によるデモンストレーションがあり、用意された5種類の画材（鉛筆、ボールペン、水性サインペン、油性角太ペン、割り箸ペン）にそれぞれどんな特徴があり、どのような表現に適しているかが紹介された。参加者はそれを参考に、自分の表現したいイメージに見合う画材を慎重に選んで制作に取り組んでいた。また使い方を工夫して、新しい表現を発見する熱心な参加者もいた。点が連続すると、線になる。線は真っ直ぐだったり、曲がったり、折れたりする。線の両端を結びと一つの形ができ、線を重ねると面になる。平面作品における基本的な造形要素を確認し、常設展示室の作品を「点と線」という視点から見直すことによって、太さや勢い、色味によって変わる線の表情の豊かさに気づくとともに、身近な絵の描き方の一つである“線描”の広がりや奥深さ、多様さを発見することをねらいとした。



c) 自分のカラダを再発見する

日 時 2月28日(日) 10:00-12:00

参加者数 31名

参加費 150円

スタッフ (学芸員) 清家三智

(ボランティア) 10名

内 容 体の一部である耳に造形的な面白さを見出した三木富雄(1938-1978)の彫刻作品《耳》(1972年)は、材質、大きさ、色、すべてが人間の耳とはかけ離れているが、形状は耳そのものである。参加者全員で作品を鑑賞し、作者は耳の形のどんなところに興味を抱いたのか、意見交換を行った。カメラ付き携帯で各自の耳の写真を撮影し、他者のそれと比較観察するなどの活動も考えをふくらませる参考にした。その後、各自が親指にインクをつけ拇印をとり、虫眼鏡で形をじっくり観察しながら B5 大の画用紙に臨模を行った。

自分の身体(の一部)をじっくり観察する機会から、普段は気づかない複雑な形状や形態を意識し、身近な造形物に改めて目を向け、面白さを探究するきっかけとした。

絵画作品に対する新たな視点を拓けるきっかけを作った。

展示、ワークショップともに企画展示室1を会場として使用し、自由に見学できるようにしたところ、創作活動に関心のある一般来館者からの反響が多くあった。特に、成人を対象に同内容のワークショップを開いて欲しいといった強い要望が寄せられたが、これは画材そのものに焦点を当てた展覧会の珍しさや、大学やカルチャーセンターでも学ぶことの少ない内容を取り上げたことが起因していると考えられる。来館者からの貴重な意見として、今後の企画・運営方法を検討する上で参考にしたい。



タイトル: 「絵を“つくる” 画材ができるまで」
 期 間: 7月18日(土) - 8月16日(日)
 会 場: 企画展示室1
 企 画: 清家三智(学芸員)
 協 力: 目黒区美術館、愛知県立芸術大学

① 展示

内 容: 目黒区美術館が作成・所蔵している展示用資料「画材の引き出し博物館」の中から主に絵画材料を扱った引き出し型の資料26点と、それに関連する技法で制作されている当館の所蔵作品とを組み合わせで紹介した。また、ワークショップで実際に使用するキャンバス張り器や巻きキャンバス、油絵具を練るためのガラス練り棒などもあわせて展示した。

出品リスト: 以下の通り

(2) 夏休みこどもの美術館

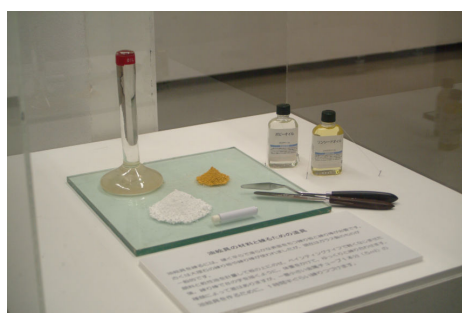
平成21年度は「絵を“つくる” 画材ができるまで」と題し、絵画材料の歴史や成立について展示およびワークショップ、ギャラリートークを通して知ることで、

(名古屋市美術館所蔵作品)

| No. | 作家名 | 作品名 | 技法・材質 | サイズ(cm) |
|-----|--------------|--------------|----------------------|-------------|
| 1 | 藤井外喜雄 | [少年像] | 油彩・キャンバス | 41.2x27.5 |
| 2 | 渡辺幾春 | 蛭 | 絹本着彩 軸 | 123.5x54.2 |
| 3 | ジョン・ディアマン | 風景 | 油彩・板 | 22.6x30.4 |
| 4 | モーリス・ド・ブラマンク | 雪の村 | 油彩・キャンバス | 54.2x65.0 |
| 5 | ベン・シャーン | リディツェ | テンペラ・板 | 129.5x99.1 |
| 6 | 根岸芳郎 | 91-3-8 | アクリル・キャンバス | 200.0x270.0 |
| 7 | 吉川三伸 | 1940年追憶 A | 水彩・紙 | 162.0x73.0 |
| 8 | デイヴィッド・ナッシュ | 《降りてくる舟》の提案図 | 鉛筆、インク、木炭、コンテ、パステル・紙 | 56.0x76.0 |
| 9 | 山本鼎 | 手 | 鉛筆・紙 | 30.5x22.0 |
| 10 | 山本鼎 | [タバ] | 鉛筆・紙 | 26.0x37.5 |

〈目黒区美術館所蔵「画材の引き出し博物館」〉

| No. | タイトル | 資料内容 | サイズ(cm) |
|-----|--------------|---------------------------------|---------------|
| 1 | 支持体 | 日本画用紙各種と絵絹 | 50.0x53.0x4.0 |
| 2 | 支持体 | キャンヴァスの素材となる麻と地塗り | 50.0x53.0x4.0 |
| 3 | 筆の材料 | 筆の材料となる動物の毛 | 50.0x53.0x4.0 |
| 4 | 筆 | 西洋で用いられる油彩画用の筆(単毛) | 50.0x53.0x4.0 |
| 5 | 筆 | 日本(東洋)で用いられる画用筆(混毛) | 50.0x53.0x4.0 |
| 6 | 刷毛 | 西洋で用いられる刷毛 | 50.0x53.0x4.0 |
| 7 | 刷毛 | 日本(東洋)で用いられる刷毛 | 50.0x53.0x4.0 |
| 8 | にかわ | 各種にかわのサンプル | 50.0x53.0x4.0 |
| 9 | 天然顔料(天平時代) | 赤、青、緑、黄、白のもととなる天然顔料および墨 | 50.0x53.0x4.0 |
| 10 | 天然顔料(現代) | 青、緑、赤、白のもととなる天然顔料 | 50.0x53.0x4.0 |
| 11 | 人工顔料 | 新岩絵具のサンプル(84種) | 50.0x53.0x4.0 |
| 12 | 絵具(日本画) | 水干、鉄鉢、チューブ入り、顔彩、棒絵具 | 50.0x53.0x4.0 |
| 13 | 油彩画の昔と今 | 天然顔料と人工顔料、チューブのちがいなど | 50.0x53.0x4.0 |
| 14 | 画用液 | 油脂および樹脂のサンプル | 50.0x53.0x4.0 |
| 15 | 天然顔料(油彩画) | 黄、赤、緑、青、白、黒のもととなる天然顔料 | 50.0x53.0x4.0 |
| 16 | 人工顔料 | 人工顔料のサンプル(60種) | 50.0x53.0x4.0 |
| 17 | 顔料から絵具へ | 顔料に添加する各種素材と、画材の見本 | 50.0x53.0x4.0 |
| 18 | 練り材による色味の違い | 顔料5種と練り材4種の掛け合わせ(色見本) | 50.0x53.0x4.0 |
| 19 | フレスコ画 | フレスコ画の組成構造 | 50.0x53.0x8.0 |
| 20 | テンペラ画 | テンペラ画の組成構造 | 50.0x53.0x4.0 |
| 21 | 合成樹脂絵具 | さまざまな合成樹脂とアクリル絵具の種類 | 50.0x53.0x4.0 |
| 22 | 水彩画 | 透明水彩／不透明水彩とそれぞれの塗り見本 | 50.0x53.0x4.0 |
| 23 | 木炭・コンテ | 画用木炭とその原木(ヤナギ、クワ、カバなど)、コンテ、消し道具 | 50.0x53.0x4.0 |
| 24 | クレヨン・オイルパステル | さまざまな形状のクレヨン・オイルパス | 50.0x53.0x4.0 |
| 25 | パステル | さまざまな形状・色のパステル | 50.0x53.0x4.0 |
| 26 | 鉛筆 | 9H～H、F、HB、B～6B、EB、EEほか、消しゴム各種 | 50.0x53.0x4.0 |



②事前申込制の講座

A. キャンヴァスを張ってみよう

日 時：a) 8月9日(日) 10:00-12:30
b) 8月9日(日) 14:00-16:30

対 象：小学4年生～中学生

参加者数：のべ15名

参加費：1000円

講 師：井垣理史(アーティスト)

スタッフ：清家三智(学芸員)

アシスタント：玉井裕、中川真希子、名川史織、藤村茂登、丸野公平、山田敦子

内 容：普段とりたてて考えることのないキャンヴァスという絵画材料を知るプログラム。展示資料を参照しながら同じ号数でも用途によって形が異なること(縦横比の違い)を説明し、出来上がったキャンヴァスに何を描きたいかを想像させて、参加者に木枠を選ばせた。その後、木枠を組み立て、専用の張り器を使ってキャンヴァスを張る作業を通して、使われている素材の特徴や形状、構造への理解を深めた。

キャンヴァスは木枠に張られた状態で市販もされているが、画家の用いる大きなサイズは特注するか、自分で張るしか

い。支持体を自分で用意する体験から、絵を描きはじめるまでに必要な数多くの作業の存在に目を向ける貴重な機会となった。



B. 油絵具をつくってみよう

日 時：a) 8月11日(火) 10:00-16:00
b) 8月12日(水) 10:00-16:00

対 象：小学4年生～中学生

参加者数：のべ21名

参加費：500円

講 師：寺田栄次郎(金沢美術工芸大学教授、絵画組成研究家)

スタッフ：(学芸員) 清家三智、保崎裕徳
(調査員) 山田哲夫

アシスタント：井垣理史、玉井裕、山田敦子

内 容：西洋の代表的な画材である油絵具の調製を体験するプログラム。展示資料を参照しながら、金属チューブがなかった時代の保存方法や、絵具メーカーや画材店がなかった頃の画家はどのように絵を描いていたのか、講師からの話を聞いた後、ガラス板の上で混ぜる顔料と植物油がボソボソと粉っぽい状態からなめらかでツヤのある見慣れた絵具の状態まで徐々に変化していく過程を、全員が練り合わせを体験しながらじっくり観察した。出来上がった絵具は、ペインティングナイフを使って空の金属チューブに詰め、各自ラベルを付した。黄色顔料(天然土)の乾煎りによる色の調整にも挑戦したほか、講師による実験では、用いる油の特性によって絵具の粘性や色味に現れるちがいをクイズ形式で紹介した。必要とする画材がととのえられて初めて



絵を描くことが可能になると認識した参加者は、新鮮な驚きと発見を得た様子で、プログラム終了後も積極的に講師に質問を投げかけていた。

③ ギャラリートーク

日 時：7月25日(土)、7月30日(木)、
8月5日(水) いずれも13:30-14:30

対 象：小中学生とその保護者

参加者数：のべ25名

参加費：無料

講 師：清家三智(学芸員)

内 容：展示資料を紹介しながら、それぞれの絵画材料の歴史や成り立ち、関連性などについて分かりやすく解説した。言葉のみの説明でイメージしづらい部分については可能な範囲で現物資料を用意し、そのつど手に取ってもらったり匂いを嗅いでもらったりして補足した。



(3) その他

中文化センター夏休み子ども行事への協力

日 時：8月18日(火) 13:30-15:00

場 所：中文化センター

参加者数：20名

対 象：小学生とその保護者

参加費：無料

講 師：保崎裕徳(学芸員)

内 容：夏休み期間中、中文化センターで実施する子ども行事のひとつとして、名古屋市中区在住の小学生と保護者を対象に、美術にふれ親しむ講座として「アートゲーム」と、お絵描き「えらんだ色で、絵をかこう」を実施した。スライドを使い名古屋市美術館について簡単に紹介したあと、当館の所蔵作品の複製図版「アートカード」をもちいて、一定の基準にもとづいて絵の順番を考える「温度計ゲーム」を行った。色温度について紹介したあとで、好きな色の色鉛筆を3本のみもちいて夏休みの思い出の場面を描くことに挑戦した。

3. 学校対象事業

(1) ボランティアによる学校等団体向けガイド

トーク

名古屋市美術館では、常設展を鑑賞する学校等の団体来館者に対して、希望によりボランティアによるガイドトークを実施している。

<団体向けガイドトーク実施結果>

これは、来館者が10名以内のグループにわかれて、ボランティアと一緒に展示室をまわりながら、会話を通してじっくりと美術を鑑賞するものである。本年度はインフルエンザの流行に伴い、申込のあった団体のうち数件の実施が取り止めになっている。

| No. | 月日 | 曜日 | 団体名 | 見学者数 | 引率者数 | 対応ボランティア人数 |
|-----|--------|----|--|-------|------|------------|
| 1 | 6月5日 | 金 | 名古屋市立猪子石小学校5年生 | 83 | 4 | 8 |
| 2 | 6月10日 | 水 | 岐阜県立岐阜工業高等学校デザイン工学科2年生 | 40 | 2 | 5 |
| 3 | 6月26日 | 金 | 名古屋市立西城小学校5年生 | 48 | 3 | 6 |
| 4 | 7月18日 | 土 | 長野県飯田市上郷身障協会 | 20 | 0 | 2 |
| 5 | 7月24日 | 金 | 三重県伊勢市立小俣中学校美術部 | 9 | 1 | 2 |
| 6 | 7月28日 | 火 | 名古屋市立矢田中学校美術部 | 13 | 1 | 2 |
| 7 | 8月28日 | 金 | 一宮市ひらばやし造形教室 | 21 | 1 | 2 |
| 8 | 9月9日 | 水 | 愛知県愛知郡長久手町立北小学校3年生 | 130 | 9 | 4 |
| 9 | 9月10日 | 木 | 名古屋市立富士見台小学校4年生 | 78 | 2 | 8 |
| 10 | 9月11日 | 金 | 名古屋市立富士見台小学校4年生 | 76 | 2 | 8 |
| 11 | 9月16日 | 水 | 名古屋市立甚目寺南小学校3年生 | 122 | 4 | 8 |
| 12 | 10月2日 | 金 | 名古屋市立小幡北小学校5年生 | 72 | 2 | 8 |
| 13 | 10月6日 | 火 | 岐阜県揖斐郡大野町PTA連合会 | 46 | 0 | 5 |
| 14 | 10月7日 | 水 | 名古屋市立御園小学校5,6年生 | 22 | 4 | 6 |
| 15 | 10月7日 | 水 | 小牧市立陶小学校3年生 | 47 | 3 | 6 |
| 16 | 10月9日 | 金 | 名古屋市立飯田小学校3年生 | 85 | 4 | 6 |
| 17 | 10月17日 | 土 | 愛知政治大学院 | 9 | 0 | 2 |
| 18 | 10月27日 | 火 | 名古屋市立御器所小学校PTA | 33 | 3 | 4 |
| 19 | 10月30日 | 金 | 名古屋市立本郷小学校6年生 | 59 | 2 | 8 |
| 20 | 11月20日 | 金 | 名古屋市立笠寺小学校4年生 (第60回 造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会) | 29 | 3 | 10 |
| 21 | 11月20日 | 金 | 名古屋市立笠寺小学校4年生 | 61 | 2 | 8 |
| 22 | 11月25日 | 水 | 名古屋市立徳重小学校5年生 | 72 | 3 | 16 |
| 23 | 11月27日 | 金 | 名古屋市立牧野小学校6年生 | 30 | 2 | 4 |
| 24 | 12月1日 | 火 | 岐阜県加茂郡白川町白川北地区公民館女性学級 | 6 | 0 | 2 |
| 25 | 12月1日 | 火 | 名古屋市立大宝小学校6年生 | 62 | 3 | 8 |
| 26 | 12月9日 | 水 | 名古屋市立白鳥小学校4年生 | 68 | 2 | 8 |
| 27 | 2月2日 | 火 | 名古屋市立大手小学校5年生 | 99 | 3 | 6 |
| 28 | 2月12日 | 金 | 名古屋市立豊ヶ岡小学校4年生 | 47 | 3 | 6 |
| 29 | 2月24日 | 水 | 名古屋市立吹上小学校5年生 | 22 | 1 | 4 |
| 30 | 2月23日 | 火 | 名古屋市立山根小学校5年生 | 32 | 1 | 9 |
| 31 | 3月16日 | 火 | 瀬戸市立品野中学校1年生 | 13 | 1 | 2 |
| 計 | | | | 1,554 | 71 | 183 |

(2) アートカード貸出実績

アートカードは、名古屋市美術館の所蔵作品の中から60点を選び、はがき大の複製図版に仕立てた鑑賞学習用補助教材である。名古屋市立の小中学校に対しては各区に設けられた保管校を通して、それ以外の学校・団体に対しては美術館から直接貸出を行い、鑑賞学習の普及に努めている。

<平成21年度保管校一覧>

| 区 | 学校名 | ケース数 | 配布ケース番号 |
|-----|--------|------|----------------|
| 千種区 | 東山小学校 | 3 | 1、2、3 |
| 東区 | 東桜小学校 | 3 | 4、5、6 |
| 北区 | 飯田小学校 | 4 | 7、8、9、10 |
| 西区 | 榎小学校 | 3 | 11、12、13 |
| 中村区 | 中村小学校 | 3 | 14、15、16 |
| 中区 | 御園小学校 | 3 | 17、18、19 |
| 昭和区 | 北山中学校 | 3 | 20、21、22 |
| 瑞穂区 | 萩山中学校 | 3 | 23、24、25 |
| 熱田区 | 白鳥小学校 | 3 | 26、27、28 |
| 中川区 | はとり中学校 | 4 | 29、30、31、33 |
| 港区 | 東港中学校 | 3 | 34、35、36 |
| 南区 | 柴田小学校 | 3 | 38、39、40 |
| 守山区 | 森孝中学校 | 4 | 42、43、44、45 |
| 緑区 | 太子小学校 | 5 | 46、47、48、49、50 |
| 名東区 | 貴船小学校 | 4 | 51、52、53、54 |
| 天白区 | 御幸山中学校 | 4 | 55、56、57、58 |

| | | |
|--------|------------|--------|
| 瑞穂 | 陽明小学校 | 2 |
| | 汐路小学校 | 2 |
| | 萩山中学校 | 1 |
| 熱田 | 千年小学校 | 2 |
| | 白鳥小学校 | 1 |
| | 白鳥小学校 | 1 |
| | 千年小学校 | 2 |
| | 大宝小学校 | 1 |
| | 教員免許更新 | 1 |
| | 中川 | 千音寺小学校 |
| 八幡中学校 | | 1 |
| 五反田小学校 | | 1 |
| 守山 | 大森小学校 | 2 |
| | 志段味西小学校 | 1 |
| | 小幡北小学校 | 2 |
| | 瀬古小学校 | 2 |
| | 小幡北小学校 | 2 |
| 緑 | (南区) 明治小学校 | 1 |
| | (南区) 笠寺小学校 | 1 |
| | 太子小学校 | 2 |
| 名東 | 豊が丘小学校 | 2 |
| | 豊が丘小学校 | 2 |
| 天白 | 御幸山中学校 | 1 |
| | 植田小学校 | 1 |

貸出件数：40 貸出数：61

<美術館からの直接貸出>

| 借用者 | ケース数 |
|-------------------|------|
| 日本文教出版株式会社 | 1 |
| 尾張旭市立東中学校 | 1 |
| (市内) 栄小トワイライトスクール | 1 |
| 名古屋市立桶狭間小学校 | 1 |
| 名古屋市立中央高校 | 1 |
| 尾張旭市立城山小学校 | 1 |
| 春日井市立玉川小学校 | 1 |
| 愛知教育大学 | 1 |
| 静岡アートギャラリー | 1 |
| 長久手町立北小学校 | 1 |
| 一宮市立神山小学校 | 1 |
| 名古屋市立牧の原小学校 | 1 |
| (広島県) 三次市立三良坂小学校 | 1 |
| 蒲郡市立竹島小学校 | 1 |
| 椋山学園大学教育学部 | 1 |
| 安城市立祥南小学校 | 1 |
| 春日井市立篠木小学校 | 2 |
| 江南市立古知野南小学校 | 2 |
| 名古屋市立德重小学校 | 1 |
| 犬山市立犬山東小学校 | 1 |
| 瀬戸市立品野中学校 | 1 |
| 阿久比町立阿久比中学校 | 1 |

貸出件数：22 貸出数：24

<保管校から貸出>

| 区 | 貸出先 | ケース数 |
|----|------------------|------|
| 千種 | 東山小学校 | 3 |
| | 東山小学校 | 3 |
| | 宮根小学校 | 3 |
| | 今池中学校 | 2 |
| | 若水中学校 | 2 |
| 東 | 東桜小学校 | 1 |
| 北 | 辻小学校 | 1 |
| 西 | 児玉小学校 | 1 |
| | 大宝小学校 | 1 |
| | 中小田井小学校 | 1 |
| 中村 | 中村小学校 | 1 |
| 中 | (守山区) 西城小学校 | 1 |
| | (南区) 笠寺小学校 | 1 |
| 昭和 | 吹上小学校 | 1 |
| | 北山中学校 (PTA セミナー) | 2 |
| | 桜山中学校 | 2 |

(3) 出前アート体験

名古屋市教育局の施策である「その道の達人派遣事業」の一環として、平成 21 年度は市内小学校 8 校において「出前アート体験」を実施した。事前に実施校の担当教諭と授業の目的などを打合せするとともに、内容に応じて学芸員およびボランティアスタッフを派遣した。なおプログラムの一つである「アートゲームに挑戦」では、貸出用教材としても活用しているアートカードを使って授業を展開した。

①天白区・表山小学校

プログラム名 作品に託されたメッセージ
日 時 6月10日(水) 13:45-14:30
場 所 特別活動室
対 象 6年生3クラス90名
講 師 山田諭(学芸係長)
内 容 ホワイトボードに掲示した岡本太郎《明日の神話》大型複製図版をよく観察し、何が描かれているか児童に自由に発言させ、話し合った後で、作品全体として作家が何を伝えようとしたのかを考え、意見交換を行った。

②守山区・小幡北小学校

プログラム名 アートゲームに挑戦
日 時 6月16日(火) 9:45-11:35
(2限目9:45-10:30/3限目10:50-11:35)
場 所 図工室
対 象 2年生3クラス85名
(1時限に半数ずつ実施)
講 師 清家三智(学芸員)
ボランティア8名
内 容 児童を8つのグループに分け、各グループにスタッフ1名が付き、以下の活動の運営・支援を行った。

1) 分類ゲーム

アートカード 60 枚を図柄が見えるようテーブルに広げ、「人が出てくる」「動物が出てくる」「景色が描いてある」「それ以外」の4つのテーマに合うよう、グループで協力しながらカードを分類した。題材をさがして分けるという活動を通して、作品一つ一つをよく観察することを促した。複数のテーマに関連して分けるのが難しい作品については、「どちらが作品の主役だと思う？」などの言葉をかけ、児童同士が意見を出し合って答えを導き出せるような雰囲気作りを心がけた。

2) マッチングゲーム

アートカード 60 枚を図柄が見えないよう伏せてテーブルに広げ、順番に各自が神経衰弱の要領で2枚のカードを選んでめくる。描かれている題材や使われている色など、両方の作品に共通する事柄を指摘できたらカードを自分のものにできる。共通点をさがしながら

ら作品を観察し、それぞれの特徴を発見・比較することをねらいとした。

3) 「どこが?」「どのように?」

アートカード 60 枚を図柄が見えるようにテーブルに広げる。スタッフから提示された短冊に書いてあるテーマ「あたたかい/こわい」に合っていると感じる作品を、各自で1枚ずつ選び、「どこが」「どのように」「あたたかい/こわいと感じたのか、理由をグループ内で発表しあう。作品の観察に児童個人の考え方を加えることで、各自の感じ方のちがいに気づききっかけとした。

③名東区・牧の原小学校

プログラム名 アートゲームに挑戦
日 時 9月8日(火) 11:40-12:25
場 所 図工室
対 象 2年生1クラス34名
講 師 保崎裕徳(学芸員)
ボランティア6名
内 容 児童は6グループに分かれて、以下の活動を行った。

1) たんていゲーム

美術作品の一部(ディテール)をスクリーンに拡大映写し、もともっている作品はどれか、場に広げたアートカードの画像から探し出す。正解者には、どうしてわかったのか理由をたずねるが、これは絵の特徴を言葉で説明する練習である。作品を観察するきっかけを与え、クイズ形式、競争形式により場を盛り上げるための活動。

2) プレゼントはどれにする?

「担任の先生が部屋をきれいに模様替えしました。先生は家に飾れる美術品が欲しいな、と思っています。どれがいいと思いますか」と課題を与えられ、生徒はグループで相談してふさわしいものを60枚のカードの中から選び出す。選んだ理由はA3の紙に簡条書きで書き留める。その後グループごとに結果を発表する。生徒は自分自身の感じ方で絵の内容を解釈するが、課題に沿って他の生徒と共に考えていく中で、解釈が深くなったり、変更を迫られたり、意見が対立したりする。作品を解釈する楽しみをおぼえ、作品をきっかけとしたコミュニケーションを楽しむための活動。

その後、個人の見方をはかるために、「今度は自分の家族の誰かが気に入るような作品を見つけてください。どんなところがいいですか。誰にあげますか。どうしてこれをプレゼントしたいのですか」と課題を与える。課題が印刷されたワークシートが一人ずつ配布され、生徒はそこに意見を書きとめた。

④千種区・宮根小学校

プログラム名 作品に託されたメッセージ
日 時 9月14日(月) 9:50-10:35
場 所 多目的室
対 象 6年生2クラス 59名
講 師 深谷克典(学芸課長)
内 容 世界で一番有名な絵画《モナリザ》を取り上げ、この絵に潜んでいる謎(モデル、表情、背景)を解き明かしながら、なぜこの絵が傑作と言われるのかを考えた。また、《モナリザ》から約400年後に描かれた《おさげ髪の少女》と比較しながら、二つの絵の表現方法の違いと、なぜそのような違いが生まれるのかについても、児童との意見交換を通して考えた。

⑤中川区・明正小学校

プログラム名 アートゲームに挑戦
日 時 10月27日(火) 9:45-10:30
場 所 ランチルーム
対 象 1年生2クラス 47名
講 師 角田美奈子(学芸員)
ボランティア4名
内 容 名古屋市美術館を例にして美術作品と美術館について紹介したあと、各クラス3つ、計6つのグループに分かれて以下の活動を行った。スタッフは担任教諭3名とともに活動の支援を行い、よく見ることがを促すゲーム(探しものゲーム)を通して美術作品に親しむきっかけ作りをした。
1) 10人を探せ!

画面を見せた60枚のアートカードから1人1枚ずつカードを選び、女性像だけで10人になるようにする。グループのメンバーは8人または9人のため、1人ないし2人が2人像を選ぶ必要がある。男性が混じっていないか、人数はあっているかを話し合うなかで、他のメンバーと気づきや意見を分かちあった。

2) 動物を探せ!

画面を見せた60枚のアートカードから1人1枚ずつ動物のいるカードを選ぶ。カードのどこにどんな動物がいるかを発表し、気づきを分かちあった。

3) 果物を探せ!

画面を見せた60枚のアートカードから果物のあるカードを選ぶ。メンバー分の該当カードがないので早く見つけた順にカードを取るが、皆がないというか時間になるまで探しつづける。まとめとしてカードのどこにどんな果物があるかを皆で確認した。

⑥天白区・植田東小学校

プログラム名 アートゲームに挑戦
日 時 12月17日(木) 9:40-12:25
(2限目 9:40-10:25/3限目 10:45-11:30/
4限目 11:40-12:25)
場 所 特別活動室
対 象 3年生3クラス 110名
(クラスごとに実施)
講 師 清家三智(学芸員)
ボランティア7名
内 容 児童を7つのグループに分け、各グループに1名のスタッフが付き、以下の活動の運営・支援を行った。

1) アートかるた

アートカード60枚を、図柄が見えるようテーブルに広げる。学芸員が読み上げる3つのヒントをもとに、それに当てはまる作品カードを探して取る。言葉からイメージを連想すること、作品の細部をよく観察することの練習のための活動。なかには3つのヒントだけでは答えとなる一点を導き出せない設問も用意し、どんなヒント(=作品に見られる要素・特徴)を加えれば正解にたどり着けるかを児童に考えてもらいながら、次の活動へとつなげた。

2) 見たモン勝ち

各自、気に入った/気になった作品を1枚選ぶ。カードの中に見えるものを丁寧に観察し、先のアートかるたで読み上げられた文章を参考に、短いセンテンスでひたすら言葉にして書き出した(目標30個)。自分の目が認識しているものを一つずつ言葉に置き換える活動を通して、本当によく見るとはどのようなことかを意識するきっかけとした。

⑦南区・柴田小学校

プログラム名 名画の秘密をさぐる
日 時 1月13日(水) 13:45-14:30
場 所 多目的室
対 象 3年生1クラス
4年生1クラス合同、62名
講 師 原沢暁子(学芸員)
内 容 《おさげ髪の少女》をプロジェクターで映し出し、何がどのように描かれているかよく観察した後、少女がどんなことを考えているか、少女はどんな子かを児童に想像してもらい自由に筆記した。数人に考えを発表してもらい、同じ作品であっても各自の見方や印象はさまざまであることに気づかせた。モディリアアーニについて、また他の作品も簡単に紹介した後、再度《おさげ髪の少女》を見直し、最初とは別の見方ができるようになるなど、時間をかけて眺めることで、より作品と仲良くなれることを体験した。

⑧中川区・西中島小学校

プログラム名 アートゲームに挑戦

日時 2月23日(火) 9:45-11:30
(2限目 9:45-10:30/3限目 10:45-11:30)

場所 プレイルーム

対象 5年生2クラス 69名(クラスごとに実施)

講師 清家三智(学芸員)
ボランティア6名

内容 児童を6つのグループに分け、各グループにスタッフ1名がつき、以下の活動の運営・支援を行った。

1) マッチングゲーム

アートカード60枚を、図柄が見えるよう場に広げる。ジャンケン等で順番を決め、各自2枚のカードを選んで共通点を指摘する。グループ全員の同意が得られたら、カードは自分のものになる。共通点をさがす活動を通じて作品の観察を促したが、高学年ということで「誰かが指摘した共通点は二度使えない」などのルールを設定し、難易度を上げた。

2) 記憶力テスト

ダ・ヴィンチ《モナリザ》をプロジェクターで10秒間だけ投影し、消す。絵に描かれていたものやその様子をどのくらい記憶しているか児童に問いかけた後、再度プロジェクターで映し出し、記憶との照合、さらに最初の観察では気づかなかったことを確認し、ふだんの“見る”では細かいところを観察しきれていないことを意識した。

3) 観察王ゲーム

児童は気に入った／気になった作品カードを一枚選び、選んだ理由を書いた後、カードをよく観察し、作品のなかに見えるものを言葉にして書き出した(目標30個)。自分の目が捉えているものを一つずつ言葉に置き換える活動を通して、本当によく見るとはどういうことかを考えるきっかけとした。

(4) 第5回 教師のための美術館利用研修会

名古屋市立の小中学校、高等学校、養護学校の教員を対象に、美術館の基本的活動と児童・生徒の美術鑑賞について紹介し、授業案を参照しながら当館が提供する常設展ギャラリートークやアートカードを用いた実践を体験することを通して、学校における美術館の利用法を紹介した。

日時: 7月29日(水) 10:00-16:00

場所: 名古屋市美術館 講堂および常設展示室

参加者数: 44名

講師: (学芸員)山田諭、清家三智、保崎裕徳

スタッフ: (学芸員)角田美奈子(調査員)山田哲夫(ボランティア)6名

(5) 名古屋市造形研究会への協力

名古屋市内の幼稚園・保育園、小・中学校および高等学校を主な会場として、第60回造形表現・図画工作・美術教育研究全国大会(愛知大会)が開催された。美術館も分会場として選ばれ、10余年続いてきた学校との連携の成果と今後の課題を提起することをねらいとして、展示室を利用した公開授業を展開した。授業の企画・検討にあたっては市内小学校教諭3名と市内中学校教諭4名が中心となり、それぞれ保崎学芸員と清家学芸員が約半年間にわたって助言指導を行った。

日時 11月20日(金) 9:30-15:50
* うち公開授業は10:00-10:45
(中学校の部は-10:50)

場所 (小学校の部) 常設展示室1・2
および地下ロビー
(中学校の部) 企画展示室1・2および講堂

参加者数 (児童) 小学4年生29名
(生徒) 中学2年生36名

大会見学者 156名

授業内容 (小学校の部)

「見つけ出せ!アート隊~名古屋市美術館へ行こう~」

児童は6つのグループに分かれ、それぞれ事前授業でアートカードを見て選んでいた作品と、常設展示室で実際に見た作品とを比較し、新たに発見した表現の面白さやよさについて話し合った。その後、学校に飾りたい作品をグループで話し合っ一つ選んだ。

(中学校の部)

「キミならどうする!?~写真家誕生!

画家廃業?~」

特別展『絵画と写真の交差』を3つのグループに分かれて鑑賞し、教員によるギャラリートークを通して、写真の誕生が私たち人間のもの見方や絵画の発展に与えた影響を作品から読み取っていった。事前授業では写真機のもととなったカメラ・オブスキュラを使っの描画体験や、当時の画家や写真家に扮した教員による寸劇を通して、時代や社会の変化が美術にも大きく関わっていることを理解する足がかりを作った。



平成 21 年 10 月、第 6 期ボランティアの登録が完了した。同じく 10 月、従来、ボランティア活動に関するルールを集約し引き継がれてきていた「マニュアル」を整理し、「名古屋市美術館ボランティア活動基準」を新設し、概要を説明した。

活動については、今年度の「名古屋まつり」において、「まるごと 1 日ギャラリートーク」の試みは 2 回目を迎えた。実施後、来年度以降これにどう取り組むかを足掛かりに、ボランティア活動全般について話し合いの場を持った。第 6 期のメンバーからの新鮮なアイデア、第 1 期～5 期からも、これまでの経験を踏まえた提案やアドバイスなど、活発に意見交換がなされた。また、美術館への要望などにも話が及んだ。

ボランティア活動について、これを続ける理由や姿勢は個々によって異なるものの、「団体としての総体的意欲」の継続が課題である。「互いに助け合い、互いを励みとする土壌」を保つ中に「それぞれが自ら考え行動できる状態」を作ることが重要である。不可欠な要素は「楽しさ」ではなかろうか。今後も、ボランティア及び館内の職員含む相互間での意見交換の機会を多く設け、この「楽しさ」と、「市民にとっての美術館である」という認識の維持に努め、ボランティア全員が自信を持って活動できるよう支えていきたい。

(1) ボランティア登録者 (2009 年 4 月-2010 年 3 月)

- 第 1 期：江川敦子、大竹希至子、長尾淑弘、山田泰子 計 4 名
- 第 2 期：木村千代子、黒柳美紀子、桜井泉、杉山博之、辻本郁代、永吉八州子、藤栄朋子、堀井香里ほか、計 10 名
- 第 3 期：今瀬弘美、小田光枝、神谷多恵子、北村圭衣子、榊原民恵、真田薫、祖父江麻美、竹山満里子、中嶋厚、三島きょう子ほか、計 12 名
- 第 4 期：赤尾和江、天野恵子、荒川千華、井戸田早苗、加藤浩司、加藤真由美、久保田典子、栗木恵子、佐方希与子、坂田典子、白野路子、杉浦直子、田内徳隆、土田晶子、寺西春美、中野芳枝、安井まり子、山田由紀子ほか、計 21 名
- 第 5 期：赤尾和子、加藤貞典、加藤智美、北川恭子、木野道子、佐藤紀子、鈴木律子、瀧川友子、永田高志、野口健弘、原田直美、引地順子、平山千枝、藤井万巳、向井弓子、村松敦子、森和美、山田優子ほか、計 24 名
- 第 6 期：伊藤えつ子、太田久美、荻野知恵子、梶田清美、加藤枝理香、桑名晴香、坂井千恵、中村俊雄、林梨加、藤巻ますみほか、計 18 名

(2) 定例会

定例会は原則として毎月第 2 土曜日の午前中に開催した。ボランティア間の連絡・調整の他に以下のような研修を行った。

| 日時 | 時間 | 内容 | 講師 |
|--------|-----------|------------------------------------|------------------------|
| 4月11日 | 午前10時-12時 | 新年度の係の活動目標について 係活動/ボランティア活動について | ボランティア 清家学芸員 |
| 5月9日 | 午前10時-12時 | エコール・ド・パリと同時代の美術の動向 | 深谷学芸課長 |
| 6月13日 | 午前10時-12時 | コレクションと画材の関係について | 清家学芸員 |
| 7月11日 | 午前10時-12時 | 6期の研修内容について | 保崎学芸員 |
| 8月8日 | 午前10時-12時 | 「名品コレクション展Ⅱ」について | 角田学芸員 |
| 9月12日 | 午後10時-12時 | 6期との交流会 | ボランティア |
| 10月3日 | 午前10時-12時 | 櫃田伸也と日本の現代絵画 | 愛知県美術館 中村史子学芸員 |
| 11月14日 | 午前10時-12時 | 郷土の美術について | 碧南市藤井達吉現代美術館 木本文平館長 |
| 12月12日 | 午前10時-12時 | 「名品コレクション展Ⅲ」について | 竹葉学芸員/保崎学芸員 |
| 1月9日 | 午前10時-12時 | ボランティア活動について話し合い | ボランティア/清家学芸員 |
| 2月13日 | 午前10時-12時 | 郷土の日本画について | 神谷副館長 |
| 3月13日 | 午前10時-12時 | 「2010年度名品コレクション展Ⅰ」について | 角田学芸員 |

(3) ガイド活動

① 常設展ギャラリートーク

休館日を除く毎日（午前11時～午後2時）、一般を対象とした約1時間のツアー形式によるギャラリートークをボランティア2名が担当した。

活動日数 281日間（なごやまつり「まるごと1日ギャラリートーク」を除く）

延べ参加者数 1680名

② 特別展ギャラリートーク

特別展ギャラリートークは、ボランティアに参加の希望を募り、展覧会ごとに担当を分けて行う。ギャラリートークの開催日、開始時間、方法などは、担当ごとに選出するまとめ役を中心にした話し合いによって決定する。登録後2年を経過したボランティアのメンバーが活動している。

(ア) 視覚の魔術—だまし絵

開催日 4月22日、23日、24日、5月13日、14日、15日、20日、21日、22日、27日、28日、29日（計12日）

時間等 水、木、金
10:30- / 13:30-

担当 2期:3名、3期:2名、4期:1名 計6名
2人が組となり、1日を担当。

方法 会場入口で参加者を募りグループを編成するツアー形式で、展覧会全体を約1時間ギャラリートークした。

参加数 延べ469人

(イ) 躍動する魂のきらめき—日本の表現主義—

開催日 9月8日、10日、15日、16日、17日、23日、25日、26日、10月1日（計9日）

時間等 火、水、木、金、土
10:30- / 13:30-

担当 1期:2名、2期:1名、3期:2名、4期:1名 計6名
2人が組となり、1日を担当。

方法 会場入口で参加者を募りグループを編成するツアー形式で、展覧会全体を約1時間ギャラリートークした。

参加数 延べ130人

(ウ) 絵画と写真の交差—印象派誕生の軌跡

開催日 11月4日、5日、6日、10日、11日、12日、13日、18日、19日、25日、26日、27日、12月2日、3日、4日、8日、9日、10日、11日（計19日）

時間等 火、水、木、金
10:30- / 13:30-

担当 3期:2名、4期:2名、5期:6名 計10名
2人が組となり、1日を担当。

方法 会場入口で参加者を募りグループを編成するツアー形式で、展覧会全体を約1時間ギャラリートークした。

参加数 延べ292人

(エ) コレクションを極める

開催日 2月17日、18日、20日、23日、24日、27日、3月2日、4日、6日、11日、12日、18日、19日、20日、24日、25日、27日（計17日）

時間等 火、水、木、金、土
10:30- / 13:30-

担当 2期:1名、3期:1名、5期:8名 計10名
2人が組となり、1日を担当。

方法 会場入口で参加者を募りグループを編成するツアー形式により、この展覧会の内容に則して設定した順路を特定し、会場内3部を約1時間ギャラリートークした。

参加数 延べ377名

③ 案内活動

総合案内・図書室案内は毎月の一定期間（1月中、定休日及び金曜日を除いての連続した5日間）を、ボランティアが運営した。活動日一日につき6人（午前3人／午後3人）、延べ322人のボランティアが担当した。

〈活動日〉

| 月 | 日 | | | | | 月 | 日 | | | | |
|---|----|----|----|----|----|----|-------|----|----|----|----|
| 4 | 18 | 19 | 20 | 22 | 23 | 10 | 17 | 18 | 20 | 21 | 22 |
| 5 | 16 | 17 | 19 | 20 | 21 | 11 | 21 | 22 | 23 | 25 | 26 |
| 6 | 21 | 23 | 24 | 25 | 27 | 12 | 5 | 6 | 8 | 9 | 10 |
| 7 | 12 | 14 | 15 | 16 | 18 | 1 | ————— | | | | |
| 8 | 1 | 2 | 4 | 5 | 6 | 2 | 20 | 21 | 23 | 24 | 25 |
| 9 | 5 | 6 | 8 | 9 | 10 | 3 | 14 | 16 | 17 | 18 | 20 |

(4) サポート活動

a) 係の活動

ボランティア全員が4つの係に分かれ、各まとめ役を中心に円滑なボランティア活動を支えるための活動を行っている。

・資料 美術館から提供した資料や互いに持ち寄って収集した資料などをボランティア間で共有するために定期的に資料の整理を行っている。録音資料（テープ・MD）のタイトル一覧表を作成した他、MDの録音手順についての再確認などを行った。
（担当：清家学芸員）

・研修 新しく「解析学でトーク」のテーマで勉強会を企画して実施した。また、館外研修の企画・運営に加えて、「案内活動を担当する機会が少なく、不安が多い。ノウハウを学びたい。」との複数メンバーの要望に応え、講師を招いて案内活動についての研修会を開催するなどした。
（担当：原沢学芸員）

・団体対応 学校等の団体鑑賞を円滑に行うための取りまとめの他、自主勉強会を一月から二月に1回の割合で実施し、小中学生向けのギャラリートークの進め方や円滑な引率方法などについて検討を行った。
（担当：保崎学芸員）

- ・体験活動 「キッズの日」各プログラムの実施に際してスタッフの募集や実施までの連絡調整、教材の下準備、当日の運営サポートを主に受け持った。また、当日の円滑な運営や対象となる作品への理解を深めるために事前打ち合わせや意見交換を随時行った。
(担当：清家学芸員)

b) 係以外の自主的な活動

前年度の「まるはちの日 一日まるごとギャラリートーク」の経験をもとに、常設展観覧料が無料となる名古屋まつりの開催日に合わせての「名古屋まつりで まるごと1日ギャラリートーク」が発案され、実行された。実施後には後期世話人会メンバーが中心となり、来年度以降どのように「名古屋まつり」に取り組むかに焦点を当てた話し合いの場では、「活動のあり方」に関する意見交換も活発に行われた。また、活動内容にかかる新たな提案もあり、年度末には新世話人へと内容を引き継いだ。

- ・「名古屋まつりで まるごと1日ギャラリートーク」
実施日時 10月4日(日)
内 容 1点につき20分程度、観覧者との対話形式で作品を紹介する
①エコール・ド・パリ：荻須高徳《洗濯場》
②メキシコ・ルネサンス：ディエゴ・リベラ
《プロレタリアの団結》
③現代の美術：フランク・ステラ《説教》
④郷土の美術：中村正義《男と女》
⑤建物ツアー
黒川記章の設計した建物である「美術館」を、30分程度かけて見てまわる。
時 間 上記の①・② 毎時00分-
(初回10:00-／最終16:00-)
上記の③・④ 毎時30分-
(初回10:30-／最終15:30-)
上記の⑤ 11:00-／14:00-

(5) 案内活動研修

平成19年度から始まった総合案内や図書室における案内活動には、今年度53名が参加した。都合により昨年度までに研修を受けられなかった者、また年度途中で加わった6期18名のほか新たに活動への参加を希望する者に対して、個別に日程を調整し研修の機会を設けた。

(6) その他

- ・特別展ガイド
所蔵作家と作品に直接関係しない内容の特別展は、定例会での研修としないため、ガイド担当者に対しては定例会終了後に別途時間を設け、展覧会担当学芸員により概要説明と質疑応答を内容とする研修を行っている。また、必要に応じて自主的な勉強会が行われている。

(7) 第6期ボランティア養成講座

ボランティア活動を維持し、新たに多くの方々にボランティア活動を体験していただくため、第6期ボランティアの募集を前年度末に行った。選考の結果25名をボランティア養成講座受講者とし、下記のようにボランティア養成講座を行った。すべてのボランティア活動の核となるのが、常設展のギャラリートークである。そのため、当館のコレクションおよび常設展についての知識と、美術作品の多様な見方、作品をきっかけに来館者とのコミュニケーションを深める語り方などを養う内容とした。ギャラリートークの体験、ギャラリートークの実践(練習)では、現在活動しているボランティアが数名ずつ協力し、受講者に対するデモンストレーションや助言を行った。ボランティア養成講座は9月に終了し、25名のうち18が正式に名古屋市美術館ボランティアに登録して10月から活動を開始した。

〈養成講座スケジュールと内容〉

【第1回】 5月16日(土) 13:00-16:00

- 開講の挨拶 (神谷副館長)
- 美術館職員の紹介 (神谷副館長)
- 名古屋市美術館について (山田学芸係長)
- コレクションと常設展について (山田学芸係長)
- 館内見学① (清家学芸員、辻元主事)
- 今後の講座内容について、基本資料の配付と説明 (清家学芸員、辻元主事)

【第2回】 5月23日(土) 10:00-12:00

- 教育普及活動について (清家学芸員)
- ・常設展・特別展ギャラリートークについて
- ・キッズプログラム、団体向けガイドトーク、出前アート体験について
- ・その他の事業について(夏休み子どもの美術館、コレクション解析学、アートカードなど)
- 常設展ギャラリートーク体験 (登録ボランティア、保崎学芸員)

【第3回】 5月23日(土) 13:00-16:00

- ギャラリートークの作り方① (保崎学芸員)
- 養成講座受講者の紹介、交流会 (原沢学芸員)
- 課題 作品のディスクリプションの練習

【第4回】 6月6日(土) 13:00-16:00

- 所蔵作品について①：メキシコ・ルネサンス (山田学芸係長)
- ギャラリートークの作り方② (保崎学芸員)
- 課題 ギャラリートークプランの作成：メキシコ・ルネサンス

【第5回】 6月20日(土) 13:00-16:00

- 所蔵作品について②：エコール・ド・パリ (深谷学芸課長)
- ギャラリートークの模擬実践①：メキシコ・ルネサンスの作品 (原沢、清家、保崎学芸員)
- 課題 ギャラリートークプランの作成：エコール・ド・パリ

【第6回】 7月4日(土) 13:00-16:00

- 所蔵作品について③：現代の美術（山田学芸係長）
 - ギャラリートークの模擬実践②：エコール・ド・パリの作品（原沢、清家、保崎学芸員）
 - 「作品解説から会話重視のギャラリートークへ」（講座終了後、エキストラで実施／清家学芸員）
- 課題 ギャラリートークプランの作成：現代の美術

【第7回】 7月18日(土) 13:00-16:15

- 所蔵作品について④：郷土の美術〈日本画〉（角田学芸員）
 - ギャラリートークの模擬実践③：現代の美術作品（登録ボランティア、原沢、清家、保崎学芸員）
 - 10月からのボランティア活動の意志確認について（辻元主事）
 - 「トークプランづくりのヒント：具象絵画」（講座終了後、エキストラで実施／保崎学芸員）
- 課題 ギャラリートークプランの作成：郷土の美術（日本画）

【第8回】 8月1日(土) 10:00-13:15

- 所蔵作品について⑤：郷土の美術〈洋画〉（角田学芸員）
 - ギャラリートーク実践①：パリ、メキシコ、現代の美術作品（登録ボランティア、原沢、清家、保崎学芸員）
 - 活動意志確認書の提出、活動希望表記入について（辻元主事）
 - 「トークプランづくりのヒント：抽象絵画」（講座終了後、エキストラで実施／原沢学芸員）
- 課題 ギャラリートークプランの作成：郷土の美術（洋画）

【第9回】 8月29日(土) 13:00-16:15

- ギャラリートークの模擬実践④：郷土の美術作品（原沢、清家、保崎学芸員）
- アートゲーム（清家学芸員）
- 10月からのボランティア世話人の選出
- 活動謝金支払のための口座振替について／案内活動研修参加希望表の記入について（辻元主事）

【第10回】 9月12日(土) 10:00-13:00

- ギャラリートーク実践②：パリ、メキシコ、現代の美術、郷土の美術作品（原沢、清家、保崎学芸員）
- 現在開催中の常設展（名品コレクション展Ⅱ）について（角田学芸員）

【第11回】 9月26日(土) 13:00-16:00

- 活動に際しての説明
 - ・ギャラリートーク以外の活動（辻元主事）
 - ・名簿の押印等の事務手続きなど（辻元主事）
 - ・活動マニュアル類の説明（清家学芸員）
- 館内見学②（辻元主事、清家学芸員）
- 修了式（神谷副館長）
- ・挨拶および研修修了証、登録証授与（松永館長）

3 協力会

名古屋美術協会は、美術館の活動等に協力するとともに、市民の美術に関する知識と教養の向上を図るために必要な事業を行い、芸術文化の振興発展に寄与することを目的に活動を行っています。

〈会員数〉 (平成 22 年 3 月 31 日現在)

| | |
|-------|-------|
| 特別会員 | 9 名 |
| 一般会員 | 109 名 |
| ユース会員 | 4 名 |
| ペア会員 | 26 名 |
| 計 | 148 名 |

〈新規・継続別〉

| | 新規 | 継続 | 計 |
|-------|------|-------|-------|
| 特別会員 | 1 名 | 8 名 | 9 名 |
| 一般会員 | 7 名 | 102 名 | 109 名 |
| ユース会員 | 2 名 | 2 名 | 4 名 |
| ペア会員 | 11 名 | 15 名 | 26 名 |
| 計 | 21 名 | 127 名 | 148 名 |

平成 21 年度美術館協力会事業報告

1 展覧会ギャラリートークの開催

- 「視覚の魔術ーだまし絵」 4 月 12 日(日) 47 名参加
 「躍動する魂のきらめきー日本の表現主義」
 8 月 30 日(日) 35 名参加
 「絵画と写真の交差ー印象派誕生の軌跡」
 11 月 8 日(日) 33 名参加
 「コレクションを極める」 2 月 7 日(日) 38 名参加

2 美術館見学ツアーの実施

- 春 5 月 30 日(土) 35 名参加
 室生寺、室生山上公園・芸術の森
 秋 10 月 10 日(土)～11 日(日) 22 名参加
 広島市現代美術館、ウッドワン美術館、
 広島県立美術館、ひろしま美術館、呉市立美術館

3 講演会

- 10 月 12 日(月・祝) 講師：櫃田伸也氏
 テーマ「画家・櫃田伸也、自作を語る」 74 名参加

4 作家を囲む会

- 10 月 12 日(月・祝) 櫃田伸也氏を囲む会 28 名参加

5 オリジナルカレンダーの作成及び配付

- 櫃田伸也氏の版画作品 《通り過ぎた風景》1 125 部
 《通り過ぎた風景》2 125 部

6 催しものの案内

- 特別展、常設展、講演会などの情報提供、年間展覧会案内、アートペーパーの配付

7 作品の寄贈

- 櫃田伸也氏の版画作品《通り過ぎた風景》1 ed.1/125
 《通り過ぎた風景》2 ed.1/125
 両作品とも、平成 22 年 2 月 8 日の資料収集審査委員会で決定

8 総会の開催

- 6 月 14 日(日) 31 名参加(委任状 96 名)

4 図書室

図書室の資料の充実を図るとともに、その時々の特展に即した参考資料やビデオ番組を揃えるなどして、利用者の多様なニーズに応えるよう努力している。

図書資料分類別冊数一覧(平成 22 年 3 月 31 日現在)

| 分類 | 和書 | 洋書 |
|-----------------|----------------|-----------|
| 辞書、辞典、年鑑、図書目録 | 562(2) | 222(1) |
| 画集、美術全集、所蔵品目録 | 7,000(131) | 3,391(23) |
| 展覧会図録 | 10,959(340) | 1,431(13) |
| 研究書、技法書 | 311(0) | 12(0) |
| 年報、紀要、報告書 | 5,303(347) | 19(1) |
| 美術雑誌 | 12,307(74) | 2,423(47) |
| その他(美術教科書、一般図書) | 2,455(21) | 1,091(2) |
| 小計 | 38,897(915) | 8,589(87) |
| 総計 | 47,486(1,002)冊 | |

() は今年度の受け入れ図書冊数

入室者数 15,647 名

| | |
|------|---------|
| 4 月 | 2,041 名 |
| 5 月 | 7,416 名 |
| 6 月 | 824 名 |
| 7 月 | 384 名 |
| 8 月 | 587 名 |
| 9 月 | 668 名 |
| 10 月 | 763 名 |
| 11 月 | 1,131 名 |
| 12 月 | 811 名 |
| 1 月 | 171 名 |
| 2 月 | 340 名 |
| 3 月 | 511 名 |

出版・制作物一覧

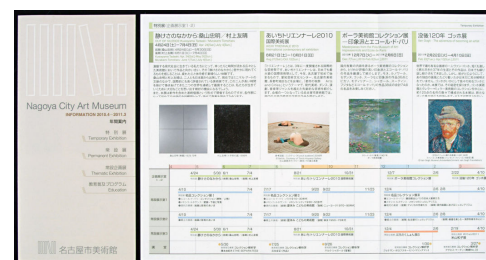
- **美術館ニュース「アートペーパー」No. 81、82**
美術館の活動状況や美術・文化についての様々な情報を広報するものです。
A2版、部数：各5,000部
特集記事
81号：姿なきプリンセス（下）
82号：肖像画家としてのディエゴ・リベラ



- **年報**
平成20年度の美術館活動全般の詳細な記録です。
A4版、54頁、部数：800部、配布対象：特定



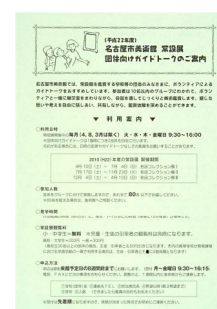
- **年間案内**
平成22年度一年間の展覧会の情報を告知するものです。
A4版変形、部数：20,000部



- **所蔵作品解説シートの増し刷り**
常設展で無料配布している所蔵作品についての解説シートです。
B6版、モノクロ、一部改訂、増刷40種、部数:144,000部



- **団体向けガイドトークのご案内**
学校などの団体が常設展見学をする際の団体向けガイドトークの申し込み方法について記したものです。
A4版、モノクロ、部数:8,000部



平成 15 年度（2003 年）版の『年報』のなかに、「美術館にとって最も基本的な活動である作品の収集も、ここ数年は厳しい財政状況を反映して思うに任せない状態が続いています。経済の一部には明るさが見えてきているようですが、美術館活動にそれが反映するまでにはまだしばらく時間がかかりそうで、購入という形での収集は今後もかなり限定されそうです。逆に寄贈は、多くの方々のご協力をいただきながらここ数年増え続けており、着実にコレクションの厚みを増しています」と記されていますが、その後、平成 19 年度（2007 年）からは、このような状況がさらに厳しくなって、購入による収集が激減して、寄贈による収集が増加する傾向は顕著になってきています。

美術館にとって、美術館を魅力的にする最も根源的で効果的な方法は、恒常的に新しく優れた作品を収集して、既存のコレクションと関連させて、総体としてのコレクションの価値を高めていくことであることは言うまでもありません。そのために美術館（学芸員）は、購入という方法が困難になるなかでの対応策として、四つの収集方針（①エコール・ド・パリ、②メキシコ・ルネサンス、③現代の美術、④郷土の美術）を踏まえて、これまで以上に収集候補となる美術家のアトリエや遺族宅を積極的に訪れて、残された作品を詳細に調査・研究し、美術館に収集・保存する必要のある作品を選定して、美術家や遺族と寄贈についての話し合いを通して、これまで寄贈という方法による収集作品を増やしてきたのです。しかし、当然のことながら、この寄贈という方法には限界があり、購入という方法でしか収集できない作品の収集（その機会があるにもかかわらず）見送らざるを得ないこともありました。

例えば、四つの収集方針のなかで、①エコール・ド・パリの分野として購入した作品は、平成 13 年度（2001 年）のキスリング《マルセル・シャンタルの肖像》（絵画）と平成 14 年度（2002 年）のシャガール《七つの大罪》（版画）が、現在までの最後の作品であり、また②メキシコ・ルネサンスの分野においても、同じく平成 13 年度のカロの《オブジェによる自画像》（絵画）と平成 14 年度のタマヨ《聖ヨハネの黙示録》（版画）が最後の作品です（ただし、寄贈による作品として、平成 16 年度（2004 年）のタマヨ《パラナの三角州の夜明け》があります）。それ以降（平成 15 年度以降）の購入は、作品の価格が比較的安価な③現代の美術と④郷土の美術の作品に限られています。とくに、これらの分野の作家については、作家のアトリエにおける作品の調査・研究や特別展、常設企画展なので展覧会の開催を通して、代表的な作品を収集（購入と寄贈）する機会を得ています。

今年度の収集活動を顧みると、③現代の美術の分野においては、収蔵作家のコレクションを豊富にすることを目的とした購入を行いました。

まず藤本由紀夫のドローイング作品《seven memo》は、平成 18 年度（2006 年）に開催した特別展「藤本由紀夫展—ここ、そして、そこ」を機会に収蔵した代表作《TABLE MUSIC》に関連する貴重な作品です。次に、ジョナサン・ポロフスキーの版画作品《ベルリンの夢》は、名古屋市美術館のモニュメントとして開館以来、地階ロビーに設置してある立体作品《ハンマリングマン》《フライングマン》とともに、作家の精神を伝えることのできる作品です。青木野枝の版画作品《水天 1》《水天 14》も、美術館の裏庭に設置してある彫刻作品《Untitled》と見事に対応する作品です。

寄贈された作品としては、昨年度（平成 20 年度）の特別展「名古屋市美術館 20 年のあゆみ展」の関連事業として実施した「ロケーション 鈴木昭男＋藤本由紀夫」で使用された鈴木昭男《点音 in 白川公園》があります。

一方、④郷土の美術の分野では、郷土の美術の歴史に足跡を残した美術家たちのなかで、これまで収集していなかった新しい作家（3 名）を調査・研究することで、新しい作品を収集（購入と寄贈）しました。

田中君枝は、郷土の美術を代表する女性画家・三岸節子とともに、日本の近代美術において活躍した先駆的な女性画家です。平成 20 年度（2008 年）に常設企画展「生誕 100 年記念 田中君枝」として、初めての本格的な回顧展を開催したことを機会に、戦前の抽象絵画としても貴重な作品である代表作《化粧》を購入するとともに、その芸術の展開を展望できる作品として《態》《花》《夜》《サラスバティ》の寄贈を受けました。

また、これまで名古屋市美術館では、岸田劉生の草土社に影響を受けた郷土の画家たち（愛美社の大澤鉦一郎、宮脇晴、また加賀孝一郎や片野元彦など）の作品を収集してきましたが、独自に岸田劉生に私淑して制作活動を行った画家として、岐阜の恵那出身の画家・伊藤敏博の作品《自画像》《破れたる壺と四個のリンゴ》《山上風景》《静物》《秋深し》の寄贈を受けました。

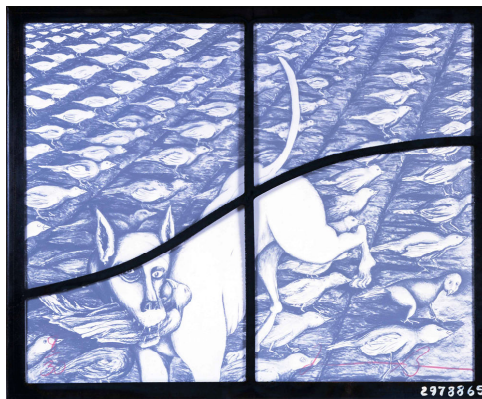
大森運夫は、戦後の日本画の革新運動を展開した画家・中村正義や平川敏夫らとともに活動した日本画家ですが、アトリエに残された作品のなかから、その芸術の展開を展望できる作品として《遙かなるモロッコ》《追想》《断章・世紀末》を選定して、寄贈を受けました。

最後に、特別資料としては、名古屋市美術館協力が 2006 年から制作しているオリジナル・カレンダー（これまで制作した美術家は、山本富章、磯見輝夫、久野利博、森岡完介）の 2010 年版である櫃田伸也《通り過ぎた風景》の寄贈を受けました。

(1)平成 21 年度購入

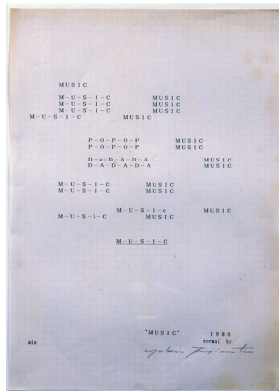


1. 田中君枝 (1908-1987)
TANAKA, Kimie
《化粧》
Make up
1940 年
油彩・キャンヴァス
Oil on canvas
91.0x65.0 cm

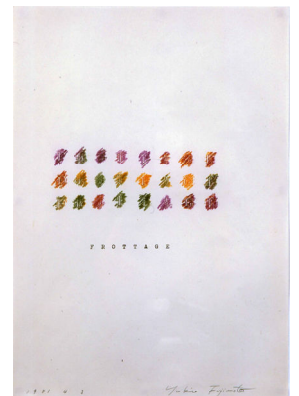


2. ジョナサン・ボロフスキー (1942-)
BOROFSKY, Jonathan
《ベルリンの夢》
Berlin Dream with Steel Window Frame
1986 年
リトグラフ・鉄、アクリル
Lithograph encased in steel frame and acrylic
91.0x65.0 cm
Ed. 8/30 (Borofsky 2978865)

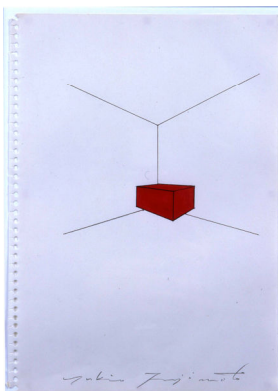
3. 藤本由紀夫 (1950-)
FUJIMOTO, Yukio
《seven memos》
Seven Memos
1980-2001 年
インク・紙など
Ex. ink on paper
max. 29.5x20.9 cm
7 点 1 組



“MEMO FOR M-U-S-I-C”
Memo for M-U-S-I-C
1980 年
インク・紙
Ink on paper
29.5 x 20.9 cm



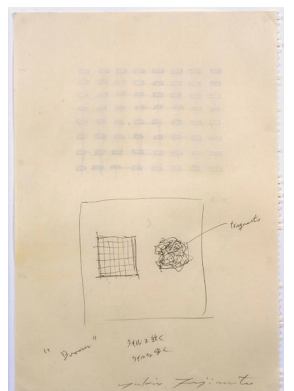
“MEMO FOR FROTTAGE”
Memo for Frottage
1981 年
インク、クレヨン・紙
Ink and crayon on paper
25.8 x 18.1 cm



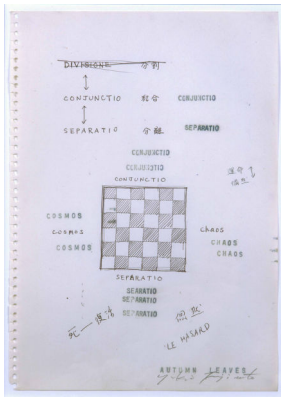
“MEMO FOR VOICE OF GALLERY”
Memo for Voice of Gallery
1988 年
インク・紙
Ink on paper
25.7 x 18.1 cm



“MEMO FOR EARS WITH CHAIR”
Memo for Ears with Chair
1990 年
モノクロコピー、アクリル・紙
Monochrome-copy and acrylic on paper
26.2 x 20.0 cm

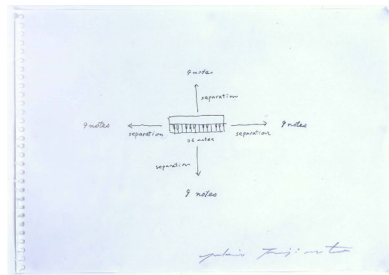


“MEMO FOR BROOM (TILE) II”
Memo for Broom (Tile) II
1995 年
インク・紙(鉛筆)
Ink on paper (pencil)
29.0 x 20.0 cm



“MEMO FOR TABLE MUSIC”

Memo for Table Music
1987年
インク、鉛筆・紙
Ink and pencil on paper
25.7 x 18.0 cm

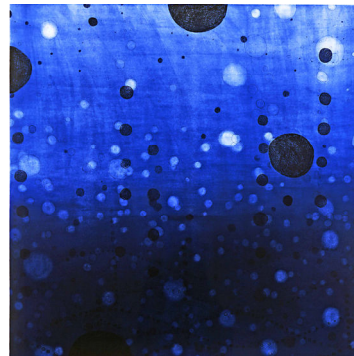


“MEMO FOR ROOM (VENICE)”

Memo for Room (Venice)
2001年
インク、鉛筆・紙
Ink and pencil on paper
18.1 x 25.8 cm



4. 青木野枝 (1958-)
AOKI, Noe
《水天 1》
Suiten (Water in the Air) - 1
2007年
エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙
Etching, drypoint and aquatint on paper
イメージ : 100.0x100.0 cm / シート : 122.0x115.0 cm
Ed. 1/15



5. 青木野枝 (1958-)
AOKI, Noe
《水天 14》
Suiten (Water in the Air) - 14
2007年
エッチング、ドライポイント、アクアチント・紙
Etching, drypoint and aquatint on paper
イメージ : 100.0x100.0 cm / シート : 122.0x115.0 cm
Ed. 1/15

(2) 平成 21 年度受贈



1. 伊藤敏博 (1898-1973)
ITO, Toshihiro
《自画像》
Self Portrait
1919年
油彩・キャンヴァス
Oil on canvas
46.0x34.0 cm



2. 伊藤敏博 (1898-1973)
ITO, Toshihiro
《破れたる壺と四個のリンゴ》
A Broken Cray Pot and Four Apples
1919年
油彩・キャンヴァス
Oil on canvas
61.0x45.5 cm



3. 伊藤敏博(1898-1973)
 ITO, Toshihiro
 《山上風景》
 Landscape on the Mountain
 1922年
 油彩・キャンヴァス
 Oil on canvas
 37.8x45.7 cm



4. 伊藤敏博(1898-1973)
 ITO, Toshihiro
 《静物》
 Still Life
 1930年
 油彩・キャンヴァス
 Oil on canvas
 38.0x45.0 cm



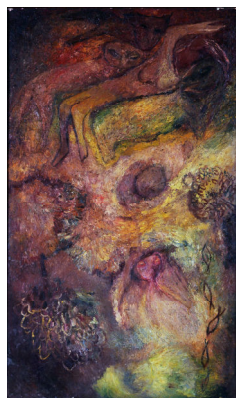
5. 伊藤敏博(1898-1973)
 ITO, Toshihiro
 《秋深し》
 Late in Autumn
 1938年
 油彩・キャンヴァス
 Oil on canvas
 60.5x80.0 cm



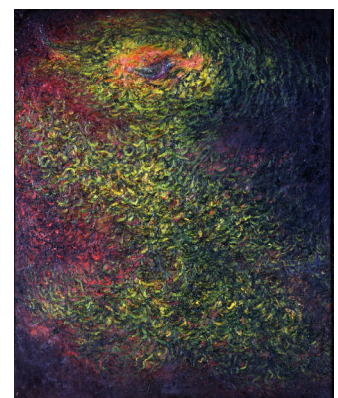
6. 田中君枝(1908-1987)
 TANAKA, Kimie
 《態》
 Form
 1939年
 油彩・キャンヴァス
 Oil on canvas
 117.0x91.0 cm
 湯淺暉久氏寄贈



7. 田中君枝(1908-1987)
 TANAKA, Kimie
 《花》
 Flower
 1942年
 油彩・キャンヴァス
 Oil on canvas
 130.0x97.0 cm
 湯淺暉久氏寄贈



8. 田中君枝(1908-1987)
 TANAKA, Kimie
 《夜》
 Night
 1952年
 油彩・キャンヴァス
 Oil on canvas
 162.0x97.5 cm
 湯淺暉久氏寄贈



9. 田中君枝(1908-1987)
 TANAKA, Kimie
 《サラスパティ》
 Saraswati
 1960年
 油彩・キャンヴァス
 Oil on canvas
 161.5x130.8 cm
 湯淺暉久氏寄贈



10. 大森運夫 (1917-)
OOMORI, Kazuo
《遙かなるモロッコ》
Far away from Morocco
1968 年
紙本着彩
Colored on paper
176.0x236.5 cm



11. 大森運夫 (1917-)
OOMORI, Kazuo
《追想》
Recollection
1980 年代
紙本着彩
Colored on paper
116.7x90.9 cm

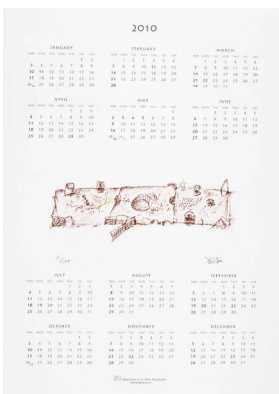


12. 大森運夫 (1917-)
OOMORI, Kazuo
《断章・世紀末》
Fragment: The end of a century
2000 年
紙本着彩
Colored on paper
190.0x300.0 cm



13. 鈴木昭男 (1941-)
SUZUKI, Akio
《点音 in 白川公園》
Otodate in Shirakawa Park
2009 年
コンクリート、ペイントなど
Mixed media

(3) 平成 21 年度特別資料



1. 櫃田伸也 (1941-)
HITSUDA, Nobuya
名古屋市美術館協力会カレンダー《通り過ぎた風景》
"Scenes Passed by" as a calendar of Nagoya City Art Museum Membership
2009 年
リトグラフ、手彩色・紙
lithograph and hand-colored on paper
イメージ: 21.0 x 10.0 cm
ed. 1/125



2. 櫃田伸也 (1941-)
HITSUDA, Nobuya
名古屋市美術館協力会カレンダー《通り過ぎた風景》
"Scenes Passed by" as a calendar of Nagoya City Art Museum Membership
2009 年
リトグラフ、手彩色・紙
lithograph and hand-colored on paper
イメージ: 21.0 x 10.0 cm
ed. 1/125

(4) 資料収集状況一覧

| 年度別 | | | | | | | | | |
|------|-----|-------|----------|---------|-----------|------|--------|-----------|------------|
| 年度 | 分類 | 日本画など | 洋画など | 水彩素描など | 版画など | 写真 | 彫刻など | 特別資料 | 総計 |
| 58年度 | | 0 | 26 | 2 | 0 | | 1 | | 29 |
| 59年度 | | 3 | 32 | 50 | 1 | | 0 | | 86 |
| 60年度 | | 4 | 25 | 67 | 20 | | 2 | | 118 |
| 61年度 | | 5 | 23 | 33 | 6 | | 1 | | 68 |
| 62年度 | | 12 | 38 | 0 | 360 | | 15 | | 425 |
| 63年度 | | 0 | 15 | 8 | 13 | | 6 | | 42 |
| 元年度 | | 3 | 7 | 2 | 275 | | 1 | | 288 |
| 2年度 | | 7 | 4 | 2 | 17 | | 1 | | 31 |
| 3年度 | | 1 | 3 | 2 | 122 | | 0 | | 128 |
| 4年度 | | 2 | 10 | 15 | 126 | | 3 | | 156 |
| 5年度 | | 0 | 13 | 4 | 0 | | 3 | | 20 |
| 6年度 | | 0 | 7 | 0 | 1 | | 2 | | 10 |
| 7年度 | | 1 | 27 | 2 | 195 | | 0 | | 225 |
| 8年度 | | 0 | 7 | 0 | 2 | | 3 | | 12 |
| 9年度 | | 0 | 2 | 0 | 17 | | 2 | | 21 |
| 10年度 | | 2 | 8 | 0 | 21 | | 0 | | 31 |
| 11年度 | | 2 | 10 | 0 | 0 | | 1 | | 13 |
| 12年度 | | 0 | 9 | 0 | 0 | | 0 | | 9 |
| 13年度 | | 0 | 8 | 0 | ※ -83 | ※ 83 | 1 | 0 | 9 |
| 14年度 | | 1 | 0 | 0 | 167 | 0 | 0 | 0 | 168 |
| 15年度 | | 0 | 1 | 0 | 0 | 8 | 2 | 0 | 11 |
| 16年度 | | 0 | 0 | 8 | 0 | 0 | 2 | 0 | 10 |
| 17年度 | | 0 | 2 | 10 | 0 | 4 | 0 | 0 | 16 |
| 18年度 | | 0 | 9 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 19年度 | | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 3 |
| 20年度 | | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| 21年度 | | 0 | 1 | 7 | 3 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| 購入総計 | | 43 | (1) 290 | (7) 212 | (3) 1,263 | 95 | 48 | 0 | (11) 1,951 |
| 保管転換 | | 16 | 41 | 31 | 35 | 3 | 3 | 1 | 130 |
| 寄贈 | (3) | 58 | (9) 239 | 751 | 86 | 72 | (1) 22 | (2) 1,049 | (15) 2,277 |
| 総計 | (3) | 117 | (10) 570 | (7) 994 | (3) 1,384 | 170 | (1) 73 | (2) 1,050 | (26) 4,358 |

収集方針別

| 分類 | 日本画など | 洋画など | 水彩素描など | 版画など | 写真 | 彫刻など | 特別資料 | 総計 |
|------------|---------|----------|---------|-----------|-----|--------|-----------|------------|
| エコール・ド・パリ | | 29 | 3 | 478 | 0 | 2 | 0 | 512 |
| メキシコ・ルネサンス | | 29 | 35 | 328 | 52 | 3 | 0 | 447 |
| 現代の美術 | | 130 | (7) 68 | (3) 267 | 11 | (1) 59 | 1 | (11) 536 |
| 郷土の美術 | (3) 117 | (10) 382 | 888 | 311 | 107 | 9 | (2) 1,049 | (15) 2,863 |
| 総計 | (3) 117 | (10) 570 | (7) 994 | (3) 1,384 | 170 | (1) 73 | (2) 1,050 | (26) 4,358 |

()内の数字は平成21年度収集分
※：分類変更による増減

2 保存・修復

シャガール、マルク《二重肖像》

1924年

油彩・キャンバス

130.7x94.7cm

前年度に引き続き、同作品の状態検査及び普通光線、斜光線、紫外線等による写真撮影によって判明した下記の状態について修復作業を施した。

【作品の状態】

- ・ 婦人像、胸の中央部に絵の具層の浮き(剥離状態)あり。
- ・ 婦人像、向かって左側の肩の部分に絵の具層の小さな亀裂と剥落あり。
- ・ 婦人像、向かって右側の胸部分に絵の具層の剥落あり。
- ・ 婦人像、向かって右側の太もも部分に絵の具層の亀裂と剥落あり。
- ・ 婦人像、左下部分に絵の具層の剥落あり。
- ・ 婦人像、顔面の右側部に絵の具層の亀裂と剥離、またその周辺部分にマット状のしみあり。
- ・ 作品右下部分に絵の具層の小さな剥落あり。

【修復処置】(前年度)

- ・ 応急処置として、膠ならびに Beva371 を塗布し、剥離部の接着固定を行った。

【修復工程】

- ・ 画面全体の洗浄(刷毛を用いて全体のホコリを除去)
- ・ 剥離部分の接着・固定
接着剤(BEVA371)をトルエンで希釈し液状にした接着剤を剥離部分に刷毛で塗布する。
溶剤を十分に揮発させた後、電気ゴテを用いて接着・固定を行う。
- ・ 表面に付着した接着剤の除去(溶剤ミネラルスピットと綿棒を用いて除去)
- ・ 剥離部の接着・固定(保管した剥落片を剥離部分に戻す。10%濃度のチョウザメ膠水を用いて仮固定を行い、Beva371で接着、揮発後に電気ゴテを用いて再度固定した。)
- ・ 剥離部分の充填・成形・補彩(充填剤はチョウザメ膠水に炭酸カルシウムを混ぜたペーストを塗布し、乾燥後にメスで成形した。補彩は水彩絵具を使用した。)
- ・ ニス(ダンマー)の塗布(表面に見られるマット状のシミの除去を行った。)
- ・ キャンバスの張りが弱いため、木枠に設置されていたクサビの再調整を行った。

3 調査・研究

作品を収集するにあたっては、大きさや材質などの作品に即したデータの採取のほか、作者、制作年、題名、展示や所蔵の履歴など、作品にまつわる歴史文献的情報の調査も行っている。これらの情報は作品研究の基礎となるものであるが、収集時にすべてを明らかにできない作品もある。このような作品は、収集後も機会あるごとに情報収集や追跡調査を行い、不明な事項を明らかにするよう努めている。

(1) 作家生没年の変更

記述凡例：記述は、作家名(原稿「所蔵作品総目録」の分類および作品番号または「年報」の頁数)／現行年／改訂年／理由の順とする。

吉川家永(国内作家／洋画 282-286)

現行年：(1916～)

改訂年：(1916～2009)

理由：作家の逝去

収蔵資料貸出

| 作家名 | 作品名 | 貸出期間・貸出先 | 展覧会名・展示期間 |
|---|--|--|--|
| アンリッシュ・カプーア リサ・ミルロイ | Void No. 3 皿 | H21.4.1～11.13 株式会社東急文化村 兵庫県立美術館 中日新聞社 | 「だまし絵展」 H21.6.13～8.16 H21.8.25～11.3 |
| 村山槐多 淵上白陽 高尾義朗 荻島安二 高尾義朗 高尾義朗 高尾義朗 高尾義朗 高尾義朗 高尾義朗 高尾義朗 田村榮 | 房州風景 耕作 厳冬風景 花柳はるみの像 花柳はるみの像 幕張の少女 人物と風景の印象 題不詳(頬杖をつく男) 海浜に於ける女人像 友のゐる銚子風景 人形と花柳はるみ | H21.4.12～H22.2.7 栃木県立美術館 兵庫県立美術館 岩手県立美術館 松戸市教育委員会(松戸市立博物館) 美術館連絡協議会 | 「躍動する魂のきらめき—日本の表現主義—」展 H21.4.26～6.15 H21.6.23～8.16 H21.10.20～11.29 H21.12.8～H22.1.24 |
| ホセ・グアダルーペ・ ポサダ | 《芸術の煉獄》はじめ47点(『ホセ・グアダルーペ・ポサダ展—骸骨の舞踏—』図録掲載作品No.1～No.47) | H21.6.15～9.15 世田谷美術館 | 「メキシコ20世紀絵画」展 H21.7.4～8.30 |
| 日高長太郎 日高長太郎 日高長太郎 日高長太郎 日高長太郎 日高長太郎 日高長太郎 大橋松太郎 大橋松太郎 大橋松太郎 大橋松太郎 大橋松太郎 大橋松太郎 大橋松太郎 大橋松太郎 | 山岳の雨 木曾路の春 風 山間の朝 朝の光 白樺 海 たそがれ 堀川 題不詳(No.28) 題不詳(No.31) 題不詳(No.33) 秋の田舎 題不詳(No.35) 奈良の印象 朝 | H21.6.15～9.7 神奈川県立近代美術館 葉山 | 「画家の眼差し、レンズの眼—近代日本の写真と絵画」 H21.6.27～8.23 |
| コンスタンティン・ブラン クーシ | うぶごえ | H21.7.1～9.20 MOA美術館 | 「アフリカの美」展 H21.7.11～9.8 |
| 櫃田伸也 | 通り過ぎた風景 | H21.7.22～11.25 愛知県美術館 中日新聞事業局文化事業部 あいちトリエンナーレ実行委員会事務局 | 「放課後のはらっぱ 櫃田伸也とその教え子たち」 H21.8.28～10.25 |
| 横山大観 | 日月 | H21.9.1～11.19 メナード美術館 | 「耀きの色彩 横山大観展」 H21.9.19～11.3 |
| 渡辺幾春 渡辺幾春 | 昭和美女姿競 秋初月 蝉の声 昭和美女姿競 雪待月 時雨 | H21.9.10～11.20 江戸東京博物館 | 「よみがえる浮世絵—うるわしき大正新版画展」 H21.9.19～11.8 |
| 河口龍夫 河口龍夫 河口龍夫 | Dark Box 2008 関係一質(1988年) 関係一質(1989年) | H21.9.16～12.25 東京国立近代美術館 | 「河口龍夫展」 H21.10.14～12.13 |
| 鶴田吾郎 鶴田吾郎 鶴田吾郎 鶴田吾郎 淵上白陽 淵上白陽 岡田中治 高太郎 宇野木敏 三吉有一 馬場八潮 米城善右衛門 小野田潔 | 哈爾濱(郊外) 西帰浦 傷ついた人 上海 男 開墾する人 男 厳冬 春・娘 娘 落日 題不詳(曠野を行く苦力) 題不詳(水汲み) | H21.9.25～H22.1.15 豊田市美術館 | 「近代の東アジアイメージ—日本近代美術はアジアをどう描いてきたか」展 H21.10.10～12.27 |

| | | | |
|--|--|---|---|
| 大澤鉦一郎 大澤鉦一郎 資料 資料 資料 資料 資料 資料 資料 資料 | 老人 田舎の少年 第1回愛美社展目録 第3回愛美社展目録 愛美社展覧会場写真 愛美社同人写真 愛知県の画家写真 草土社展目録 草土社展記念写真 草土社同人写真 岸田劉生家族写真 | H21.10.15～12.15 知多市歴史民俗博物館 | 「大澤鉦一郎と岸田劉生—愛美社と草土社の時代」 H21.10.24～12.6 |
| 村山槐多 | 信州の農家 | H21.11.17～H22.2.6 渋谷区立松濤美術館 | 「没後90年 村山槐多 ガランスの悦楽」展 H21.12.1～H22.1.24 |
| 三岸節子 三岸節子 三岸節子 三岸節子 | 窓 プチカナル 花咲くフルゴーニュ 雷がくる | H22.3.15～8.10 大阪高島屋 東京・日本橋高島屋 岡山県立美術館 名古屋・松坂屋美術館 朝日新聞社事業本部 | 「没後10年記念 三岸節子展」 H22.3.31～4.19 H22.4.22～5.10 H22.6.8～7.4 H22.7.7～8.1 |
| 荒川修作 荒川修作 | 名前のない耐えているものNo.2 眠っている断片 | H22.3.30～7.10 国立国際美術館 | 「死なないための葬送—荒川修作初期作品展」 H22.4.17～6.27 |

入館者一覧

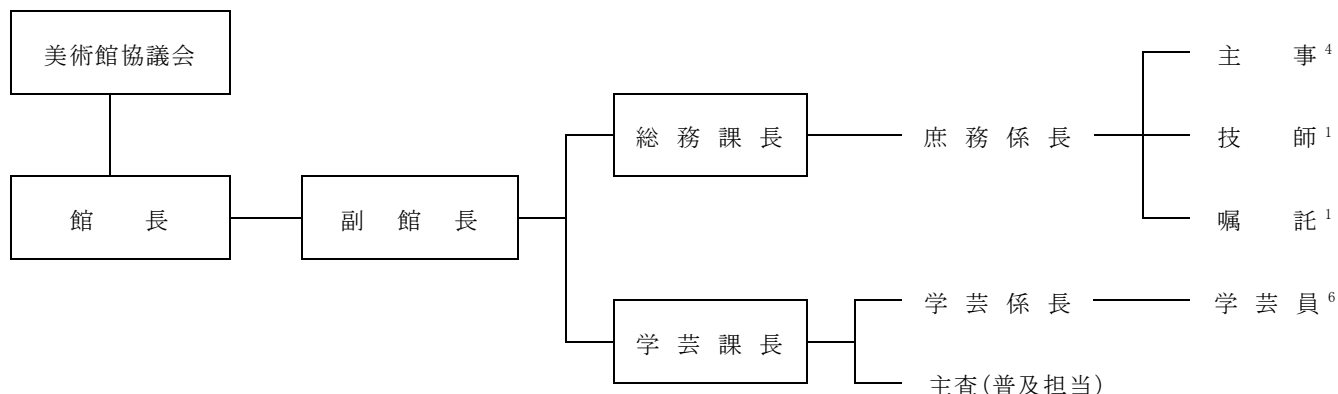
VISITOR

| 展覧会名 | 開催期間 | 有 料 | | | | | | | | 無 料 | | 入場者 総 数 | |
|-------------|---------------------------------|------------------------------------|---------|----------------|---------|---------|-------|---------------|-------|------------|---------------------------|------------|---------|
| | | 個 人 | | | | 団 体 | | | | 有 料 合 計 | 無 料 招 待 等 | | |
| | | 一般 | 高大生 | 小中生 | 小 計 | 一般 | 高大生 | 小中生 | 小 計 | | | | |
| 常 設 展 | 平成21年4月11日(土)～ 平成22年3月28日(日) | 7,421 | 1,444 | 無料 (13,268) | 8,865 | 93 | 71 | 無料 (1,439) | 164 | 9,029 | 83,873 | 92,902 | |
| 特 別 展 | 視覚の魔術ーだまし 絵 | 平成21年4月11日(土)～ 平成21年6月7日(日) | 147,409 | 13,780 | 27,999 | 189,188 | 319 | 823 | 359 | 1,501 | 190,689 | 28,457 | 219,146 |
| | 放課後のほらっぱー 権田伸也とその教え 子たちー | 平成21年8月22日(土)～ 平成21年10月18日(日) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9,087 | 9,087 |
| | 躍動する魂のきらめ きー日本の表現主 義ー | 平成21年8月25日(火)～ 平成21年10月12日(月・祝) | 3,449 | 915 | 197 | 4,561 | 0 | 69 | 20 | 89 | 4,650 | 3,503 | 8,153 |
| | 絵画と写真の交差 ー印象派誕生の軌 跡 | 平成21年10月24日(土)～ 平成21年12月20日(日) | 9,980 | 1,914 | 681 | 12,575 | 212 | 379 | 62 | 653 | 13,228 | 4,326 | 17,554 |
| | コレクションを極める | 平成22年2月6日(土)～ 平成22年3月28日(日) | 3,338 | 512 | 169 | 4,019 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4,019 | 2,151 | 6,170 |
| | 特 別 展 小 計 | | 164,176 | 17,121 | 29,046 | 210,343 | 531 | 1,271 | 441 | 2,243 | 212,586 | 47,524 | 260,110 |
| 合 計 | | 171,597 | 18,565 | 29,046 | 219,208 | 624 | 1,342 | 441 | 2,407 | 221,615 | 131,397 | 353,012 | |
| | | | | | | | | | | | 教育普及事業参加者 (展示室内参加者を除く) | 27,353 | |
| | | | | | | | | | | | 総 計 | 380,365 | |

〈年度別入館者数等〉

| 区 分 | | 平成20年度 | 平成21年度 | 累 計 | |
|-------------|-----------|----------|----------|-------------|------------|
| 展 覧 会 | 常 設 展 | 開催日数 | 285日 | 282日 | 6,388日 |
| | | 入場者数 | 131,498人 | 92,902人 | 3,212,459人 |
| | 特 別 展 | 開催日数 | 245日 | 237日 | 4,673日 |
| | | 入場者数 | 314,476人 | 260,110人 | 6,394,545人 |
| | 入 場 者 小 計 | | 445,974人 | 353,012人 | 9,607,004人 |
| | 教育普及事業参加者 | | 28,290人 | 27,353人 | 481,393人 |
| 入 館 者 合 計 | | 474,264人 | 380,365人 | 10,088,397人 | |

1 組織図



2 美術館協議会

(1) 名古屋市美術館協議会委員

| | | | |
|-------------------|-------|---------------------|-------|
| 名古屋市立堀田小学校長 | 菊田 葉子 | 学校法人桜花学園理事長 | 大谷 恩 |
| 愛知県立旭丘高等学校長 | 岡田 順一 | 名古屋市立工芸高等学校長 | 百合草信夫 |
| (財)名古屋市文化振興事業団理事長 | 大野 重忠 | 名古屋市社会教育委員 | 野村由美子 |
| 名古屋市地域女性団体連絡協議会理事 | 遠藤 恒子 | 名古屋市立小中学校 PTA 協議会理事 | 横井明日代 |
| 愛知県立芸術大学教授 | 森田 義之 | 名古屋商工会議所文化委員会委員長 | 須田 寛 |
| 愛知県美術館長 | 牧野研一郎 | 名古屋造形大学教授 | 江本菜穂子 |
| 名古屋大学文学研究科准教授 | 加藤 靖恵 | | |

(2) 名古屋市美術館協議会開催状況

| 日時 | 場所 | 協議題 |
|--|-------|--|
| 第 1 回定例会 平成 21 年 7 月 31 日(金) 14:00~16:00 | 美術館講堂 | ○ 会長及び副会長の選出について ○ 平成 20 年度事業実施結果について ○ 平成 21 年度事業実施状況について |
| 第 2 回定例会 平成 22 年 2 月 9 日(火) 14:00~16:00 | 美術館講堂 | ○ 平成 21 年度事業実施状況について ○ 平成 22 年度事業計画案について |

3 職員

| | | | |
|------|------|--------|-------|
| 館長 | 松永恒裕 | 学芸課長 | 深谷克典 |
| 副館長 | 神谷浩 | 学芸係長 | 山田諭 |
| 総務課長 | 渡辺保夫 | 主査(普及) | 鈴木明世 |
| 庶務係長 | 鈴木良規 | 学芸員 | 角田美奈子 |
| 主事 | 中島直子 | | 竹葉丈 |
| | 辻元康弘 | | 原沢暁子 |
| | 前川恵子 | | 笠木日南子 |
| | 大橋一弘 | | 清家三智 |
| 技師 | 宮地秀一 | | 保崎裕徳 |
| 嘱託 | 山田哲夫 | | |

4 運営予算

| 総予算費 | 内 訳 | |
|------------|---------|------------|
| 226,088 千円 | 特別展関係費 | 83,700 千円 |
| | 常設展運営費 | 16,121 千円 |
| | 資料関係費 | 6,556 千円 |
| | 教育普及事業費 | 9,669 千円 |
| | 調査研究費 | 594 千円 |
| | 管理費 | 109,448 千円 |

平成21年度名古屋市美術館年報

発行日

平成22年12月

編集・発行

名古屋市美術館

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号

TEL 052-212-0001

FAX 052-212-0005

名古屋市美術館

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目17番25号

Tel.052-212-0001 Fax.052-212-0005